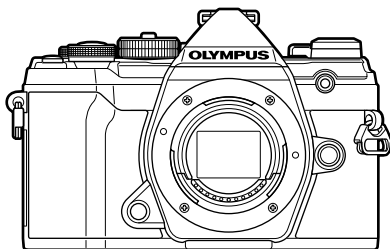


デジタルカメラ

E-M5 Mark III

取扱説明書



もくじ

機能目次

1. 準備する
2. 撮影する
3. 再生する
4. メニューの機能
5. スマートフォンと接続する
6. パソコンと接続する
7. ご注意
8. 資料
9. 安全にお使いいただくために
10. ファームアップによる追加・変更

Model No. : IM016

■オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

■「9. 安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。

■ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。

■取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

■カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

本製品の説明書について

本製品では、付属の「取扱説明書」(本書)の他に、PDF版の取扱説明書や「機能活用ガイド」をご用意しています。あわせてご利用ください。



取扱説明書(本書およびPDF版)

カメラの使い方と機能について説明しています。PDF版は、当社ホームページの下記URLからダウンロードすることができます。
http://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/man/man_esystem.html#omd

- PDF版については、スマートフォン用アプリ OLYMPUS Image Share (OI.Share)から直接ダウンロードもできます。



機能活用ガイド

このカメラの機能をご活用いただくために、機能や設定についての情報を掲載しています。OI.Shareからもご利用いただけるようにスマートフォンなどの表示にも最適化されています。

<https://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/webmanual/index.html>



本書の表記について

本文中、以下の表記を使っています。

	実際に操作するときを確認していただきたいことを記載しています。
	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。

本製品の説明書について	2
はじめにご確認ください	7
機能目次	8
各部の名称	12
1. 準備する	14
カメラと付属品を確認する	14
ストラップを取り付ける	15
電池を充電する／入れる	16
カードを入れる	19
レンズを取り付ける	21
レンズを取り外す	22
モニターを操作する	23
電源を入れる	24
カメラのスリープ動作について	24
初期設定をする	25
言語の表示がおかしい／設定した言語が表示されないときは	27
2. 撮影する	28
撮影時の情報表示	28
表示の切り換え	30
情報表示を切り換える	31
静止画を撮る	32
タッチパネルを使って撮る	34
絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する(Pプログラム撮影)	35
絞りを決めて撮影する(A絞り優先撮影)	37
シャッター速度を決めて撮影する(Sシャッター優先撮影)	39
絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影する(Mマニュアル撮影)	41
バルブ／タイム撮影を行う(B長秒時撮影)	43
比較明合成撮影を行う(Bライブコンポジット撮影)	45

カメラまかせで撮影する(オートモード)	47
シーンモードを使う(SCNモード)	49
アートフィルターを使う(ARTモード)	53
カスタムモードを使う(Cモード)	55
ムービーを撮る	56
静止画撮影時にムービーを撮る	56
ムービーモードを使って撮る(Ⓜ)	57
ムービー撮影中にカメラの操作音を録音しない	59
撮影機能を設定する方法	60
ダイレクトボタンで設定する	61
画像の明るさを変えて撮影する(露出補正)	62
ピント合わせの範囲を選ぶ(AFターゲットモード)	63
ピント合わせの位置を自分で決める(AFターゲット位置)	64
顔優先AF／瞳優先AFを使う	65
拡大枠AF／拡大AFを使う(スーパースポットAF)	66
感度を変更する(ISO感度)	68
露出を固定する(AEロック)	68
連写する／セルフタイマーを使う	69
セルフタイマーの待ち時間や枚数を設定する(Ⓢカスタムセルフタイマー)	71
シャッター動作時の振動を防いで撮影する(低振動[⚡]撮影)	71
シャッター音を立てずに撮影する(静音[🔇]撮影)	72
リリースタイムラグを防いで撮影する(プロキャプチャー撮影)	72
より解像度の高い静止画を撮影する(ハイレゾショット)	74
LVスーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定する	75
感度を変更する(ISO感度)	78
ピントの合わせ方を設定する(AF方式)	78
明るさを測る方法を選ぶ(測光)	80
画像の色合いを調整する(ホワイトバランス)	81

ホワイトバランスを微調整する (ホワイトバランス補正)	83
手ぶれを抑えて撮影する (手ぶれ補正)	84
連写する/セルフタイマーを使う	85
アスペクト比を設定する	85
静止画撮影で記録する画像サイズを選択 する(画質モード)	86
ムービーの画質を設定する (画質モード)	87
スローモーション/クイックモーション 撮影をする(スロー/クイック撮影)	90
フラッシュを使って撮影する (フラッシュ撮影)	91
発光モードを設定する(フラッシュ)	92
フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ発光量補正)	95
画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)	96
画像全体の色味を調整する (カラークリエーター)	98
鮮鋭さを微調整する (シャープネス)	99
明暗の差を微調整する (コントラスト)	99
色の鮮やかさを微調整する (彩度)	99
階調を微調整する(階調)	100
モノトーンにフィルター効果をつける (フィルター効果)	101
モノトーンの調色をする(調色)	102
i-Finishの効果を調整する(効果)	102
色の再現方式を設定する (カラー設定)	103
ハイライト部/シャドウ部の明るさ を変えて撮影する(ハイライト&シャドウ コントロール)	104
ボタン機能を割り当てる (ボタン機能)	105

3. 再生する 112

再生時の情報表示	112
再生画像情報	112
情報表示を切り換える	113
撮った画像/ムービーを見る	114
画像をすばやく探す(インデックス再生/ カレンダー再生)	115

画像を拡大して見る (クロースアップ再生)	115
画像を回転する(回転)	115
ムービーを見る	116
画像を保護する(プロテクト)	117
画像を消去する(1コマ消去)	117
画像の転送予約をする(シェア予約)	117
複数の画像を一括で処理する(プロテクト・ 選択コマ消去・選択コマシェア予約)	118
プリント予約(DPOF)	118
記録した画像に音声をつける(録音)	120
タッチパネルを使って見る	121
画像を選択する/プロテクトする	122

4. メニューの機能 123

メニューの基本操作	123
撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2を 使う	125
カメラの設定を初期状態に戻す (リセット)	125
残しておきたい設定内容を登録する (カスタム登録)	126
画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)	127
静止画撮影で記録する画像サイズを選択する (画質モード)	127
被写体を拡大して記録する (デジタルテレコン)	128
一定時間ごとに自動的に撮影する (インターバル撮影)	129
条件を少しずつ変化させて撮影する (ブラケット撮影)	130
HDR (ハイダイナミックレンジ)撮影をする (HDR撮影)	135
複数の画像を重ね合わせて撮影する (多重露出撮影)	137
台形補正をする/遠近感を強調する (デジタルシフト撮影)	139
低振動撮影/静音撮影を設定する (低振動[♦]/静音[♥]撮影)	140
ハイレゾショットを設定する (ハイレゾショット)	141
ワイヤレスRCフラッシュ撮影 (RCモード撮影)	141

■ 動画メニューを使う142	F フラッシュ.....168
静止画撮影の効果を使って撮影する (M モード(ムービー露出モード)).....145	G 画質/WB/色.....169
LED照明による明るさのちらつきを抑えて 撮影する(M フリッカーキャン).....146	H1 記録/消去.....170
ムービーの画質を設定する (M 画質モード).....147	H2 記録/消去.....171
録音の設定をする(ムービー録音).....148	I EVF.....171
オリンパス製iCレコーダーを使って ムービー音声を録音する.....149	J1 その他.....172
■ 再生メニューを使う151	J2 その他.....172
縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する (回転再生).....151	AEL/AFL ボタンを使ってピント合わせや 測光を行う(AEL/AFL モード).....173
撮影した画像を加工する(編集).....151	C-AF 動作時のピント合わせの感度を 設定する(C-AF 追従感度).....174
画像を合成する(画像合成).....153	C-AF 動作時のピント合わせ開始位置 を設定する(C-AF 中央スタート).....175
ムービーから静止画を作る (静止画切り出し).....154	C-AF 動作時に中央優先でピント合わせを する(C-AF 中央優先).....176
ムービーをトリミングする (トリミング).....155	AF 機能のホームポジションを設定する ([Home] 登録).....177
全てのプロテクトを解除する (全プロテクト解除).....156	マニュアルフォーカス時にピント合わせ を補助する(MF アシスト).....178
全ての転送予約を解除する (全シェア予約解除).....156	ピントを操作しながら撮影する (BULB/TIME 中 MF).....178
■ セットアップメニューを使う157	Fn レバーの機能を変える (Fn レバー機能).....179
カードを初期化する (カードセットアップ).....158	連写時の速度や枚数の上限を設定する ([L] 設定/ [H] 設定).....180
全コマを消去する (カードセットアップ).....158	蛍光灯による明るさのちらつきを抑えて 撮影する(フリッカー低減).....182
Wi-Fi接続のための設定をする (Wi-Fi/Bluetooth設定).....158	操作画面の表示を選ぶ ([Control] 表示).....184
■ カスタムメニューを使う159	INFO ボタンによる情報表示の設定をする ([Info] Info表示設定).....186
A1 AF/MF.....159	画像再生時の拡大倍率を設定する (再生拡大倍率設定).....187
A2 AF/MF.....160	自分撮りに合わせた表示をする (自分撮りアシスト).....188
A3 AF/MF.....161	カメラの画像をテレビで見る(HDMI).....189
A4 AF/MF.....161	ライブバルブ撮影時の表示の更新時間を 設定する(ライブ BULB 設定).....190
B ボタン/ダイヤル/レバー.....162	ライブタイム撮影時の表示の更新時間を 設定する(ライブ TIME 設定).....190
C1 リリース/連写/手ぶれ補正.....163	コンボジット撮影時のシャッター速度を 設定する(コンボジット撮影設定).....191
C2 リリース/連写/手ぶれ補正.....163	LED照明による明るさのちらつきを抑えて 撮影する([M] フリッカーキャン).....192
D1 表示/音/接続.....164	フラッシュ発光時のシャッター速度 ([S] 同調速度/ [L] 低速制限).....193
D2 表示/音/接続.....165	JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ (画質設定).....194
D3 表示/音/接続.....166	
D4 表示/音/接続.....166	
E1 露出/ISO/BULB/測光.....167	
E2 露出/ISO/BULB/測光.....168	
E3 露出/ISO/BULB/測光.....168	

レンズ情報を登録する (レンズ情報登録).....	194	別売品を使う.....	212
ファインダー内表示のスタイルを選ぶ (EVF表示スタイル).....	195	カメラグリップ(ECG-5).....	212
フィッシュアイレンズ使用時 の画像の歪みを補正する (フィッシュアイ補正撮影).....	196	専用外部フラッシュ.....	213
5. スマートフォンと接続する 198		ワイヤレスRCフラッシュ撮影.....	214
■ スマートフォンとの接続設定を する.....	199	市販のフラッシュについて.....	216
■ 電源オフ時の無線接続を 設定する.....	200	主なアクセサリについて.....	217
■ スマートフォンに画像を 転送する.....	201	11 システムチャート.....	218
■ カメラの電源オフ時に自動で 画像を転送する.....	202	8. 資料 220	
■ スマートフォンから リモート撮影する.....	202	■ カメラのお手入れと保管.....	220
■ 画像に位置情報をつける.....	203	カメラのお手入れ.....	220
■ Wi-Fi/Bluetooth®設定を 初期化する.....	204	カメラの保管.....	220
■ パスワードを変更する.....	204	撮像素子のクリーニングとチェック.....	221
Wi-Fi/Bluetooth®機能を オフにする.....	205	画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング.....	221
6. パソコンと接続する 206		■ アフターサービス.....	221
■ カメラをパソコンに接続する.....	206	■ こんなときは?.....	222
■ パソコンに画像を取り込んで 保存する.....	206	■ エラーコード.....	225
■ ソフトウェアのインストール.....	207	■ 機能と初期設定一覧.....	227
7. ご注意 208		■ 画質設定と記録枚数/記録時間...239	
■ 電池/充電器についてのご注意...208		■ 仕様.....	241
■ 海外での使用について.....	209	9. 安全にお使いいただく ために 244	
■ カードについて.....	209	■ 安全にお使いいただくために.....	244
■ 交換レンズについて.....	210	■ 使用上のご注意.....	247
■ MFクラッチを搭載したレンズに ついて.....	211	■ 其他のご注意.....	248
		10. ファームアップによる 追加・変更 251	
		索引 252	

はじめにご確認ください

「9. 安全にお使いいただくために」をお読みください

誤った使い方をしたときに生じる人への危害や火災などの財産への損害を未然に防ぐために、製品をご使用になる前に「9. 安全にお使いいただくために」(P.244)をよくお読みください。

カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとも必ず保管してください。

このカメラを購入した国・地域以外での使用については、その国・地域の規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

このカメラの無線LAN、Bluetooth®機能について

このカメラは、無線LANおよびBluetooth®機能を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがありますので、あらかじめご確認ください。当社では一切の責任は負えません。

使用が禁止されている場所では、無線LANおよびBluetooth®機能を停止させてください。☞ 「Wi-Fi/Bluetooth®機能をオフにする」(P.205)











■ ユーザー登録について

お買い求めいただいた製品のユーザー登録をお願いします。ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

機能目次

機能	ページ
撮影モード	32
カスタムモード	55
モニターの表示	31, 113
ファインダーの表示	195
ダイレクトボタンの機能	61
LVコントロールの機能	185
LVスーパーコンパネの機能	75, 77
撮影メニュー 1	
リセット/カスタム設定	125
ピクチャーモード	96, 127
画質モード	86, 127
アスペクト比設定	85
デジタルテレコン	128
/ / (ドライブ)	69, 71, 129
撮影メニュー 2	
ブラケット撮影	130
HDR撮影	135
多重露出撮影	137
デジタルシフト撮影	139
低振動[]/静音[]撮影	140
ハイレゾショット	74, 141
RCモード撮影	214
動画メニュー	
モード設定	
モード	145
フリッカースキャン	146
画質設定	
画質モード	147
高感度ノイズ低減	142
ピクチャーモード	142




機能	ページ
AF/手ぶれ補正設定	
AF方式	78
手ぶれ補正	84
ボタンダイヤル/レバー	
ボタン機能	105
ダイヤル機能	143
Fnレバー機能	143
シャッターボタン機能	143
電動ズーム速度	143
表示設定	
Control表示	144
Info表示	144
タイムコード設定	144
ムービー録音	148
HDMI出力	144
再生メニュー	
回転再生	151
編集	151
プリント予約	118
全プロテクト解除	156
全シェア予約解除	156
スマートフォン接続	199



機能	
* カスタムメニュー	
A1 AF/MF	
 AF方式	78
 AEL/AFLモード	173
AFスキャン	159
 C-AF追従感度	174
 C-AF中央スタート	175
 C-AF中央優先	176
A2 AF/MF	
 Mode表示設定	160
AFターゲット表示	160
AFターゲットパッド	160
 Home登録	177
 カスタム設定	160
A3 AF/MF	
AFリミッター	161
AFイルミネーター	161
 顔優先	65
AF微調節	161
A4 AF/MF	
プリセットMF距離	161
MFアシスト	178
MFクラッチ	161
フォーカスリング	161
BULB/TIME中MF	178
レンズリセット	161

機能	
B ボタン/ダイヤル/レバー	
 ボタン機能	105
 ボタン機能	162
 ダイヤル機能	162
ダイヤル方向	162
 Fnレバー機能	179
Fnレバー/電源レバー	162
 電動ズーム速度	162
C1 レリーズ/連写/手ぶれ補正	
レリーズ優先S	163
レリーズ優先C	
 L設定	180
 H設定	
フリッカー低減	182
C2 レリーズ/連写/手ぶれ補正	
 手ぶれ補正	84
連写中手ぶれ補正	163
半押し中手ぶれ補正	163
レンズ手ぶれ補正優先	163

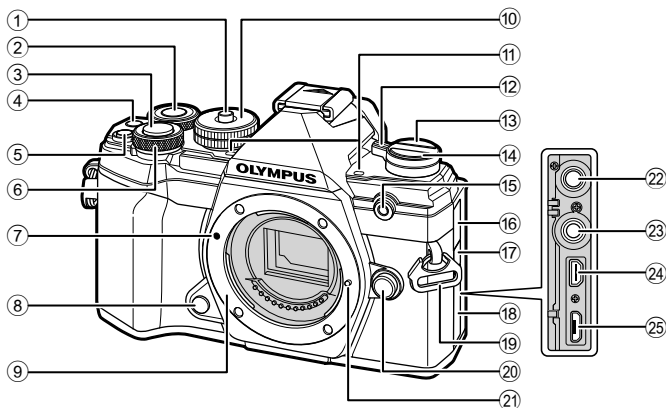
機能	
D1 表示/音/接続	
Control表示	184
Info表示設定	186, 187
ピクチャーモード表示	164
表示設定	164
マルチFn表示設定	164
D2 表示/音/接続	
LVブースト	165
アートLVモード	165
LV拡大設定	165
再生拡大倍率設定	187
プレビュー設定	165
D3 表示/音/接続	
ガイド線表示設定	166
ピーキング表示	166
ヒストグラム警告設定	186
モードガイド表示	166
自分撮りアシスト	188
D4 表示/音/接続	
電子音	166
HDMI	189
USB接続モード	166
E1 露出/ISO/BULB/測光	
露出基準調整	167
露出ステップ	167
ISO感度ステップ	167
ISOオート設定	167
ISOオート有効	167
高感度ノイズ低減	167
長秒時ノイズ低減	167

機能	
E2 露出/ISO/BULB/測光	
BULB/TIMEリミッター	168
BULB/TIME輝度設定	168
ライブBULB設定	190
ライブTIME設定	190
コンポジット撮影設定	191
フリッカースキャン	192
E3 露出/ISO/BULB/測光	
測光	80
AEL測光モード	168
[::]連動スポット測光	168
F フラッシュ	
同調速度	193
低速制限	193
+ 連動	168
+WB連動	168
G 画質/WB/色	
画質設定	86, 127, 194
ピクセルサイズ	86, 127, 194
シェーディング補正	169
WBモード	81
全WBモード補正	169
WBオート電球色残し	82
カラー設定	103

機能	
h1 記録/消去	
ファイルネーム	170
ファイルネーム編集	170
dpi設定	170
著作権情報	170
レンズ情報登録	194
h2 記録/消去	
ワンタッチ消去	171
RAW+JPEG消去	171
実行優先設定	171
1 EVF	
EVF自動切替設定	171
EVF調整	171
EVF表示スタイル	195
 Info表示設定	171
EVFガイド線表示設定	171
 半押し中水準器表示	171
OVFシミュレーション	171
11 その他	
ピクセルマッピング	221
ボタン長押し時間調整	172
水準器調整	172
タッチパネル設定	172
メニューカーソル保持	172
フィッシュアイ補正撮影	196
12 その他	
バックライト時間	172
スリープ時間	172
自動電源Off	172
低消費電力撮影	172
認証マーク表示	172

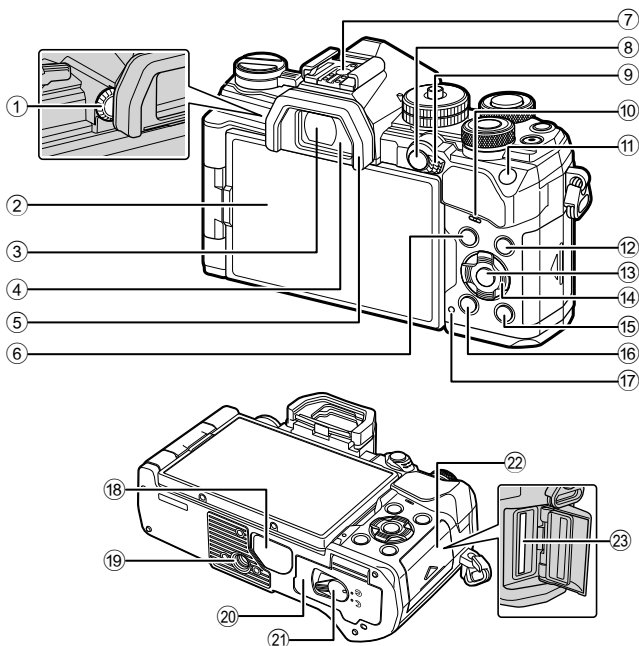
機能	
f セットアップメニュー	
カードセットアップ	158
日時設定	25
 (言語設定)	27
モニター調整	157
撮影確認	157
Wi-Fi/Bluetooth設定	158
バージョン	157

各部の名称



- | | |
|--------------------------------------|--|
| ① モードダイヤルロックP.32 | ⑬ \square (LV) ボタンP.30 |
| ② リアダイヤル* (☉) | ⑭ \square (連写/セルフタイマー) ボタン |
| P.36-41, 111, 114, 187 |P.69 |
| ③ シャッターボタンP.33 | ⑮ セルフタイマーランプ/
AFイルミネーター |
| ④ \odot (ムービー) / \checkmark ボタン | P.69 / P.161 |
| P.56 / P.118 | ⑯ マイク端子カバー |
| ⑤ \square (露出補正) ボタン | ⑰ リモートケーブル端子カバーP.217 |
|P.36, 38, 40, 42, 62 | ⑱ コネクタカバー |
| ⑥ フロントダイヤル* (☉) | ⑲ ストラップ取り付け部P.15 |
| P.36-41, 68, 111, 114 | ⑳ レンズ取り外しボタンP.22 |
| ⑦ レンズ合わせマークP.21 | ㉑ レンズロックピン |
| ⑧ プレビューボタンP.106 | ㉒ マイク端子(市販のマイクを接続できます。
φ3.5ステレオミニジャック)P.149 |
| ⑨ マウント(ボディキャップを外してから
レンズを取り付けます。) | ㉓ リモートケーブル端子P.217 |
| ⑩ モードダイヤルP.32 | ㉔ HDMI端子(タイプD)P.189 |
| ⑪ ステレオマイクP.120, 148 | ㉕ マイクロUSBコネクタP.149, 206 |
| ⑫ ON/OFF レバーP.24 | |

* 本書では、フロントダイヤルやリアダイヤルの操作を \odot や \ominus のアイコンで示しています。



- | | |
|--|------------------------------------|
| ① 視度調整ダイヤル.....P.30 | ⑫ INFO ボタン.....P.31, 113 |
| ② モニター (タッチパネル)
.....P.28, 30, 34, 75, 112, 121 | ⑬ OK ボタン.....P.75, 114, 123 |
| ③ ファインダー.....P.30, 195 | ⑭ 十字ボタン*.....P.114 |
| ④ アイセンサー | ⑮ ▶ (再生) ボタン.....P.114 |
| ⑤ アイカップ.....P.217 | ⑯ ✖ (消去) ボタン.....P.117 |
| ⑥ MENU ボタン.....P.123 | ⑰ CHARGE ランプ.....P.18 |
| ⑦ ホットシュー.....P.91, 213 | ⑱ 端子カバー.....P.212 |
| ⑧ AEL/AFL / Om (プロテクト) ボタン
.....P.68, 173 / P.117 | ⑲ 三脚穴 |
| ⑨ Fn レバー.....P.35-41, 179 | ⑳ 電池カバー.....P.16 |
| ⑩ スピーカー | ㉑ 電池カバーロック.....P.16 |
| ⑪ ISO ボタン.....P.68, 186 | ㉒ カードカバー.....P.19 |
| | ㉓ カードスロット.....P.19 |

* 本書では十字ボタンの操作を **△ ▽ ◀ ▶** のアイコンで示しています。

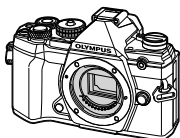
1 準備する

1

準備する

カメラと付属品を確認する

お買い上げの商品には、カメラ本体と以下の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



カメラ



ボディキャップ*



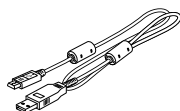
アイカップ
EP-15*



ホットシュー
カバー*



ストラップ



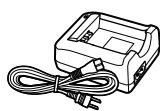
USBケーブル
CB-USB12



フラッシュ
FL-LM3



リチウムイオン電池
BLS-50



リチウムイオン充電器
BCS-5



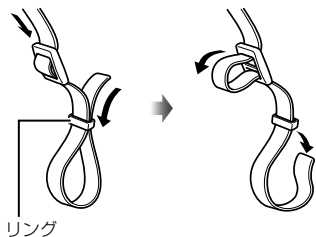
取扱説明書(本書)

- 保証書

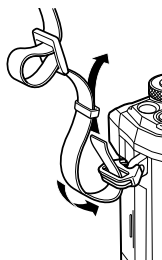
* ボディキャップ、アイカップ、ホットシューカバーは、あらかじめカメラ本体に取り付けられています。

ストラップを取り付ける

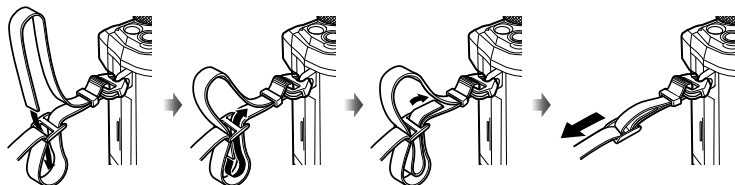
- 1 カメラに取り付けるために、一度リングから外してほどこきます。



- 2 ストラップの端をカメラのストラップ取り付け部に通してから、再度リングに通します。



- 3 ストラップの端を留め具に通して固定します。



- 同様に逆側も取り付けます。
- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

1

準備する

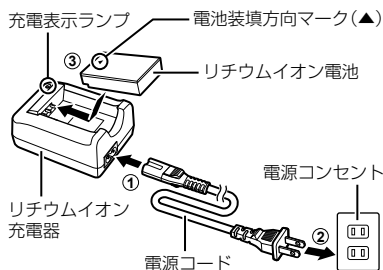
電池を充電する／入れる

1 電池を充電します。

充電表示ランプ

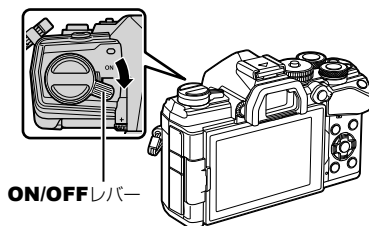
充電中	橙点灯
充電完了	消灯
充電エラー	橙点滅

(充電時間：約3時間30分)

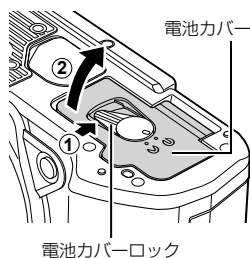


- 充電が完了したら必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- このカメラでは、別売のUSB-ACアダプターを使って電池をカメラに入れた状態で充電することができます。☞「別売のUSB-ACアダプター (F-5AC)を使って本体内充電する」(P.17)

2 ON/OFFレバーがOFFの位置になっていることを確認します。

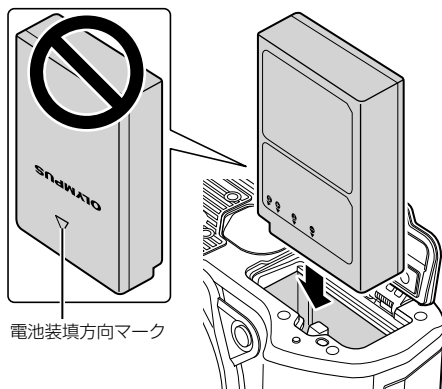


3 電池カバーを開けます。



4 電池を入れます。

- 電池は必ずBLS-50 (P.14, 243)をお使いください。



5 電池カバーを閉めます。

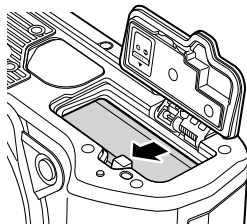


- 長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 「電池／充電器についてのご注意」(P.208)も併せてお読みください。

■ 電池を取り出す

電池カバーを開け閉めする際は、カメラの電源をオフにしてください。電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押しつけてロックを外してから取り出します。

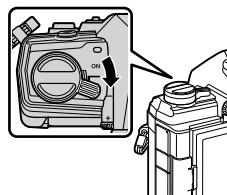
- カメラから電池を取り出せなくなった場合は無理に取り出さず、当社修理センターまたはサービスステーションまでご相談ください。
- カード書き込み中のマーク(P.29)が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。



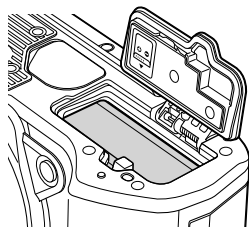
■ 別売のUSB-ACアダプター (F-5AC)を使って本体内充電する

- F-5ACをご使用になる前にF-5ACの取扱説明書をよくお読みください。

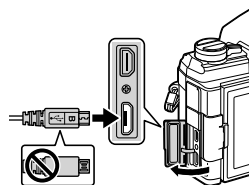
1 ON/OFFレバーがOFFの位置になっていることを確認します。



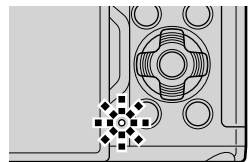
2 カメラに電池が入っていることを確認します。



3 カメラとUSB-ACアダプターをUSBケーブルで接続します。



- 本体内充電中は**CHARGE**ランプが点灯します。充電時間は約4時間です。充電が完了するとランプが消灯します。



4 カメラの電源をオンにすると充電が停止します。

- カメラの電源がオンのときは、**USB-ACアダプター**による充電はできません。
- **CHARGE**ランプが点滅しているときは充電エラーです。**USBケーブル**を外して接続しなおしてください。
- 電池の温度が0°C ~ 40°Cのときに、**USB機器**による充電ができます。



- カメラの電源がオフでも、スマートフォンとWi-Fi接続してデータを自動転送中のときは、充電できません。🔊 「カメラの電源オフ時に自動で画像を転送する」(P.202)

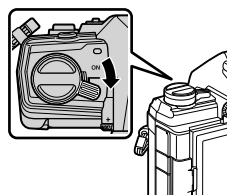
🔧 **USB-ACアダプターの取扱いについて**

- お手入れの際は、**USB-ACアダプター**本体をコンセントから抜いて行ってください。**USB-ACアダプター**本体を抜かないで行くと、感電・けがの原因となることがあります。

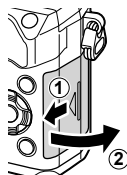
カードを入れる

このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード(市販)です。「カードについて」(P.209)をよく読んでからお使いください。

- 1 **ON/OFF**レバーが**OFF**の位置になっていることを確認します。

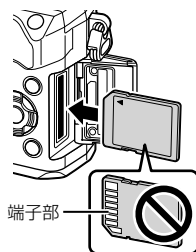


- 2 カードカバーを開けます。



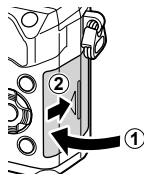
- 3 カードがロックされるまで差し込みます。

- カードの出し入れは電源をオフにしてから行ってください。
- 破損、変形したカードを無理に入れしないでください。カードスロットを破損させる場合があります。



- 4 カードカバーを閉めます。

- カチッと音がするまでしっかりと閉めます。
- カメラをご使用の際は、必ずカードカバーを閉じてください。

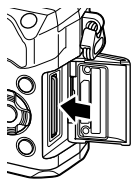


- カードの初回使用時は、必ずこのカメラで初期化してからお使いください(P.158)。

■ カードを取り出す

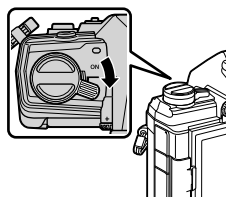
差し込まれているカードを押し込むと、カードが出てきます。カードをつまんで取り出します。

- カード書き込み中のマーク (P.29)が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。

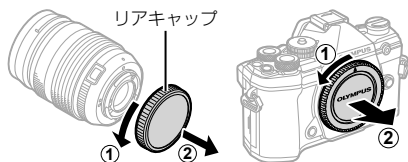


レンズを取り付ける

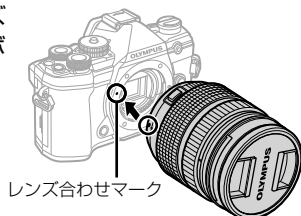
- 1 **ON/OFF**レバーが**OFF**の位置になっていることを確認します。



- 2 レンズのリアキャップ、カメラのボディキャップを外します。



- 3 カメラのレンズ合わせマーク(赤印)にレンズの取り付け指標(赤印)を合わせ、レンズをボディに差し込みます。

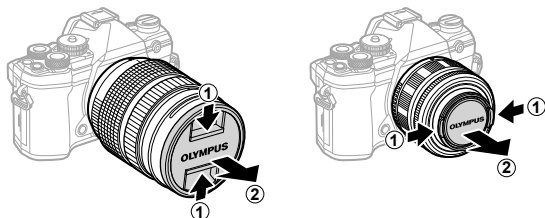


- 4 レンズをカチッと音がするまで右に回します(矢印③の方向)。

- レンズ取り外しボタンは押さないでください。
- カメラ内部には触らないでください。



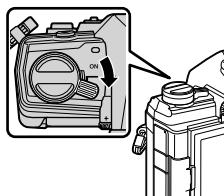
5 レンズキャップを取り外します。



- レンズの取り付けや取り外し時は、**ON/OFF**レバーが**OFF**の位置になっていることを確認してください。

レンズを取り外す

- 1 **ON/OFF**レバーが**OFF**の位置になっていることを確認します。



- 2 レンズ取り外しボタンを押しながら、矢印の方向に回します。

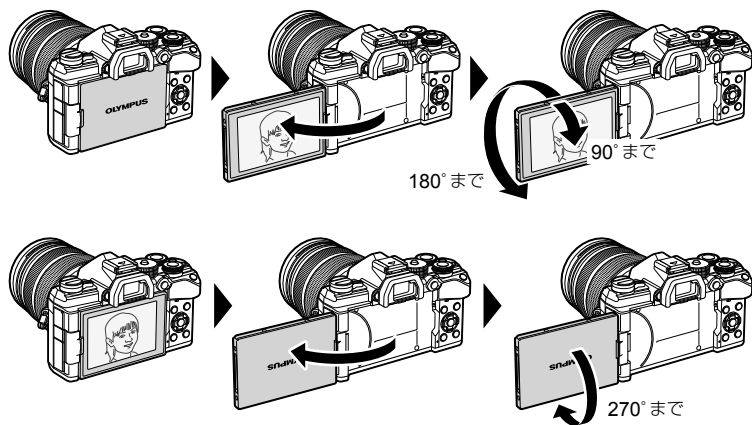


交換レンズについて

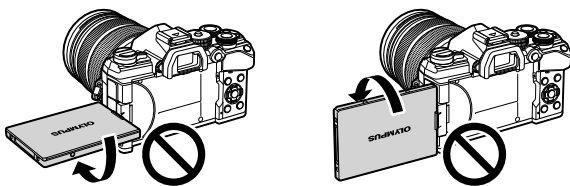
「交換レンズについて」(P.210)をお読みください。

モニターを操作する

モニターの画面を見えるように回転します。モニターは、撮影時の状況に合わせて向きと角度を変えることができます。



- モニターを回転させるときは、可動範囲内でゆっくりと回してください。次のように可動範囲を超えて、無理な力がかかると接続部の破損の原因となります。



- モニターを自分撮り位置にすると、画面の左右を反転して表示したり、電動ズームレンズのズーム位置を自動的に広角側に移動します。☑️「自分撮りに合わせた表示をする(自分撮りアシスト)」(P.188)

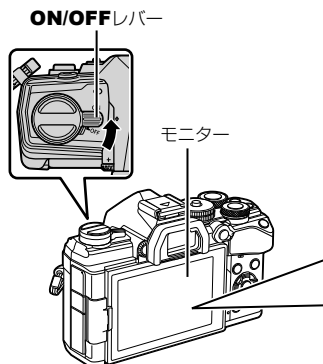
電源を入れる

1

準備する

1 ON/OFFレバーをONの位置に合わせます。

- 電源が入るとモニターが点灯します。
- 電源をオフにするには、レバーを**OFF**の位置に戻します。



電池残量表示

電池アイコンと電池残量が表示されます。

- (満充電) 点灯(緑)：撮影できます。
- (約3/4) 点灯(緑)：電池が減っています。
- (約1/2) 点灯(緑)：残量が少なくなっています。
- (約1/4) 点滅(赤)：充電してください。



カメラのスリープ動作について

カメラを一定時間操作しないと、電池消費を抑えるためにカメラが自動的に待機状態になります。この状態をスリープモードといいます。

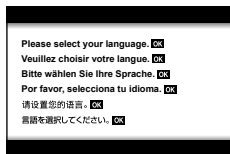
- スリープモードになるとモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。
- スリープモードに入ってから操作を行わずにさらに一定時間経過すると、電源がオフになります。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。
- **[Wi-Fi/Bluetooth設定]** で **[バックグラウンド通信]** が **[On]** (有効) に設定されていると、電源を入れなおしたときの動作に時間が掛かることがあります。 「電源オフ時の無線接続を設定する」(P.200)
- スリープモードまでの時間と電源オフまでの時間は **カスタムメニュー** で変更できません。初期設定では、スリープモードまでの時間は1分、電源オフまでの時間は4時間です。 **[スリープ時間]** (P.172)、**[自動電源Off]** (P.172)

初期設定をする

初めて電源を入れたときは、初期設定として言語と日時の設定を行います。

- 日時の情報は画像とともにカードに記録されます。
- ファイル名は日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。設定されていないと使用できない機能もあります。

- 1 初期設定画面(言語の設定を促す画面)が表示されたら、**OK** ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの **△▽<▷** またはフロント/リアダイヤルで、設定したい言語にカーソルを移動します。

- 言語を選択する画面は、2ページで構成されています。**△▽<▷** ボタンまたはフロント/リアダイヤルでカーソルを移動して、ページを切り換えられます。



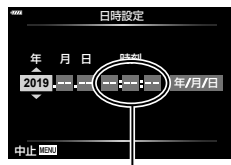
- 3 設定したい言語の位置にカーソルを移動させた状態で、**OK** ボタンを押します。

- **OK** ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、言語が設定されないまま撮影待機状態になります。その場合、一度カメラの電源をオフにしてから入れ直すと初期設定画面が再度表示されますので、手順1から操作を行ってください。
- 言語の設定は、**f** セットアップメニューで後から変更できます。**OK** 「言語の表示がおかしい/設定した言語が表示されないときは」(P.27)



4 日付／時刻／日付表示順序を設定します。

- <▷> ボタンで項目を選びます。
- △▽ ボタンで内容を選びます。
- 日時の設定は、↑ セットアップメニューで後から変更できます。🔍 【日時設定】 (P.157)



時刻は24時間表示です。

5 設定を終了します。

- Ⓞ ボタンを押して日付／時刻を確定します。
- カメラから電池を取り外してしばらく放置すると、日時が初期状態にリセットされる場合があります。
- ムービーを撮影する場合は、必要に応じてあらかじめフレームレートを設定してください。🔍 【画質モード】 (P.147)

言語の表示がおかしい／設定した言語が表示されないときは

画面の表示が読めない文字になっていたり、意図しない言語が表示されたときは、言語設定時に設定したい言語とは異なる言語を選択した可能性があります。次の手順で言語の設定を変更してください。

- 1 **MENU**ボタンを押し、メニューを表示します。



MENUボタン

- 2 十字ボタンの△▽でf (セットアップメニュー)タブを選択し、**OK**ボタンを押します。



十字ボタン

OKボタン

- 3 △▽ボタンで[**00**]を選択し、**OK**ボタンを押します。



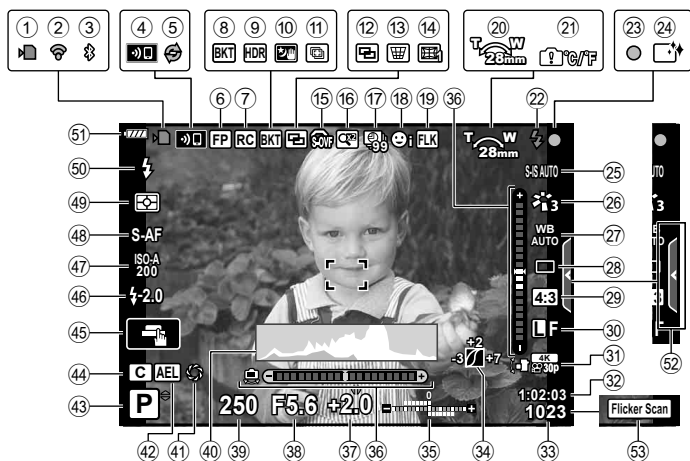
- 4 △▽<D>ボタンで設定したい言語を選択し、**OK**ボタンを押します。



2 撮影する


撮影時の情報表示

静止画像撮影時のモニター表示



ムービーモード中のモニター表示



- ① カード書き込み中.....P.17, 20
② 無線LAN接続状態.....P.198-205
③ Bluetooth®接続中.....P.198-205
④ 無線LAN接続.....P.198-205
⑤ プロキャプチャー画像取り込み中.....P.72
⑥ スーパー FP発光.....P.213
⑦ RCモード.....P.214
⑧ ブラケット撮影.....P.130
⑨ HDR撮影／HDR逆光補正撮影
.....P.51, 135
⑩ 手持ち夜景.....P.50
⑪ マルチフォーカス撮影.....P.51
⑫ 多重露出撮影.....P.137
⑬ デジタルシフト撮影.....P.139
⑭ フィッシュアイ補正撮影.....P.196
⑮  OVFシミュレーション*.....P.171
⑯ デジタルテレコン.....P.128
⑰ インターバル撮影.....P.129
⑱ 顔優先／瞳優先.....P.65
⑲ フリッカーレス撮影.....P.183
⑳ ズーム操作方向／焦点距離
㉑ 内部温度上昇警告.....P.226
㉒ フラッシュ
(点滅：充電中、点灯：充電完了)
㉓ 合焦マーク.....P.33
㉔ ダストリダクション.....P.221
㉕ 手ぶれ補正.....P.84
㉖ ピクチャーモード.....P.96, 127
㉗ ホワイトバランス.....P.81
㉘ 連写／セルフタイマー／低振動撮影／
静音撮影／プロキャプチャー撮影／
ハイレゾショット.....P.69-74, 85
㉙ アスペクト比.....P.85
㉚ 画質モード(静止画).....P.86, 127
㉛ 画質モード(ムービー).....P.87
㉜ 録画可能時間.....P.240
㉝ 撮影可能枚数.....P.239
㉞ ハイライト&シャドウ
コントロール.....P.104
㉟ 上：フラッシュ補正.....P.95
下：露出補正.....P.62
㊱ 水準器.....P.31
㊲ 露出補正值.....P.62
㊳ 絞り値.....P.35-41
㊴ シャッター速度.....P.35-41
㊵ ヒストグラム.....P.31
㊶ プレビュー.....P.106
㊷ AEロック.....P.68, 173
㊸ 撮影モード.....P.32-57
㊹ カスタムモード.....P.55, 126
㊺ タッチ操作.....P.34, 121
㊻ フラッシュ補正.....P.95
㊼ ISO感度.....P.68, 78
㊽ AF方式.....P.78
㊾ 測光方式.....P.80
㊿ フラッシュモード.....P.91, 92
① 電池残量.....P.24
② ライフガイド呼び出し.....P.47
③ フリッカースキャン.....P.192

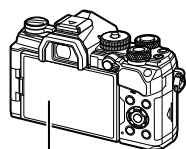
* OVFシミュレーションアイコンはファインダー内のみ表示です。

- ④ 録音レベル*.....P.59
⑤ 録音レベルメーター.....P.148
⑥ ムービー録音.....P.148
⑦ 静音操作タブ.....P.59
⑧ ムービー(露出)モード.....P.145
⑨ 動画エフェクト.....P.57
⑩ タイムコード.....P.144

* 録音レベルの設定中のみ表示されます。

表示の切り換え

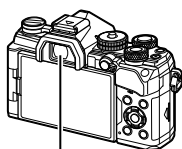
このカメラはアイセンサーの動きにより、ファインダーに目を近づけるとファインダーが自動的に点灯し、目を離すとファインダーが消えモニターが点灯します。



モニター



目を近づける



ファインダー



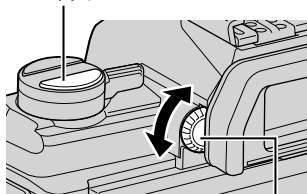
モニターの撮影画面がライブビュー表示されます。



目を近づけると自動的にファインダーが点灯します。ファインダー点灯中は、モニターは消灯します。

- ファインダー内の表示がぼやけて見えるときは、ファインダーをのぞきながらファインダー内の表示がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回します。
- **IO**ボタンを押すと、ライブビュー撮影とファインダー撮影(ライブビューとスーパーコンパネ表示)が切り換わります。モニターにスーパーコンパネ(P.75)が表示されているときは、ファインダーに目を近づけるとファインダーに表示が切り換わります。
- **IO**ボタンを長押しすると、ファインダーの自動切り換え設定変更メニューが表示されます。 **IO** **EVF自動切換え設定** (P.171)

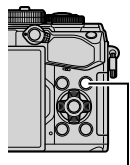
IOボタン



視度調整ダイヤル

情報表示を切り換える

INFOボタンで撮影時の情報表示の切り換えができます。



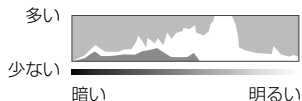
INFOボタン



- カスタム表示1とカスタム表示2の設定は変更できます。☞ [Info表示設定] の [LV-Info] (P.164)、[Info表示設定] (P.171)
- ムービーモード(📹)では、静止画撮影モードとは異なる情報表示の設定ができます。☞ 動画メニューの [表示設定] (P.144)
- **INFO**ボタンを押しながらダイヤルを回して撮影時の情報表示を双方向に変更することもできます。

ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青、スポット測光のエリア内を緑で表示します。



水準器表示

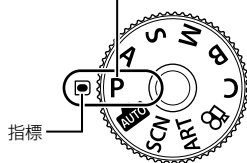
カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。

- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示にずれがあるときは、調整することができます。☞ [水準器調整] (P.172)

静止画を撮る

モードダイヤルを使って撮影モードを選んで撮影します。

使用するモードのアイコン





2

撮影する

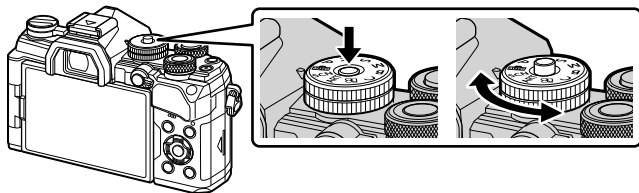
■ 撮影モードの種類

各撮影モードの詳細はそれぞれのページをご覧ください。

P	プログラムAE (P.35)
A	絞り優先AE (P.37)
S	シャッター優先AE (P.39)
M	マニュアル(P.41)
B	バルブ撮影/タイム撮影(P.43) ライブコンポジット撮影(P.45)
	オート(P.47)
SCN	シーン(P.49)
ART	アートフィルター (P.53)
C	カスタム(P.55)
	ムービー撮影(P.57)

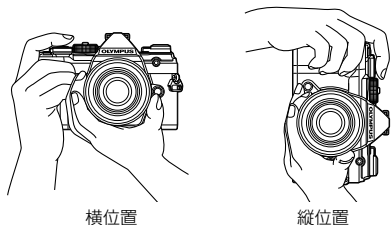
1 モードダイヤルロックを押してロックを解除し、モードダイヤルを回して使用するモードに設定します。

- モードダイヤルロックが押し込まれているとき、モードダイヤルはロックされています。モードダイヤルロックを押すたびにロック/解除が切り換わります。



2 カメラを構えて構図を決めます。

- レンズやAFイルミネーターに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



横位置

縦位置

3 ピントを合わせます。

- シャッターボタンを1段目まで浅く押し込みます(半押し)。合焦マーク(●)が表示され、ピントの合ったところに緑の枠(AFターゲット)が表示されます。



AFフレーム

AFターゲット

- 合焦マークが点滅しているときは、被写体にピントが合っていません(P.222)。
- AFフレームの形状はAFターゲット選択の設定により変わります。AFターゲット選択画面(P.63)でターゲットの範囲を変更、設定して使用してください。AFターゲットの設定が「**眼** (オールターゲット)」のときはAFフレームは表示されません。

4 撮影します。

- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます(全押し)。
- シャッターが切れ、撮影されます。
- 撮影された画像がモニターに表示されます。
- タッチ操作でもピント合わせや静止画の撮影ができます。📷 「タッチパネルを使って撮る」(P.34)

シャッターボタンの半押しと全押し

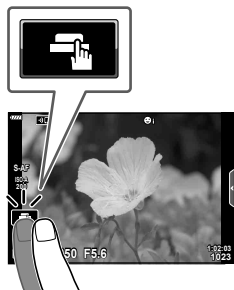
シャッターボタンは2段階になっています。シャッターボタンを1段階まで浅く押し、そのままの状態にすることを半押しといい、2段階まで深く押し込むことを全押しといいます。



タッチパネルを使って撮る

1 ボタンにタッチするたびに操作方法が切り換わります。

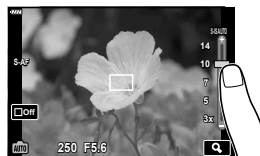
- 1** タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。**MF**モードでは使えません。
- 2** タッチ操作を禁止します。
- 3** タッチした箇所にAFターゲットを表示してピントを合わせます。AFフレームの大きさや位置は指で操作できます。撮影はシャッターボタンを押します。



■ ピントを合わせる被写体を確認する(**3**)

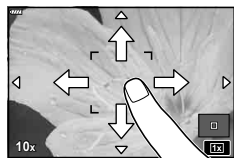
1 ピントを合わせたい被写体にタッチします。

- AFターゲットが表示されます。
- レベルバーを指で上下させると枠の大きさを変えられます。
- **Off**にタッチするとAFターゲット表示を終了します。



2 レベルバーでAFターゲットの大きさを調節してから **Q** にタッチすると、枠の位置を拡大表示します。

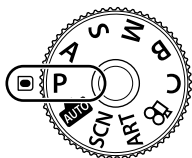
- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
 - **Off**にタッチすると拡大表示を終了します。
- 次の場合はタッチ操作できません。
ワンタッチWB取得画面／ボタンまたはダイヤル操作中など
- 先のとがったものや爪で操作しないでください。
 - モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。
 - タッチパネルの操作を禁止することができます。**1** **Touch Panel Settings** (P.172)



絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する (Pプログラム撮影)

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルをPに合わせます。



2 被写体にピントを合わせて表示を確認します。

- カメラが設定したシャッター速度と絞り値が表示されます。

3 撮影します。



適正露出が得られないときは

シャッター速度と絞り値が以下のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい値で シャッター速度が遅い場合 	被写体が暗すぎます。 ・フラッシュを使ってください。
絞り値が大きい値で シャッター速度が速い場合 	被写体が明るすぎます。 ・カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。 ・静音モードで撮影します。☑️「シャッター音を立てずに撮影する（静音[♥️]撮影）」(P.72)



- 【ISO感度】の設定を固定しているときは、設定を変更してください。☑️「感度を変更する(ISO感度)」(P.68, 78)
- 点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

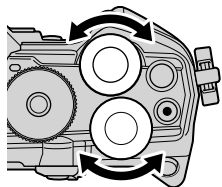
■ Pモード時の設定操作について



フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。

フロントダイヤル：露出補正 (P.62)

リアダイヤル：プログラムシフト

- 露出補正は、 ボタンでも設定できます。 ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回します。



- フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。 **【カメラダイヤル機能】** (P.162)
- Fn**レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、**Fn**レバーの機能も変更することができます。 **【カメラFnレバー機能】** (P.179)

■ プログラムシフトについて


自動的に設定された絞り値とシャッター速度の組み合わせを、露出を変えずに変更することができます。これをプログラムシフトといいます。

- 使いたい絞り値、またはシャッター速度が表示されるまでリアダイヤルを回します。
- プログラムシフトにすると、画面の撮影モードの**P**が**Ps**と表示されます。プログラムシフトを解除するには、表示が**P**になるまで、リアダイヤルを逆に回します。



プログラムシフト



- 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。 **【LVモードリスト】** (P.165)

絞り値(F値)を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定します。絞り値の数値を小さくする(絞りを開く)ほど、ピントの合う範囲(被写界深度)が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞り値の数値を大きくする(絞りを絞る)ほど、ピントの合う範囲が前後に広がります。

絞り値を小さくする

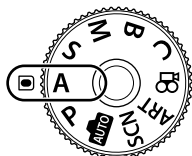
絞り値を大きくする



ピントの合う範囲が狭くなり、
ボケが強くなる

ピントの合う範囲が広がる

1 モードダイヤルをAに合わせます。



2 絞り値を設定します。

- 初期設定では、リアダイヤルで絞り値の設定ができます。
- 適正なシャッター速度が自動的に設定され画面に表示されます。

3 撮影します。



絞り値

適正露出が得られないときは

シャッター速度が以下のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
シャッター速度が遅い場合 	露出アンダー（露出不足）です。 ・絞り値を小さくしてください。
シャッター速度が速い場合 	露出オーバー（露出過度）です。 ・絞り値を大きくしてください。 ・絞り値を大きくしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。 ・静音モードで撮影します。🔇 「シャッター音を立てずに撮影する(静音[♥]撮影)」(P.72)



- ・[ISO感度]の設定を固定しているときは、設定を変更してください。🔇 「感度を変更する(ISO感度)」(P.68, 78)

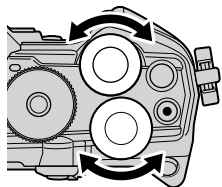
■ Aモード時の設定操作について









フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。

フロントダイヤル：露出補正 (P.62)

リアダイヤル：絞り値

- 露出補正は、 ボタンでも設定できます。 ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回します。



- フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。  **ダイヤル機能** (P.162)
- Fn**レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、**Fn**レバーの機能も変更することができます。  **Fnレバー機能** (P.179)
- 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。  **LVブースト** (P.165)
- 設定した値まで実際に絞りを動作させて、ピントの合う範囲を確認できます(レビュー)。  **ボタン機能** (P.106)

シャッター速度を決めて撮影する (Sシャッター優先撮影)

シャッター速度を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正な絞り値を自動的に設定します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でも止まっているように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されますが、躍動感や動きのある仕上がりになります。

シャッター速度を遅くする

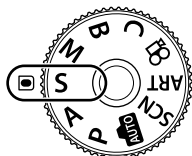
60" ← ■■■ 15 ← 30 ← 60 → 125 → 250 ■■■→ 8000

躍動感や動きのある
仕上がりになる


シャッター速度を速くする

動きの速い被写体を
止まったように撮影する

1 モードダイヤルをSに合わせます。



2 シャッター速度を設定します。

- 初期設定では、リアダイヤルでシャッター速度の設定ができます。
- シャッター速度は、1/8000 ~ 60秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、1/32000秒まで設定できます。
 「シャッター音を立てずに撮影する(静音[♥]撮影)」(P.72)
- 絞り値が自動的に設定され画面に表示されます。

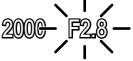
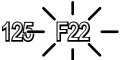


シャッター速度

3 撮影します。

適正露出が得られないときは

絞り値が以下のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい場合 	露出アンダー（露出不足）です。 ・シャッター速度を遅くしてください。
絞り値が大きい場合 	露出オーバー（露出過度）です。 ・シャッター速度を速くしてください。静音撮影に設定すると、シャッター速度の上限が1/32000になります。 ・シャッター速度を速くしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター（光量調節用）が必要です。

- ・[ISO感度]の設定を固定しているときは、設定を変更してください。☞「感度を変更する(ISO感度)」(P.68, 78)
- ・点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

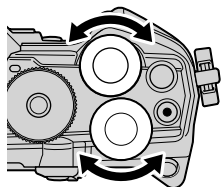
■ Sモード時の設定操作について

フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。

フロントダイヤル：露出補正(P.62)

リアダイヤル：シャッター速度

- ・露出補正は、ボタンでも設定できます。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回します。



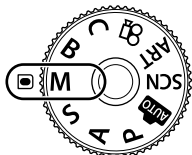
- ・フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。☞【カメラダイヤル機能】(P.162)
- ・Fnレバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、Fnレバーの機能も変更することができます。☞【カメラFnレバー機能】(P.179)
- ・画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。☞【LVブースト】(P.165)
- ・蛍光灯やLED光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき(フリッカー)の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。☞【フリッカー低減】(P.182)、【カメラフリッカーキャンセル】(P.192)

絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影する

(Mマニュアル撮影)

絞り値とシャッター速度を自分で設定します。被写体に合わせて速いシャッター速度にしつつ、絞り込んで被写界深度を確保するといった、狙いに合わせた撮影ができます。

1 モードダイヤルをMに合わせます。



2 絞り値とシャッター速度を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで絞り値、リアダイヤルでシャッター速度の設定ができます。
- シャッター速度は、1/8000 ~ 60秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、シャッター速度を1/32000秒まで上げることができます。☞ 「シャッター音を立てずに撮影する(静音[♥]撮影)」(P.72)
- 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露出との差が画面に表示されます。差が±3以上になると表示が点滅します。
- 【ISO感度】が【AUTO】(オート)のときは、設定した露出で適正露出になるようにISO感度が設定されます。【ISO感度】は初期設定では【AUTO】です。☞ 「感度を変更する(ISO感度)」(P.68, 78)



3 撮影します。

適正露出が得られないときは

【ISO感度】が【AUTO】で、適正露出が得られないときは、ISO感度表示が以下のように点滅します。

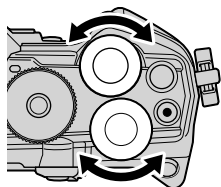
警告表示例	状態と対処方法
A warning icon consisting of a central circle with 'ISO-A' above it and 'LOW' below it, surrounded by eight radiating lines.	露出オーバー (露出過度)です。 • 絞り値を大きくするか、シャッター速度を速くしてください。
A warning icon consisting of a central circle with 'ISO-A' above it and '6400' below it, surrounded by eight radiating lines.	露出アンダー (露出不足)です。 • 絞り値を小さくするか、シャッター速度を遅くしてください。 • それでも解消されないときは、ISO感度を上げてください。 ☞ 「感度を変更する(ISO感度)」(P.68, 78)、【ISOオート設定】(P.167)

■ Mモード時の設定操作について

フロントおよびリアダイヤルで以下の機能を設定できます。

フロントダイヤル：絞り値

リアダイヤル：シャッター速度



- フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。☞ [カメラダイヤル機能] (P.162)
- **Fn**レバーの位置を切り換えて、フロント／リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、**Fn**レバーの機能も変更することができます。☞ [カメラFnレバー機能] (P.179)
- 蛍光灯やLED光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき(フリッカー)の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。☞ [フリッカー低減] (P.182)、[カメラフリッカースキャン] (P.192)
- 画面の表示に露出の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出の設定を反映した明るさで表示します。☞ [LVブースト] (P.165)

■ Mモード時の露出補正について

Mモード時に[ISO感度]が[AUTO] (オート)のときは露出補正の設定ができます。ISO感度の変更によって露出補正を行うため、絞り値やシャッター速度の設定は変更されません。☞ 「感度を変更する (ISO感度)」 (P.68, 78)、[ISOオート設定] (P.167)

- 露出補正は、 ボタンを使って設定します。 ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回します。
- 露出補正を行うと、設定値と適正露出との差に、設定した補正値が加味されて画面に表示されます。



露出補正値

補正値を加味した
露出設定値との差

バルブ／タイム撮影を行う

(B長秒時撮影)

シャッターを長時間開いて露光をします。ライブビューの画面で仕上がりを確認しながら任意のタイミングで撮影を終了することもできます。夜景や打ち上げ花火のような長時間の露光が必要なときに設定します。

バルブ撮影(BULB)、ライブバルブ撮影(LIVE BULB)

シャッターボタンを押している間、露光を続けます。シャッターボタンを離すと露光が終了します。

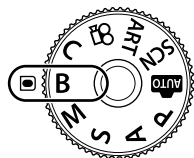
- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブバルブ撮影のときは、露光中の画像をライブビューで表示する間隔を設定できます。

タイム撮影(TIME)、ライブタイム撮影(LIVE TIME)

シャッターボタンを全押しすると露光を始めます。露光を終了するときは、もう一度シャッターボタンを全押しします。

- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブタイム撮影のときは、露光中の画像をライブビューで表示する間隔を設定できます。

1 モードダイヤルをBに合わせます。



2 バルブ撮影またはタイム撮影に設定します。

- 初期設定では、リアダイヤルで設定します。

3 MENUボタンを押します。

- 撮影中のライブビュー表示の間隔を設定するメニューが表示されます。



バルブ撮影、タイム撮影

4 十字ボタンの△▽で表示更新間隔を設定します。

5 OKボタンを押して設定を確定します。

- メニュー画面が表示されます。



6 MENUボタンを押して、メニューを終了します。

- [Off]以外に設定したときは、画面に[LIVE BULB]または[LIVE TIME]と表示されます。

7 絞り値を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで設定します。



絞り値

8 撮影します。

- バルブまたはライブバルブ撮影の場合はシャッターボタンを押し続けます。シャッターボタンを離すと撮影は終了します。
- タイムまたはライブタイム撮影の場合はシャッターボタンを全押しして撮影を開始し、撮影を終えるときにもう一度シャッターボタンを全押しします。
- [BULB/TIMEリミッター]**で設定されている時間に達すると自動的に撮影を終了します。初期設定は**[8分]**です。設定は変更できます。☞ **[BULB/TIMEリミッター]** (P.168)
- 撮影後に**[長秒時ノイズ低減]**が動きます。ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。**[長秒時ノイズ低減]**の動作は選択できます (P.167)。
- ライブタイムで撮影中にシャッターボタンを半押しすると、表示を更新できます。
- 設定できるISO感度に制限があります。
- ライブバルブ撮影では、多重露出撮影/デジタルシフト撮影/フィッシュアイ補正撮影に設定するとバルブ撮影になります。
- ライブタイム撮影では、多重露出撮影/デジタルシフト撮影/フィッシュアイ補正撮影に設定するとタイム撮影になります。
- 撮影中は、以下の撮影機能の設定に制限があります。
 - 連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/AEブラケット撮影/手ぶれ補正/フラッシュブラケット撮影/多重露出撮影* など
 - * **[ライブBULB設定]**または**[ライブTIME設定]** (P.168)が**[Off]**以外のとき
- [手ぶれ補正]** (P.84)は自動的にオフになります。
- カメラの設定や温度や環境条件によっては、モニターに表示される画像にノイズや輝点が目立つ場合があります。また、これらは**[長秒時ノイズ低減]** (P.167)が設定されていても撮影画像に写る場合があります。



- バルブ/タイム撮影中の画面の明るさは変更できます。初期設定では暗く設定されています。☞ **[BULB/TIME輝度設定]** (P.168)
- バルブ/タイム撮影では、被写体が暗くても見やすい明るさで表示します。☞ **[LVブースト]** (P.165)
- 撮影モードが**B** (バルブ)のとき、露光中にマニュアルでピント位置を変更することができます。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。☞ **[BULB/TIME中MF]** (P.178)

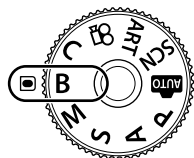
📷 画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流が発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境でISO感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラは長秒時ノイズ低減が働きます。🔊 【長秒時ノイズ低減】(P.167)

比較明合成撮影を行う (Bライブコンポジット撮影)

シャッターを長時間開いて露光をします。背景の明るさを変えずに、花火や星などの明るい光跡の変化を観察しながら撮影できます。複数枚を合成し、1枚の画像として記録します。

1 モードダイヤルをBに合わせます。



2 [LIVE COMP]に設定します。

- 初期設定ではリアダイヤルを回して設定します。

3 MENUボタンを押します。

- 【コンポジット撮影設定】の設定画面が表示されます。



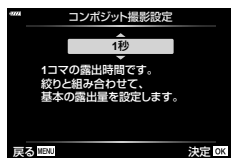
ライブコンポジット撮影

4 十字ボタンの△▽で1コマの露出時間を設定します。

- 露出時間は、1/2秒～60秒の間で設定できます。

5 OKボタンを押して設定を確定します。

- メニュー画面が表示されます。



6 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

7 絞り値を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで設定します。

8 撮影準備のためにシャッターボタンを全押しします。

- モニターに【コンポジット撮影できます】の表示が出たら撮影できます。



9 シャッターボタンを押して撮影を開始します。

- ライブコンポジット撮影が始まります。設定した露出時間ごとにモニターの画像が更新されます。

10 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了します。

- ライブコンポジット撮影では最長で3時間の撮影が可能です。撮影可能時間は、撮影環境や充電状態などによって変わります。
- 設定できるISO感度に制限があります。
- 以下の機能とは併用できません。
連写／セルフタイマー撮影／インターバル撮影／AEブラケット撮影／
フラッシュブラケット撮影／フォーカスブラケット撮影／HDR撮影／
ハイレゾショット／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／フィッシュアイ補正撮影
- **【手ぶれ補正】** (P.84)は自動的にオフになります。



- ライブコンポジット撮影中の画面の明るさは変更できます。初期設定では暗く設定されています。🔍 **【BULB/TIME輝度設定】** (P.168)
- ライブコンポジット撮影の1コマの露出時間は、あらかじめメニューで設定しておくことができます。🔍 **【コンポジット撮影設定】** (P.191)

カメラまかせで撮影する

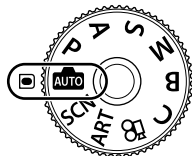
(オートモード)

シャッターボタンを押すだけで、撮影シーンに適した撮影ができます。

ライブガイドを使って、色合いや明るさ、ぼかし等の効果を簡単に設定できます。

1 モードダイヤルを **AUTO** に合わせます。

- オートモードでは、シャッターボタンを半押しすると、撮影に適したシーンをカメラが自動的に判別します。シーンを判別すると、画面左下の **AUTO** アイコンが判別したシーンモードのアイコンに変わります。



2 撮影の設定を変更したい場合は、**OK** ボタンを押してライブガイドを表示します。

- 十字ボタンの Δ ∇ を押してガイド項目を選択し、**OK** ボタンを押すと、スライダーが表示されます。



ガイド項目

3 Δ ∇ ボタンでスライダーを動かしてレベルを調整します。

- OK** ボタンを押して設定を確定します。
- ライブガイドの設定を解除するときは、**MENU** ボタンを押します。
- [撮影のヒント]** を選んだときは、 Δ ∇ ボタンで項目を選択し、**OK** ボタンを押すと説明が表示されます。
- レベルを選択すると画面で効果を確認できます。
[背景をぼかす]、**[動きを表現する]** では設定を確定すると元の表示に戻りますが、撮影した画像に効果は反映されます。



スライダー

4 複数のライブガイドを設定する場合は、手順2と3を繰り返します。

- 設定済みのライブガイドには、ガイド項目にチェックが表示されます。
- [背景をぼかす]**、**[動きを表現する]** は同時に設定できません。



5 撮影します。

- MENU** ボタンを押すとライブガイドは終了します。
- 画質モードが **[RAW]** のときは、自動的に RAW+JPEG に設定されます。
- ライブガイド設定は RAW 画像には適用されません。
- ライブガイドの設定レベルによっては、画像の粗さが強調される場合があります。
- ライブガイドの設定レベルを変えても、効果をライブビューであまり確認できない場合があります。

- **【動きを表現する】**でスライダーを**【動きを流す】**の方向へ動かすと、表示のフレームレートが遅くなります。
- ライブガイドではフラッシュは無効です。
- ライブガイドの設定がカメラの連動範囲外になると、白くとんだり暗い画像になる場合があります。



- タッチで操作することもできます。

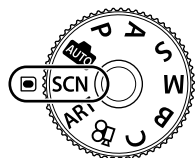
2

シーンモードを使う

(SCNモード)

被写体や撮影シーンに合わせて適切な設定で撮影できます。

- 1 モードダイヤルを**SCN**に合わせます。



- 2 十字ボタンの△▽◀▶で撮影シーンを選択し、**OK**ボタンを押します。













- 3 ◀▶ボタンでシーンモードを選択し、**OK**ボタンを押して設定します。





















- 4 撮影します。



- 他のシーンを選ぶときは**OK**ボタンを押します。さらに**MENU**ボタンを押すと、撮影シーンの選択に戻ります。

■ シーンモードの種類

撮影シーン	シーンモード	内容
人を撮る	 ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	 ビューティー	肌をなめらかに整えます。効果適用前と適用後の2コマの画像が同時に記録されます。
	 風景&人物	風景を背景にした人物の撮影に適しています。青・緑・肌の色を綺麗に再現します。
	 夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。専用外部フラッシュを取り付けてください(P.91)。三脚の使用とOI.Shareやリモートケーブルを使ったリモート撮影をおすすめします(P.202, 217)。
	 キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
夜景を撮る	 夜景	カメラを三脚で固定しての夜景撮影に適しています。三脚の使用とOI.Shareやリモートケーブルを使ったリモート撮影をおすすめします(P.202, 217)。
	 夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。専用外部フラッシュを取り付けてください(P.91)。三脚の使用とOI.Shareやリモートケーブルを使ったリモート撮影をおすすめします(P.202, 217)。
	 手持ち夜景	三脚を使わない夜景撮影に適しています。手ぶれによる乱れを軽減します。1回の撮影で8枚撮影して合成します。
	 打ち上げ花火	夜空の花火を撮影するのに適しています。三脚の使用とOI.Shareやリモートケーブルを使ったリモート撮影をおすすめします(P.202, 217)。
	 光跡撮影	自動的に複数枚を撮影して明るく変化した部分だけを合成します。 長時間露出では全体が明るくなってしまうシーンでも、仕上がりをモニターで確認しながら、建物や夜空などを背景にして星などの光跡を表現できます。シャッターボタンを押して撮影を開始し、モニターで画像が変化の様子を確認しながら最適な仕上がりでシャッターボタンを押して撮影を終了します。(最長3時間) 三脚の使用とOI.Shareやリモートケーブルを使ったリモート撮影をおすすめします(P.202, 217)。 <ul style="list-style-type: none"> • Bモードのライブコンポジット(比較明合成)では、より詳細な設定ができます(P.45)。


撮影シーン	シーンモード	内容
動きのあるものを撮る	 スポーツ	動きのある被写体の撮影に適しています。連写撮影になります。
	 キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
	 流し撮り	移動する被写体に対して、背景が流れるような撮影に適しています。カメラの動きを検出し、流し撮りに最適なシャッター速度で撮影します。
風景を撮る	 風景	風景撮影に適しています。
	 夕日	夕日の撮影に適しています。
	 ビーチ&スノー	晴天の海や雪山で撮影するのに適しています。
	 パノラマ	パソコンでパノラマ合成するための画像が撮影できます。 • 撮影方法は「パノラマ写真を撮影する」(P.52)をご覧ください。
	 HDR逆光補正	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に4枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に1枚の画像が合成されます。
室内で撮る	 キャンドルライト	キャンドルライトの光源下で撮影するのに適しています。温かみのある色が再現されます。
	 静音[♥]撮影	カメラが発するシャッター音や光が気になる場所で、音や光を発しないで撮影できます(P.72)。
	 ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	 ビューティー	肌をなめらかに整えます。効果適用前と適用後の2コマの画像が同時に記録されます。
	 キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
	 HDR逆光補正	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に4枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に1枚の画像が合成されます。
近づいて撮る	 マクロ	クローズアップ撮影に適しています。
	 ネイチャーマクロ	クローズアップ撮影に適しています。花や昆虫を鮮やかに撮影するのに適しています。
	 文書	書類や時刻表を撮影するのに適しています。文字と背景の明暗がはっきりと再現されます。
	 マルチフォーカス撮影	1コマごとにピント位置を変えて最大8コマ撮影します。

- シーンの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
- 【ビューティー】では、記録に時間がかかることがあります。また、画質モードが【RAW】のときは、RAW+JPEGで記録されます。

- [ビューティー]、[手持ち夜景]、[パノラマ]、[HDR逆光補正]ではムービー撮影はできません。
- [光跡撮影]では、[画質モード]の画像サイズが $\frac{FHD}{60P}$ (ハイスピード)のときにはムービー撮影ができません。
- [手持ち夜景]では、画質モードが[RAW]のとき、1枚目のRAW画像と合成されたJPEG画像がRAW+JPEGとして記録されます。
- [HDR逆光補正]では、HDR処理された画像はJPEGで記録されます。画質モードが[RAW]のときはRAW+JPEGで記録されます。
- [流し撮り]では、流し撮り検出時に、未検出時にが表示されます。
- [流し撮り]で手ぶれ補正機能切り換えスイッチがついているレンズを使う場合、手ぶれ補正機能切り換えスイッチをオフにしてください。
明るいシーンでは、流し撮り効果を十分に得られない場合があります。市販のNDフィルターを使うと、効果を得られやすくなります。
- [マルチフォーカス撮影]では、撮影中にズーム操作を行うと、撮影は終了します。
- [マルチフォーカス撮影]では、フォーサースマウント規格のレンズ使用時は、撮影できません。

■ パノラマ写真を撮影する

撮った画像をつなぎ合わせて、パノラマ合成画像を作成できます。パノラマ合成をするには、お使いのパソコンに最新版のOlympus Workspaceをインストールする必要があります。☞「カメラをパソコンに接続する」(P.206)

1 シーンモード(P.50)で[パノラマ]を選び、ボタンを押します。

2 十字ボタンの△▽◀▶で画像をつなぐ方向を選びます。


3 ガイド枠を目安に、1コマ目を撮影します。


- ピントや露出などは、1コマ目の撮影で決定されます。



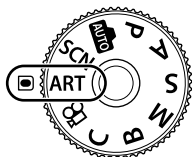
4 ガイド枠内が、前の画像と重なる構図で次のコマを撮影します。



- 最大10枚までの撮影と合成が可能です。10枚撮り終わると (警告)マークが表示されます。
- パノラマ撮影時には、前に撮影した位置合わせ用の画像は表示されません。画像に表示される枠や目印となる被写体を目安に、重なり合う画像の端が枠の中に重なるように構図を設定してください。

5 最後のコマを撮影した後にボタンを押して、パノラマ撮影を終了します。

- 1 モードダイヤルを**ART**に合わせます。
- 2 十字ボタンの<D>でフィルターを選びます。
- 3 ▽ボタンを押して、<D>ボタンでエフェクト(効果)を設定し、ⓧボタンを押します。
- 4 撮影します。



- 他のアートフィルターを選ぶときは、ⓧボタンを押します。エフェクトが表示されたときは△ボタンを押します。
- 設定できる効果はアートフィルターごとに異なります(ソフトフォーカス効果、ピンホール効果、枠(フレーム)効果、ホワイトエッジ効果、スターライト効果、フィルター効果、調色、ぼかし効果、シェード効果)。



■ アートフィルターの種類

ポップアート I / II *	色の美しさを強調した仕上がりになります。
ファンタジックフォーカス	柔らかいトーンの中で空気感を表し、幻想的な仕上がりになります。
デイドリーム I / II *	全体的に光を散らし、露出をややオーバー気味にして、やさしい光に包まれた浮遊感を表現した仕上がりになります。
ライトトーン	シャドウ部もハイライト部も柔らかく描写し、上質で落ち着いた仕上がりになります。
ラフモノクローム I / II *	モノクロならではの力強さ、荒々しさを表現した仕上がりになります。
トイフォト I / II / III *	画面周辺部を暗くして、古いカメラやトイカメラを使って撮ったときのような仕上がりになります。
ジオラマ I / II *	彩度やコントラストを強調し、ピントを合わせた位置以外をぼかし、ミニチュアのような雰囲気仕上がりになります。
クロスプロセス I / II *	不安定で非現実的な雰囲気を表現した画像になります。クロスプロセス II は、マゼンタを強調した仕上がりになります。
ジェントルセピア	全体的に柔らかい描写で、落ち着いた雰囲気の中にもシャドウ部が引き締まった、しっとりとした上品な仕上がりになります。
ドラマチックトーン I / II *	部分的にコントラストを強くし、明暗差を強調した仕上がりになります。
リーニュクレール I / II *	エッジラインを強調し、イラストテイストを付加した仕上がりになります。

ウォーターカラー I / II *	暗部を大胆に削除し、白いキャンパスに淡く明るい色彩をなじませ、さらに柔らかい輪郭線を載せて、ほんわりとした明るい雰囲気仕上がりになります。
ヴィンテージ I / II / III *	フィルムプリントの変色や退色などの効果を加えることによって、日常のひとコマをノスタルジックなヴィンテージ調に表現します。
パートカラー I / II / III *	強調したい色を抽出し、それ以外はモノトーンに抑えることで、被写体を印象的に表現します。
ブリーチバイパス I / II	映画撮影などで用いられる「銀残し(ブリーチバイパス)」の効果を加えることで、街並みなどの情景や金属の質感をより印象的に表現します。
ネオノスタルジー	フィルム特有の人物の肌のトーンや暗部の色の変化を、現代風にアレンジして表現します。
ART BKT (アートフィルターブラケット)	1回の撮影で、選択したすべてのアートフィルター画像を記録します。選択画面で INFO ボタンを押すと、記録するフィルターの選択ができます。

* II、IIIは、オリジナル(I)に対して変化をつけたものです。

- アートフィルターの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
- 画質モード(P.86, 127)が**[RAW]**のときは、自動的にRAW+JPEGに設定されます。アートフィルターの効果はJPEG画像にのみ適用されます。
- 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。
- エフェクトの設定によっては、ムービー撮影に反映しないものもあります。
- フィルター、効果、ムービーの画質設定によっては、再生時の動きが異なります。


■ [パートカラー]で撮影する

特定の色のみの残した画像にできます。

- 1 モードダイヤルを**ART**に合わせます。
- 2 [パートカラー I / II / III]を選択します。
- 3 タイプや効果を選択し、**OK**を押します
 - 画面にカラーリングが表示されます。
- 4 フロント/リアダイヤルを回して色を選択します。
 - 画面で効果を確認できます。
- 5 撮影します。
 - 他の色を選ぶときは、フロント/リアダイヤルを回すとカラーリングが表示されます。



撮影でよく使う機能の設定と撮影モードをカスタムモード(C)として登録しておき、必要なときにモードダイヤルの操作だけで呼び出して使うことができます。

- カスタムモード(C)の設定は、撮影メニュー 1の[リセット/カスタム設定] (P.126)の[カスタム登録]で、[カスタムモードC]を選ぶと登録できます。
- モードダイヤルをCに合わせて使います。
- 初期設定では、Pモードの設定が登録されています。

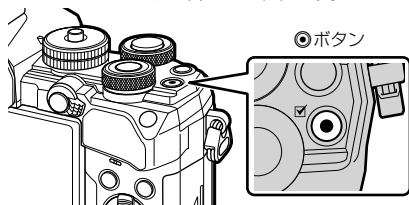
ムービーを撮る

静止画撮影時にムービーを撮る

モードダイヤルを \square 以外に設定している場合も、 \odot ボタンを押すとムービーを撮影できます。

1 \odot ボタンを押してムービー撮影を始めます。


- ・モニターに撮影中の画像が表示されます。
- ・ファインダーをのぞくと、ファインダーに撮影中の画像が表示されます。
- ・撮影中に画面にタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。



2 再度 \odot ボタンを押してムービー撮影を終了します。

- ・タッチ操作やボタンの操作音が録音されることがあります。
- ・このカメラは撮像素子にCMOSを搭載しているため、ローリングシャッターによる「動体歪み」という現象が発生します。動体歪みは、動きの速い被写体や手ぶれのときに撮影画像に歪みが発生する現象です。特に長焦点で使用するとこの現象が顕著になります。
- ・撮影中のムービーのファイルサイズが4GB以上になると、ファイルは自動的に分割されます（撮影条件によっては、4GB未満で分割される場合があります）。
- ・ムービー撮影の場合は、SDスピードクラス10以上に対応したカードをご使用ください。
- ・次の場合は、UHS-II またはUHS-I のUHSスピードクラス3以上をご使用ください。
【 \square 画質モード】の画像サイズが【4K】または【C4K】のとき / 【 \square 画質モード】のビットレートが【A-I】（All-Intra）のとき
- ・長時間使用すると撮像素子の温度が上昇し、画像にノイズや色むらが発生します。しばらく電源をオフにしてください。また、ISO感度が高い設定の画像でもノイズや色むらが発生します。さらに温度が上がると、カメラの電源がオフになります。
- ・フォーサズマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- ・次の場合、 \odot ボタンを押してもムービー撮影はできません。
多重露出撮影中（静止画撮影も終了します。） / シャッターボタン半押し中 /
B（バルブ）モード / 連写中 / インターバル撮影中 / デジタルシフト撮影中 /
フィッシュアイ補正撮影中
- ・【 \square 画質モード】の画像サイズが $\frac{1080}{60p}$ （ハイスピード）のときは、ピクチャーモードを【i-Finish】、【eポートレート】、またはアートフィルターに設定していても【Natural】で撮影されます。



- AF方式など一部の設定は、静止画撮影時の設定とは別にムービー撮影用の設定ができます。
 「動画メニューを使う」(P.142)

ムービーモードを使って撮る(📹)

モードダイヤルを📹 (ムービーモード)に設定すると、シャッターボタンを押してムービー撮影できるようになります。

P/A/S/Mモードの効果を活かしたムービー撮影が可能です(P.145)。また、ムービー撮影中に残像を残したり、一部を拡大するなどの動画エフェクトの効果を使うことができます。

- ムービーモードでは、合焦時でもピピッと音はしません。

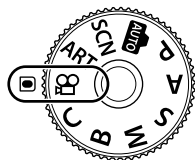
■ ムービーに効果をつける(動画エフェクト)






動画メニューの[📹表示設定]の[📹 Info表示]で[カスタム表示1]を選択して十字ボタンの▶️を押し、[動画エフェクト]にあらかじめチェックを入れておく必要があります(P.144)。

1 モードダイヤルを📹に合わせます。

2 効果を使うには、画面に表示される動画エフェクトのアイコンにタッチします。

- ムービー撮影中にタッチで効果をつけます。
- エフェクトは、ムービー撮影を開始する前でもタッチで効果をつけることができます。



	アートフェード	選択したピクチャーモードの効果で撮影できます。切り換わり時は、フェード効果がつきます。
	オールドフィルム	古い映画のような、傷やほこり状のノイズを無作為につけます。
	マルチエコー	残像効果をつけます。動きのある被写体の残像を残したムービーが撮影できます。
	ワンショットエコー	アイコンをタッチしたときの画像をしばらく残像として残します。残像は時間が経つと自動的に消えます。
	ムービーテレコン	レンズのズームを使わずに、画面の一部を拡大します。カメラを固定したままでも画面の選んだ位置の拡大をすることができます。

3 ●ボタンを押してムービー撮影を始めます。

4 もう一度●ボタンを押して、ムービー撮影を終了します。

- ムービー撮影中も**INFO**ボタンを押すと画面の情報表示の切り換えができます。ただし、ムービー撮影中に**INFO**ボタンを押した場合は動画エフェクト(アートフェード、ムービーテレコンを除く)が解除されます。

アートフェード

アイコンをタッチします。使用するピクチャーモードにタッチして指を放したときに、徐々に効果が反映されます。

- ・パートカラーは**ART**モードで選択した色が引き継がれます。

オールドフィルム

アイコンをタッチすると効果が反映されます。もう一度タッチすると解除されます。

マルチエコー

アイコンをタッチすると効果が反映されます。もう一度タッチすると解除されます。

ワンショットエコー

アイコンをタッチするたびに効果が加えられます。

ムービーテレコン

アイコンをタッチすると画面の一部を拡大したムービー撮影ができます。

1 アイコンにタッチして拡大枠を表示します。

- ・タッチ操作または、十字ボタンの△▽◀▶で拡大枠の位置を変更できます。
- ・**Ⓞ**ボタンを長押しすると拡大枠は中央に戻ります。



2 **🔍**にタッチすると拡大表示します。

- ・**🔍**にタッチすると拡大枠の表示に戻ります。

3 **🔍Off**にタッチするか**Ⓞ**ボタンを押すと、拡大枠が消えてムービーテレコンモードから抜けます。

- ・同時に2つの効果を使うことはできません。
- ・ピクチャーモードによっては、設定できない効果があります。
- ・タッチ操作やボタンの操作音が録音されることがあります。
- ・ムービーモード(**📹**)で表示されるドライブモードは静止画の機能です。ムービーモード(**📹**)では静止画は撮影できません。
- ・アートフィルターや動画エフェクトを使用した場合、フレームレートが低下することがあります。
- ・スロー/クイック撮影やハイスピードムービー撮影では、アートフィルターは使用できません。
- ・ムービー専用のピクチャーモード、スロー/クイック撮影、またはハイスピードムービー撮影では、ムービーテレコン以外の動画エフェクトは使用できません。
- ・画像サイズで**[4K]**または**[C4K]**を設定しているときは、ムービーテレコンは使用できません。

ムービー撮影中にカメラの操作音を録音しない

ムービー撮影中のカメラの操作による操作音が録音されるのを防ぐことができます。

静音操作タブにタッチすると以下の機能のアイコンが表示されます。項目にタッチした後、表示される矢印にタッチして設定します。




- 電動ズーム* / 録音レベル / 絞り / シャッター速度 / 露出補正 / ISO感度
 - * 電動ズーム機能つきレンズを使用時のみ
- 撮影モードによって設定できる項目は異なります。

静音操作タブ



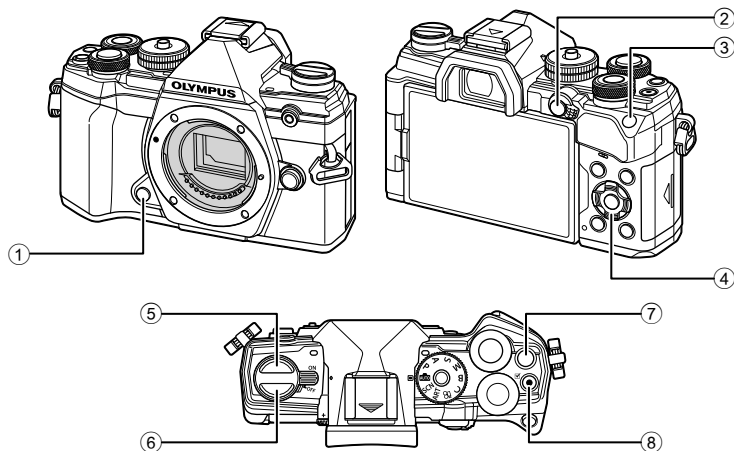
撮影機能を設定する方法

カメラにはたくさんの撮影機能が搭載されています。設定を変更する機会がどの程度多いかなどによって、ボタン操作で設定する方法、モニター上で機能を選択して設定する方法、メニューを開いて細かい設定をする方法を使い分けることができます。

設定方法	説明	
ダイレクトボタン	ボタン操作で直接機能を設定します。ファインダーをのぞきながらでも操作できるように、よく使う機能が割り当てられています。 •  ボタン、  ボタン、 ISO ボタンなど	61
LVスーパーコンパネ/ スーパーコンパネ	設定状態を一覧で表示する機能パネルで設定します。撮影機能の設定状態を確認できます。	75
LVコントロール	モニターで被写体を確認しながら設定します。	185
メニュー	モニターにメニューを表示して設定します。	123

ダイレクトボタンで設定する

撮影によく使う機能はボタンに割り当てられています。これらのボタンを「ダイレクトボタン」といいます。ダイレクトボタンには以下のようなボタンがあり、撮影に関する基本的な機能の設定ができます。



ダイレクトボタン	割り当てられている撮影機能	📖
① プレビューボタン	プレビュー	106
② AEL/AFL ボタン	AEL/AFL	68
③ ISO ボタン	ISO感度	68
④ 十字ボタン	[::] (AFターゲットの選択)	63
⑤ ボタン	連写/セルフタイマー	69
⑥ (LV)ボタン	モニター/ファインダー切り換え	30
⑦ ボタン	露出補正	62
⑧ ボタン	ムービー	56



- それぞれのボタンは、他の機能に変更することができます。📖 **[📷ボタン機能]** (P.105)

画像の明るさを変えて撮影する

(露出補正)

カメラが自動的に設定した露出を、自分のイメージした明るさに調整します。+補正にするとより明るく、-補正にするとより暗く表現できます。±5.0EVの範囲で補正できます。

- 撮影モードが**P/A/S/ART**モードのときに設定できます。**M**モードで使用するには、**[ISO感度]**が**[AUTO]**に設定されている必要があります(P.68)。



- ±5.0EVの範囲で補正できます。画面に表示される露出バーで表示されるのは±3までです。±3.0EVを超えると点滅します。
- ファインダー、ライブビューの表示は±3.0EVまでしか変化しません。
- 露出補正の設定をライブビュー画面に反映するには、**★カスタムメニュー D2**の**[LVブースト]** (P.165)が**[Off]**に設定されている必要があります。
- ムービーで補正できる範囲は±3.0EVまでです。
- ムービーモードでは、**[Mモード]** (ムービー露出モード)が**[P] / [A] / [S]**のときに設定できます。
- ムービー録画中に露出補正するときは、フロント/リアダイヤルやタッチ操作を使います。

■ **[露出補正]ボタン**で設定する

[露出補正]ボタンを押しながら、フロント/リアダイヤルを回します。**[露出補正]**ボタンを押して、十字ボタンの**◀▶**で設定することもできます。

- [OK]**ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。



露出補正値 露出バー



- [露出補正]**の機能は他のボタンに割り当てることができます。撮影モードが静止画モードの場合は、**★カスタムメニュー B**の**[カメラボタン機能]** (P.105)で設定します。ムービーモードの場合は、**★動画メニュー [カメラボタン/ダイヤルレバー]**の**[露出ボタン機能]** (P.143)で設定します。

■ **ダイヤル**で設定する

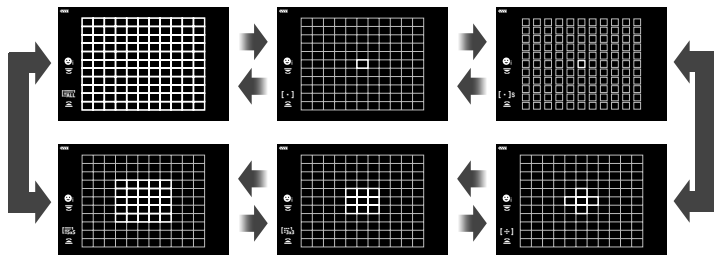
P/A/Sモードのときは、フロントダイヤルで設定します。フロントダイヤルを右または左に回します。**M**モードのときは、**[露出補正]**ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回します。

ピント合わせの範囲を選ぶ

(AFターゲットモード)

AFターゲットのサイズや形状を変更できます。また、顔優先AF (P.65)を選択することができます。

- 1 十字ボタンの△▽◀▶を押して、AFターゲットを表示します。
- 2 AFターゲット選択中にフロントダイヤルでサイズや形状を選びます。

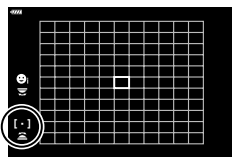


2

撮影する

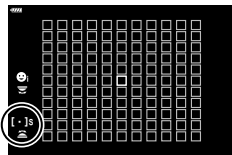
[・] シングルターゲット

1つのAFターゲットを選びます。



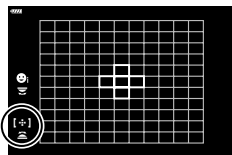
[・]s スモールターゲット

シングルターゲットよりサイズの小さいAFターゲットに変更できます。被写体が小さいときやより狭い範囲にピントを合わせたいときに使います。



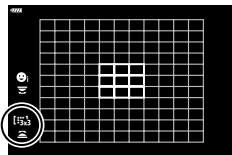
[::] グループターゲット(5点)

十字に配置された5点のAFターゲットを使います。5点の中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



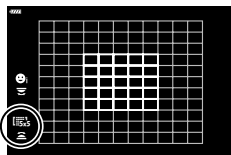
[::]s グループターゲット(3×3)

9点のAFターゲットを使います。9点の中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。

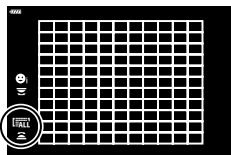


【設定】 グループターゲット(5×5)

25点のAFターゲットを使います。25点の中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。

**【設定】 オールターゲット(11×11)**

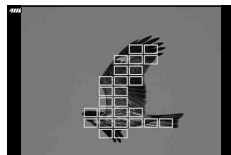
すべてのAFターゲットの中から、カメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



- ムービー撮影時は、グループターゲットはシングルターゲットになります。



- 【C-AF】で撮影時のAFターゲットエリアに関する設定ができます。☑️ 【📷C-AF中央スタート】 (P.175)、【📷C-AF中央優先】 (P.176)
- 【設定】 (オールターゲット)で、【📷AF方式】 (P.78)が【S-AF】、【S-AF MF】、【C-AF】のいずれかで、【AFターゲット表示】 (P.160)が【On2】のとき、AFターゲットはクラスター表示になります。ピントの合っている箇所のAFターゲットが表示されます。

**ピント合わせの位置を自分で決める (AFターゲット位置)**

ピントを合わせる位置や範囲を示す枠をAFターゲットと呼びます。ピントを合わせたい位置にAFターゲットを移動することができます。

- 1 十字ボタンの△▽◀▶を押して、AFターゲットを表示します。
- 2 AFターゲット選択中に十字ボタンでAF位置を選択します。



AF位置

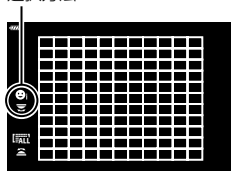
- 【デジタルテレコン】 (P.128)、【アスペクト】 (P.85)、グループターゲット(P.63)の設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。
- カスタムメニューの【[:::]カスタム設定】 (P.160)で、AFターゲット選択画面のダイヤルと十字ボタンの機能を変更できます。

顔優先AF / 瞳優先AFを使う

カメラが自動的に人物の顔や瞳を検出してピントを合わせます。デジタルESP測光のときは、露出は顔を中心に設定されます。

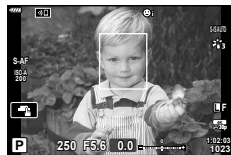
- 1 十字ボタンの△▽◀▶を押して、AFターゲットを表示します。
- 2 AFターゲット選択中にリアダイヤルで設定を選択します。

選択方法



顔優先On	被写体の顔を検出してピントを合わせます。
顔優先Off	顔優先AFをしません。
顔・瞳優先On	被写体の顔を検出して、近いほうの瞳にピントを合わせます。
顔・瞳(右側)優先On	被写体の顔を検出して、右の瞳にピントを合わせます。
顔・瞳(左側)優先On	被写体の顔を検出して、左の瞳にピントを合わせます。

- 3 カメラを被写体に向けます。
 - カメラが顔を検出すると、検出された部分に白い枠が表示されます。
- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
 - 検出された顔のピントが合った部分に、緑の枠が表示されます。
 - 被写体の目を検出したときは目にピントを合わせます。
 - マニュアルフォーカス時でも顔を検出できると、白い枠が表示されます。その場合も、露出は顔を中心に設定されます。



- 5 シャッターボタンを全押しします。
 - 被写体やアートフィルターの設定によっては、顔が検出できないことがあります。
 - (デジタルESP測光) (P.80)では顔を優先して測光します。
 - (P.78)でも顔の検出ができます。顔を検出すると白い枠が表示されます。
 - 拡大枠を表示しているときは、拡大枠の位置にピントを合わせます。

画面の一部を拡大して表示できます。ピント合わせを行う範囲を拡大表示することによって、より正確にピントを合わせることができます。拡大倍率を高くすると、通常のAFターゲット枠よりも小さい範囲でオートフォーカスをすることができます。拡大する範囲は任意で移動できます。

- あらかじめボタン機能でいずれかのボタンに[Q]を割り当てておく必要があります (P.105)。



1 [Q] (拡大)を割り当てたボタンを押します。

- 画面に拡大枠が表示されます。
- 拡大枠は、直前にオートフォーカスでピントを合わせた位置に表示されます。



2 十字ボタンの△▽◀▶を動かして拡大枠を移動します。

- OKボタンを長押しすると拡大枠が中央に戻ります。



3 拡大枠の大きさ(倍率)を変更します。

- INFOボタンを押してから、△▽ボタンを押すか、フロント/リアダイヤルを回すと拡大枠の大きさを変更できます。
- OKボタンを押すと、設定を確定して設定画面を終了します。



4 [Q]の機能を割り当てたボタンをもう一度押します。

- 拡大枠の部分が画面全体に拡大表示されます。
- フロント／リアダイヤルを回すと拡大の倍率が変わります。
- Δ ∇ \triangleleft \triangleright ボタンで拡大範囲の変更をすることもできます。
- 撮影モードが**M** (マニュアル)または**B** (バルブ)の場合、拡大表示時に**INFO**ボタンを押すと絞りやシャッター速度の設定ができます。
- **Q** ボタンを押すと、拡大枠に戻ります。
- \odot ボタンを押すと、拡大表示を終了します。
- **Q** ボタンを長押ししても拡大表示を終了できます。



M、**B**モード時の
露出設定画面

5 シャッターボタンを半押ししてオートフォーカスをします。

- 拡大表示はモニター上の表示のみです。実際に撮影される画像には反映されません。



- 拡大枠**AF**は、タッチ操作でも使用できます。☞ 「タッチパネルを使って撮る」(P.34)
- 拡大表示中、拡大領域を見やすい明るさで表示して正確なピントの確認をしたり、シャッターボタンを半押ししたときに、拡大表示を終了してもとの表示に戻す設定もできます。☞ **[LV拡大設定]** (P.165)

感度を変更する

(ISO感度)

被写体の明るさに応じて設定します。数値を大きくすると暗い環境での撮影が可能になりますが、画像のノイズ(ざらつき)が多くなります。【AUTO】の設定では、明るさに応じて自動的に設定が変わります。

1 ISOボタンを押し、フロント/リアダイヤルを回して設定値を選択します。

AUTO	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。ISO感度が変わるときの上限やシャッター速度を、*カスタムメニュー ①の【ISOオート設定】(P.167)で設定することができます。
LOW、200 ~ 25600	ISO感度を手動で設定します。ISO200はノイズと画像の階調のバランスが最もとれる設定です。

露出を固定する


(AEロック)

AEL/AFLボタンを押して、露出だけを固定することができます。ピントと露出を別々に決めたいときや、同じ露出で何枚も撮影するときに使用します。

- 一度ボタンを押すと露出が固定されAEが表示されます。☞「**AEL/AFL**ボタンを使ってピント合わせや測光を行う(☑AEL/AFLモード)」(P.173)
- AEロックを解除するには、もう一度ボタンを押します。
- モードダイヤル、**MENU**ボタンやⓂボタンの操作をするとロックは解除されます。












連写する／セルフタイマーを使う




連続撮影やセルフタイマーの方法を設定します。被写体に合わせて撮影方法を選択します。

1  ボタンを押します。





2 フロント／リアダイヤルを回して項目を選択します。

- ・カスタムセルフタイマーでは、**INFO** ボタンを押して詳細設定ができます。

 単写	1コマ撮影です。1回のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます。
 連写H	シャッターボタンを全押ししている間、最大約10コマ/秒で連続撮影できます。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。連写の速度や連写枚数の上限を設定できます (P.163)。【ISO感度】が8000以上の設定では、連写速度が低下します。
 連写L	シャッターボタンを全押ししている間、最大約6コマ/秒で連続撮影できます。連写の速度や連写枚数の上限を設定できます (P.163)。連写中のピントと露出は、【AF方式】 (P.78)、【AE/Lモード】 (P.173) に従います。【AF方式】が【C-AF】 / 【C-AF+TR】のときは、1コマごとにピント合わせをします。【ISO感度】が8000以上の設定では、連写速度が低下します。
 セルフタイマー 12s	シャッターボタンを全押しすると12秒後に撮影されます。セルフタイマーランプが、約10秒点灯した後、約2秒間点滅して撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合わせます。
 セルフタイマー 2s	シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合わせます。
 カスタム セルフタイマー	セルフタイマー撮影で、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます (P.71)。
 低振動[]撮影 (表示例)	シャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます。単写／連写L / セルフタイマーと組み合わせた設定が選べます (P.71)。
 静音[]撮影 (表示例)	電子シャッターによる撮影をします。1/8000秒より高速のシャッター速度に設定するときや、シャッター音が出せない環境下で撮影するときを使用します。単写／連写L / 連写H / セルフタイマーと組み合わせた設定が選べます。  では、ピント／露出／ホワイトバランスは最初の1コマで固定されます。フラッシュの同調秒時は、1/50秒です。【ISO感度】が8000以上の設定では、フラッシュの同調速度は1/20秒になります。



 プロキャプチャー H*	シャッターボタンを半押しすると連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します (P.72)。 Pro Cap H では、ピント/露出/ホワイトバランスはシャッターボタンを半押ししたときに固定されます。
 プロキャプチャー L*	
 ハイレゾショット*	より解像度の高い静止画を撮影できます (P.74)。三脚をお使いください。

* ピクチャーモードのアートフィルターは設定できません。

- セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、十字ボタンの▽を押します。
- セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。
- セルフタイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。
- 、**Pro Cap L**では、撮影中にライブビューを表示します。、**Pro Cap H**では、直前に撮影した画像を撮影中に表示します。
- 使用するレンズやズームの位置により、連写速度は変わります。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- カスタムメニューの【/表示設定】 (P.164) で表示/非表示の設定ができます。
- 静音撮影およびプロキャプチャー撮影時に、動きの速い被写体を撮影したりカメラを激しく動かして撮影すると、画像が歪んで写ることがあります。
- 【静音[♥]撮影】でフラッシュ撮影をするときは、撮影メニュー 2 【低振動[♦]/静音撮影[♥]】の【静音[♥]撮影時動作】で【フラッシュ】を【許可】にしておく必要があります。

セルフタイマーの待ち時間や枚数を設定する (カスタムセルフタイマー)

セルフタイマー撮影時の、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます。

- 1 ボタンを押します。
- 2 フロント/リアダイヤルを回して (カスタムセルフタイマー)を選択し、**INFO**ボタンを押します。
- 3 十字ボタンの<D>で項目を選択し、△▽ボタンで設定を変更します。









コマ数	1回の撮影で撮影するコマ数を設定します。
セルフタイマー時間	シャッターボタンを全押ししてから撮影されるまでの時間を設定します。
撮影間隔	撮影間隔を設定します。
各コマAF	撮影直前のAFをするかどうかを選択できます。




シャッター動作時の振動を防いで撮影する (低振動[]撮影)

シャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます。

マクロ撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。

あらかじめカスタムメニュー  の [表示設定] で  を付けておく必要があります (P.164)。

シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を  撮影メニュー 2 [低振動[]/静音[]撮影] の [低振動[]撮影] で変更できます (P.140)。

- 1 ボタンを押します。
- 2 フロント/リアダイヤルを回しての付いた項目を選択し、ボタンを押します。
- 3 撮影します。
 - 設定された時間が経過すると、シャッターが切れて撮影されます。

シャッター音を立てずに撮影する

(静音[♥]撮影)

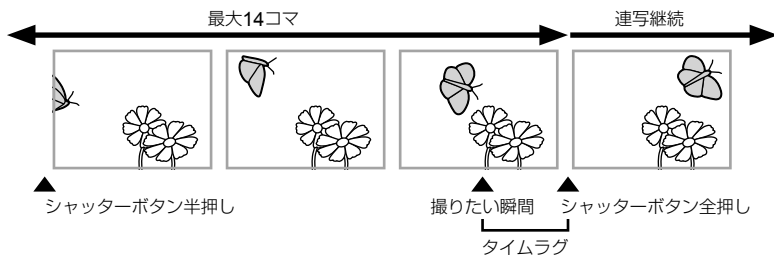
シャッター音が気になる場所で、音を立てずに撮影できます。電子シャッターを使って撮影するので、低振動撮影と同様にシャッター動作による微小なぶれを低減することができます。

シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を \odot 撮影メニュー 2 [低振動[♦]/静音[♥]撮影]の[静音[♥]撮影]で変更できます(P.140)。

- 1 \square ボタンを押します。
- 2 フロント/リアダイヤルを回して♥の付いた項目を選択し、 \odot ボタンを押します。
- 3 撮影します。
 - シャッターが切れるとモニターの画面は一度暗くなります。シャッター音はしません。
 - 被写体の大きな動きや蛍光灯やLED照明などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
 - シャッター速度の上限は1/32000です。

レリーズタイムラグを防いで撮影する (プロキャプチャー撮影)

シャッターボタンの半押しで画像の取り込みを開始して、シャッターボタンを全押しした瞬間からあらかじめ設定した枚数までさかのぼって画像を記録します。さらにシャッターボタンを押し続けている間、設定した枚数まで撮影を続けます。人の反応やカメラの動作のタイムラグにより撮り逃していた瞬間を記録することができます。[プロキャプチャー L]と[プロキャプチャー H]があります。




プロキャブチャー L (Pro Cap L)

10コマ/秒で連続撮影できます。シャッターボタンを全押しする前の画像を最大14コマ記録できます。【**AF方式**】(P.78)が【**C-AF**】 / 【**C-AF+TR**】のときは、1コマごとにピント合わせをします。撮影距離が変化する被写体の撮影に適しています。



プロキャブチャー H (Pro Cap H)

最大30コマ/秒で連続撮影できます。シャッターボタンを全押しする前の画像を最大14コマ記録できます。【**AF方式**】(P.78)の【**C-AF**】および【**C-AF+TR**】は【**S-AF**】に設定されます。撮影距離の変化が少ない被写体の撮影に適しています。

1  ボタンを押します。

2 フロント/リアダイヤルを回して **Pro Cap H** (プロキャブチャー H) または **Pro Cap L** (プロキャブチャー L) を選択し、 ボタンを押します。

3 撮影します。

- シャッターボタンを半押しすると撮影を開始します。画像取り込み中のアイコン()が表示されます。そのまま全押ししないで1分経過すると、撮影終了してが消えます。撮影するためにはもう一度半押ししてください。
- シャッターボタンを全押しするとカードへの記録を開始します。
- シャッターボタンを押し続けている間、【**枚数リミッター**】で設定した枚数まで撮影を続けます。

画像取り込み中



- Pro Cap L** (プロキャブチャー L) では絞り値が開放から **F8.0** の間に制限されます。
- フォーサーズレンズおよび他社製マイクロフォーサーズレンズでは、**Pro Cap L** (プロキャブチャー L) は使用できません。
- 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
- 連写中は、表示のブラックアウトやシャッター音は発生しません。
- シャッター速度の低速側には制限があります。
- カスタムメニューの【**Q/L設定**】、【**Q/H設定**】の【**Pro Cap**】(P.180)で、【**連写速度**】(**Pro Cap H** (プロキャブチャー H)のみ)、【**プリ連写枚数**】、【**枚数リミッター**】を設定できます。




より解像度の高い静止画を撮影する (ハイレゾショット)

撮像素子の画像サイズ以上の高解像の写真を生成します。撮像素子を動かしながら撮影した複数枚の画像をもとに1枚の高解像の画像にします。通常の画像サイズでは拡大しても見分けられないような細かい部分も精細に再現した画像を得ることができます。三脚などでカメラを固定して撮影してください。

☛撮影メニュー 2の【ハイレゾショット】で、シャッターボタンを全押ししてから実際にシャッターが切れるまでの時間と、ハイレゾショット撮影でフラッシュを使用するときの充電待ち時間を設定できます(P.141)。






ハイレゾショットが設定されているときは、画質モードでハイレゾ撮影の画質の選択ができます(P.86, 127)。

- 1  ボタンを押します。
- 2 フロント／リアダイヤルを回して  を選択し、 ボタンを押します。

- 画面に  が表示されます。カメラが安定していないときは、 が点滅します。カメラを安定させて  が点灯に変わったら準備完了です。
- ハイレゾショットの画質に変更されているので、画質設定を確認してください。変更するときは、LVスーパーコンパネを開いて設定します。



ハイレゾショット準備中

- 3 撮影します。
 - カメラぶれにより画像がぶれる可能性が高いときは、 が点滅します。カメラをしっかり固定してください。
 - 緑色の  が消えると撮影終了です。
 - 撮影後、自動的に画像が合成されます。合成中を示す表示がされます。
- 選択可能な画質モードはJPEG（ または  ）とRAW+JPEGです。画質をRAW+JPEGにしたときは、ハイレゾショットのRAW以外に合成前のRAW画像（拡張子「.ORI」）を1枚保存します。合成前のRAW画像は最新版のOlympus Workspaceで再生できます。
-  手ぶれ補正（P.84）は【S-IS Off】になります。
- RCフラッシュ撮影のときは、撮影待ち時間の設定は最大4秒に制限され、フラッシュの発光方式はMANUALに固定されます。
- P/A/S/Mモードで使用できます。
- ハイレゾショット撮影時は、以下の機能は使用できません。
 - インターバル撮影／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／ブラケット撮影／フィッシュアイ補正撮影／HDR撮影
- ピクチャーモードの【eポートレート】やアートフィルターに設定しているときは、【Natural】で撮影されます。
- 蛍光灯やLED照明などの光源下では画質が粗くなる場合があります。
- 撮影中に被写体が動くと、動いた部分の解像が低下する場合があります。

LVスーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定する

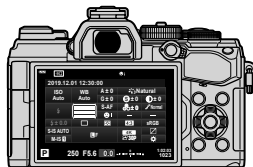
LVスーパーコンパネおよびスーパーコンパネは、撮影に関する機能とその設定内容をモニターに一覧表示できる機能設定パネルです。ライブビュー撮影時(モニターに被写体を表示して撮影するとき)はLVスーパーコンパネ、ファインダー撮影時はスーパーコンパネが使えます。

- ライブビュー撮影で \square (LV) ボタンを押すとファインダー撮影に切り換わり、モニターにスーパーコンパネが表示されます。



ライブビュー撮影時

\square (LVボタン)



ファインダー撮影時
(ファインダー点灯中、モニターは消灯します)

LVスーパーコンパネ(ライブビュー撮影時)

ライブビュー撮影時に \odot ボタンを押すと、モニターにLVスーパーコンパネが表示されます。



\odot



スーパーコンパネ(ファインダー撮影時)

モニターに被写体を表示していないファインダー撮影で、常時表示しておくことができます。 \odot ボタンを押すと、カーソルが表示されます。



\odot



■ LVスーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定する

1 OK ボタンを押します。

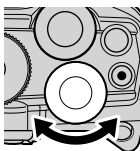
- ライブビュー撮影時は、LVスーパーコンパネが表示されます。
- 前回操作した機能にカーソルが表示されます。

カーソル

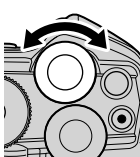


2 十字ボタンの△▽◀▶を押すか、リアダイヤルを回して設定する機能を選択します。

- 選択した機能にカーソルが移動します。
- 機能を直接タッチして選択することもできます。



3 フロントダイヤルを回して設定を変更します。



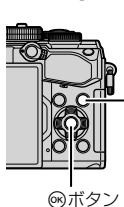
4 シャッターボタンを半押しすると、設定を確定してLVスーパーコンパネを終了します。

- スーパーコンパネの場合は、カーソルが消えて設定を終了します。

詳細設定をする

手順2で機能を選択し、OK ボタンを押すと、選択メニューが表示されます。機能によっては、選択メニューで**INFO**ボタンを押すとさらに詳細な設定が可能です。

INFO ボタン



OK ボタン



OK



INFO

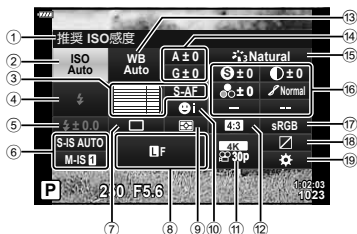


【手ぶれ補正】の場合

- OK ボタンの代わりにタッチ操作も使えます。選択した機能の位置を軽く2回タップすると選択メニューが表示されます。

■ LVスーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定できる機能

LVスーパーコンパネ



- ① 現在選択している機能
- ② ISO感度.....P.78
- ③ AF方式.....P.78
AFターゲット.....P.63
- ④ フラッシュモード.....P.91
- ⑤ フラッシュ補正值.....P.95
- ⑥ 手ぶれ補正.....P.84
- ⑦ 連写/セルフタイマー.....P.85
- ⑧ 画質モード.....P.86
- ⑨ 測光方式.....P.80
- ⑩ 顔優先.....P.65
- ⑪ 画質モード.....P.87
- ⑫ アスペクト比.....P.85
- ⑬ ホワイトバランス.....P.81

スーパーコンパネ



- ⑭ ホワイトバランス補正/色温度.....P.83
- ⑮ ピクチャーモード.....P.96
- ⑯ シャープネス.....P.99
コントラスト.....P.99
彩度.....P.99
階調.....P.100
フィルター効果.....P.101
調色.....P.102
効果.....P.102
Color*¹.....P.54
Color/Vivid*².....P.98
Effect*³.....P.96
- ⑰ カラー設定.....P.103
- ⑱ ハイライト&シャドウコントロール
.....P.104
- ⑲ ボタン機能割り当て.....P.105

*1 パートカラー設定時に表示されます。

*2 カラークリエイター設定時に表示されます。

*3 アートフィルター設定時に表示されます。

感度を変更する

(ISO感度)

ISO感度を設定します。

☰ 「感度を変更する(ISO感度)」(P.68)

- 1 **☰** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ \triangleleft \triangleright で**[ISO感度]**を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



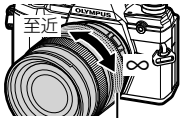
ピントの合わせ方を設定する

(AF方式)

ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択します。静止画撮影モードと ☰ モードで別々に設定できます。

- 1 **☰** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ \triangleleft \triangleright で**[AF方式]**を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。






S-AF (シングルAF)	シャッターボタンを半押しすると1回だけピント合わせを行います。ピントが合うと、ピピッと音がして、画面に合焦マークとAFターゲットが点灯します。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。
C-AF (コンティニュアスAF)	シャッターボタンを半押ししている間、ピント合わせを繰り返します。被写体にピントが合うと、画面に合焦マークが点灯します。また、1回目の合焦時には、ピピッと音がします。撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。
MF (マニュアルフォーカス)	レンズのフォーカスリングを操作することで任意の位置に手動でピントを合わせることができます。 <div style="text-align: right;">  <p>フォーカスリング</p> </div>
S-AF MF (S-AFとMFの併用)	[S-AF] でピントを合わせた後、フォーカスリングを回してピントの微調整ができます。

C-AF TR (追尾AF)	シャッターボタンの半押しでピントの合った被写体を、半押ししている間追尾してピント合わせの動作を繰り返します。 <ul style="list-style-type: none"> • 追尾被写体を見失うと、AFターゲットが赤く表示されません。シャッターボタンを放して、もう一度被写体に合わせてシャッターボタンを半押ししてください。 • AFターゲットが赤い表示のときは、被写体を追尾していてもAFは動作しません。
PreMF (プリセットMF)	選択すると、プリセットしたピント位置に自動で設定します。


- 明るさが不足している、霧などで被写体がかっきり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- カスタムメニューの【MFクラッチ】(P.161)が【有効】で、レンズのMFフォーカスクラッチがMFになっていると設定できません。

プリセットMFにピント位置を設定する

- 1 AF方式で【PreMF】を選択します。
- 2  ボタンを押した後、**INFO** ボタンを押します。
- 3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
 - フォーカスリングを回して、ピントを微調整できます。
- 4  ボタンを押します。
 - 【 ボタン機能】でプリセットMFボタンを割り当てたボタンを押すと、AF方式をプリセットMFに設定できます。もう一度押すと元のAF方式に戻ります。
 - カスタムメニューの【プリセットMF距離】で、ピント位置の距離を設定できます(P.161)。


画像の色合いを調整する (ホワイトバランス)

ホワイトバランス(WB)は白いものを白く写すための機能です。通常は[AUTO](オート)で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、[AUTO]以外のホワイトバランスを手動で設定します。





1  ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示し、ホワイトバランスを調整します。

2 十字ボタンの△▽◀▶で「ホワイトバランス」を選択します。

3 フロントダイヤルで項目を選択します。





- ワンタッチホワイトバランスやカスタムホワイトバランスを選択したときは、 ボタンを押した後、**INFO** ボタンを押して調整値の取得や変更ができます。



WBモード		設定される色温度	適した撮影シーン
オート ホワイトバランス	AUTO	—	一般的なほとんどの撮影シーン(画面内に白に近い色が存在する撮影シーン) <ul style="list-style-type: none"> 通常はこのモードをお使いください。 電球色を残した色合いにする設定もできます(P.82)。
プリセット ホワイトバランス		5300K	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき
		7500K	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき
		6000K	曇天の日に屋外で撮るとき
		3000K	電球に照らされている被写体を撮るとき
		4000K	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき
		—	水中で撮るとき
ワンタッチ ホワイトバランス		ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度	白に合わせたいものが特定できているとき <ul style="list-style-type: none"> 実際の撮影環境下で白に合わせたいものの色温度を測って設定します(P.82)。
		—	—
カスタム ホワイトバランス	CWB	2000K～14000K	色温度での特定ができるとき <ul style="list-style-type: none"> 色温度を選択し、設定します。

ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。自然光だけでなく、複数の異なる色温度の光源に照らされた撮影に有効です。

- 1 **[]**、**[]**、**[]**または**[]**（ワンタッチホワイトバランス1、2、3または4）を選択した後、**[OK]**ボタンを押してから**INFO**ボタンを押します。
- 2 白かグレーのように無彩色の紙を撮影します。
 - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
 - ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。
- 3 **[実行]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。
 - ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
 - 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源をオフにしても消去されません。

WBオート電球色残し

ホワイトバランスがオート設定でも、電球の色合いを残した仕上がりになります。ホワイトバランスがオートの場合は正しい色合いで撮影するように自動的に調整されますが、この機能を使うと電球の下で撮影したときの雰囲気を残せます。

- 1 **[AUTO]**を選択した後、**[OK]**ボタンを押してから**INFO**ボタンを押します。
 - **[WBオート 電球色残し]**の選択肢が表示されます。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla \langle \rangle$ で**[On]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

ホワイトバランスを微調整する (ホワイトバランス補正)

オートホワイトバランス、プリセットホワイトバランス、ワンタッチホワイトバランスそれぞれに、補正値を設定して微調整できます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla \langle \rangle$ で [ホワイトバランス] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。
- 4 $\Delta \nabla \langle \rangle$ ボタンでホワイトバランス補正を選択します。
- 5 フロントダイヤルで補正値を変更します。
 - **OK** ボタンを押すと、色味の補正画面が表示されます。



A方向(赤 - 青)で補正する場合

+方向で赤味がかかり、-方向で青味がかかった画像になります。

G方向(緑 - 赤紫)で補正する場合

+方向で緑の色味が増し、-方向で赤紫がかかった画像になります。

- すべてのホワイトバランスモードを一括して補正したい。☞ **[全WBモード補正]** (P.169)





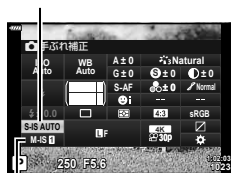
- 補正したホワイトバランスを確認したいときは **MOVIE** (ムービー) ボタンを押します。設定したホワイトバランスの条件で試し撮りしたサンプル画像が表示されます。


手ぶれを抑えて撮影する






(手ぶれ補正)

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。シャッターボタンの半押しから手ぶれ補正が働きます。

- 1  ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示し  手ぶれ補正
ます。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ \triangleleft \triangleright で手ぶれ補正を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。





 手ぶれ補正

静止画 (S-IS)	S-IS Off	静止画手ぶれ補正オフ	手ぶれ補正をしません。三脚使用時にお使いください。
	S-IS AUTO	手ぶれ補正オート	カメラの全方向の動きに対して補正をします。流し撮りを検出すると、画像を流す方向の補正を自動的に停止します。
	S-IS 	全方向補正	カメラの全方向の動きに対して補正をします。
	S-IS 	縦ぶれ補正	カメラの縦方向の手ぶれに対して補正をします。横方向に流し撮りするときに適しています。
	S-IS 	横ぶれ補正	カメラの横方向の手ぶれに対して補正をします。縦位置で流し撮りするときに適しています。
ムービー (M-IS)	M-IS Off	動画手ぶれ補正オフ	手ぶれを補正しません。
	M-IS 	全方向補正	撮像素子を動かすVCM式と電子式を組み合わせで補正します。
	M-IS 	全方向補正	撮像素子を動かすVCM式のみで補正します。

- 手ぶれが大きすぎる場合やシャッター速度が極端に遅い場合は、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
- 手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じることがあります。
- 手ぶれ補正機能切り換えスイッチのあるレンズでは、レンズ側の設定が優先されます。



- シャッターボタンを半押ししたときの、手ぶれ補正の動作のオンオフを選択できます。 【半押し中手ぶれ補正】 (P.163)
- レンズの手ぶれ補正機能を優先して働かせることができます。 【レンズ手ぶれ補正優先】 (P.163)

マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うとき

マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、レンズの焦点距離情報を入力して設定します。

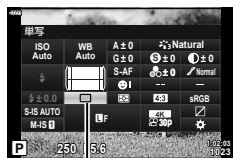
- **[手ぶれ補正]**の設定中に \odot ボタンを押します。**INFO**ボタンを押して、十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ で焦点距離を設定し \odot ボタンを押します。
- 0.1mm ~ 1000.0mmまでの焦点距離が設定可能です。
- レンズに記載の数値を設定してください。
- **撮影メニュー 1 [リセット/カスタム設定]** (P.125)の**[リセット]** (標準)でカメラの設定をリセットしても、登録したレンズの焦点距離は保持されます。

連写する／セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。また、セルフタイマーによる撮影もできます。

撮影メニュー 1 [連写する／セルフタイマーを使う] (P.69–74)。

- 1 \odot ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ で連写／セルフタイマーを選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。



連写／セルフタイマー

アスペクト比を設定する

撮影の意図やプリントなどの出力時の狙いに合わせて、画像の縦横比を設定します。通常のアスペクト比(横×縦)である**[4:3]**の他に**[16:9]**、**[3:2]**、**[1:1]**、**[3:4]**が設定できます。

- 1 \odot ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ で**[アスペクト]**を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



アスペクト

- アスペクト比は、静止画撮影時のみ設定できます。
- JPEGの画像では、設定したアスペクト比の画像で記録されます。RAW画像は、撮像素子のサイズである**[4:3]**のままの画像にアスペクト比の設定情報を付けて記録されます。再生時は、設定情報に合わせて枠が表示されます。

静止画撮影で記録する画像サイズを選択する (📷画質モード)

静止画の画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選べます。

- 1 ⑨ ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[📷画質モード]を選択します。



📷画質モード

- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。

- 以下の設定項目から選択します。画像サイズと圧縮率の組み合わせはメニューで変更することができます。🔍 ✨ カスタムメニュー G [画質設定] (P.194)

設定項目	画像サイズ	圧縮率	ファイル形式
📷SF	5184×3888	SuperFine (1/2.7)	JPG
📷F	5184×3888	Fine (1/4)	JPG
📷N	5184×3888	Normal (1/8)	JPG
📷M	3200×2400	Normal (1/8)	JPG
RAW	5240×3192	ロスレス圧縮	ORF
RAW+JPEG	RAWと上記のJPEGの組み合わせ		

- ハイレゾショット(P.74)が設定されているときは、50mF、25mF、50mF+RAW、25mF+RAWの選択ができます。
- ハイレゾショットに設定すると、画質モードの設定も変更されるので、撮影前に確認してください。



- RAW画像とは、露出補正やホワイトバランスなどの撮影の設定が反映されていない未加工の状態のデータです。撮影後にあらためて絵作りをするための元データとして使います。
 - 拡張子「.ORF」で記録されます。
 - 他のカメラでの再生はできません。
 - パソコンでの閲覧は画像編集・管理ソフトウェアOlympus Workspaceをお使いください。
 - このカメラの編集機能[RAW編集] (P.151)を使って、JPEGのデータにすることができます。

ムービーの画質を設定する (画質モード)

ムービーの画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など、用途に応じて設定できます。ムービーサイズやフレームレートなどの設定を変えた複数の設定を記憶させておき、使い分けることができます。また、スローモーションやクイックモーションのムービーやハイスピードムービーの選択もできます。☺ 「スローモーション/クイックモーション撮影をする(スロー/クイック撮影)」(P.90)、「ハイスピードムービーを撮影する」(P.89)


- 1 ☺ ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽<▷で [画質モード] を選択します。



画質モード

- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。
 - ☺ ボタンを押してから **INFO** ボタンを押し、リアダイヤルを回すと、各画質モードの設定を変更できます。

画質モードの表記について

設定の変更は  画質モードのアイコンに反映されます。設定によって以下のように表示が変わります。

ムービーサイズ		
FHD	Full HD*1	1920×1080
HD	HD*1	1280×720
4K	4K*1	3840×2160
C4K	4Kデジタルシネマ*1	4096×2160

圧縮方式/ビットレート	
A-I	All Intra*2
SF	Super Fine
F	Fine
N	Normal

フレームレート	
60p	60p : 59.94fps
50p	50p : 50.00fps
30p	30p : 29.97fps
25p	25p : 25.00fps
24p	24p : 23.98fps 24p : 24.00fps (C4K)

設定の種類	
	設定1/2/3/4 : 4種類の組み合わせを記憶しておけます。
	カスタム : ムービーサイズで 4K / 4Kデジタルシネマ が選択できます。また、スロー/クイック撮影をすることもできます (P.90)。
—	ハイスピードムービー  「ハイスピードムービーを撮影する」 (P.89)

- [ムービーサイズ]が**[4K]**および**[C4K]**のときは選択できません。

- 以下のときは、**[60p]**および**[50p]**は選択できません。
 - [ムービーサイズ]を**[FHD]** (Full HD)、ビットレートを**[A-I]**に設定しているとき
 - [ムービーサイズ]が**[C4K]**または**[4K]**のとき
- [ムービーサイズ]が**[C4K]**のときは、[フレームレート]は**[24p]**に固定されます。

*1 MPEG-4 AVC/H.264形式で記録されます。1ファイルは4GBに制限されます。1回の撮影は最長29分に制限されます。

*2 All-Intraはフレーム間の圧縮をしないで記録されるムービーです。編集に向いていますが、データの容量が大きくなります。

- 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。
- 設定の組み合わせによってはビットレートの変更ができない場合があります。
- アスペクト比は、16:9です。C4Kの設定では、17:9に設定されます。

ハイスピードムービーを撮影する

高速度撮影をします。撮影時は、120コマ/秒で撮影して60コマ/秒で再生するムービーとして記録します。時間を約2倍に延ばして再生することで、被写体の一瞬の動きをスローモーションで見ることができます(再生フレームレートが60pのとき)。ムービー画質モードの選択肢の一つとして設定します。再生フレームレートの設定により、再生時の速度の倍率を変えることができます。


設定の変更は画質モードのアイコンに反映されます。設定によって以下のように表示が変わります。



	ムービーサイズ	FHD	Full HD (1920×1080)
	設定の種類	HS	ハイスピードムービー (120fps)
	再生フレームレート	60p	60p : 59.94fps 再生倍率 : ×0.5
		50p	50p : 50.00fps 再生倍率 : ×0.42
		30p	30p : 29.97fps 再生倍率 : ×0.25
		25p	25p : 25.00fps 再生倍率 : ×0.21
		24p	24p : 23.98fps 再生倍率 : ×0.2



- FHD HS 60p** (ハイスピード)を選択します。
 - 設定の内容で使用するときは \odot ボタンを押します。設定が確定されメニューが消えます。
- 詳細設定をするときは手順1の設定メニューの表示で**INFO**ボタンを押します。
 - 詳細設定のメニューが表示されカーソルが移動します。
- フレームレートを選択し、設定します。
 - 十字ボタンの Δ / ∇ で設定を変更します。
- \odot ボタンを押すと、設定を確定してメニューを終了します。
 - 録画中は、ピント位置、測光、ホワイトバランスは固定されます。
 - 音声は記録されません。
 - 画角がやや狭く設定されます。
 - 録画中は、絞り値やシャッター速度、露出補正、ISO感度の変更はできません。
 - タイムコードの表示や記録はできません。
 - 録画中にズーム操作を行うと、明るさが変わる場合があります。
 - 1ファイルは4GBに制限されます。
 - HDMI機器接続中は、ハイスピードムービーの撮影はできません。
 - [手ぶれ補正]**の**[M-IS]**は設定できません。


- 動画エフェクトは使用できません。
- ピクチャーモードの【i-Finish】、【eポートレート】、およびアートフィルターは設定できません。
- 【階調】は【階調標準】に固定されます。
- スマートフォンと接続してリモート撮影を行っているとき、ハイスピードムービーの撮影は設定できません。

スローモーション/クイックモーション撮影をする (スロー/クイック撮影)




スローモーションやクイックモーションのムービーを作ることができます。ムービー画質のムービー cで録画速度を設定します。

- 1  ボタンを押してLVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で【画質モード】を選択します。

- 3 フロントダイヤルで  (カスタムの画質モード) (P.88)を選択し、 ボタンを押します。

- **INFO** ボタンを押すと【スロー/クイック効果】を変更できます。◀▶ ボタンで【スロー/クイック効果】を選んでから△▽ボタンで倍率を選び、 ボタンを押します。倍率を大きくするとクイック撮影、小さくするとスロー撮影になります。フレームレートは倍率に合わせて変更されます。



- 4  ボタンを押して撮影を始めます。
 - 撮影を終了するときにはもう一度 ボタンを押します。
 - 再生時は決まった速度で再生されるので、スローモーションやクイックモーションに見えるムービーになります。
- 音声は記録されません。
 - ピクチャーモードのアートフィルターは解除されます。
 - 【画質モード】の設定によっては、スロー撮影、クイック撮影の片方もしくは両方が設定できない場合があります。
 - シャッター速度は1/24以上に制限されます。【フレームレート】の設定により変わります。

専用外部フラッシュを使うとカメラでフラッシュの発光モードを設定して撮影することができます。

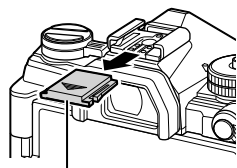
■ 専用外部フラッシュを取り付ける

フラッシュのカメラへの固定方法や操作方法はフラッシュによって異なります。詳しくはフラッシュの取扱説明書をお読みください。ここではFL-LM3を使った場合の説明をします。

- カメラとフラッシュの電源が切れていることを確認してください。電源が入ったまま取り付け/取り外しをすると故障の原因となります。

1 ホットシューカバーを外して、フラッシュをカメラに装着します。

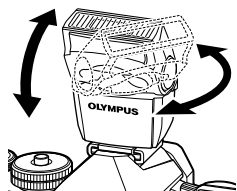
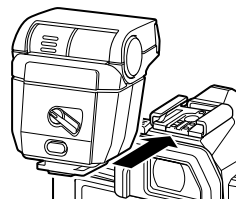
- フラッシュが奥にカチッと突き当たるまでしっかりと差し込みます。



ホットシューカバー

2 バウンス撮影時は、発光部の向きを調節します。

- 上方向と左右に回すことができます。
- バウンス撮影ではフラッシュの光量不足にご注意ください。



3 フラッシュのON/OFFレバーをONにして電源を入れます。

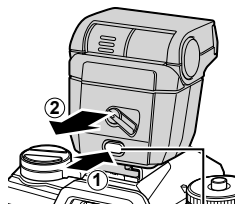
- フラッシュを使わないときは、レバーをOFFにして電源をオフにします。



ON/OFFレバー

■ 専用外部フラッシュを取り外す

- 1 フラッシュの**UNLOCK**スイッチを押しながらホットシューからフラッシュを外します。



UNLOCKスイッチ

発光モードを設定する

(フラッシュ)

専用外部フラッシュを使うときは、カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます。フラッシュを装着して電源を入れると、自動的にシャッター速度の上限は固定されます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla \langle \rangle$ で**[フラッシュ]**を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。
 - LVスーパーコンパネでフラッシュ発光モードを選択し、設定します。
















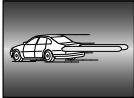

フラッシュ



フラッシュ発光モード



マニュアル発光量

■ フラッシュ発光モード

 発光	<p>フラッシュを発光します。</p> <ul style="list-style-type: none"> シャッター速度は、 カスタムメニュー  で設定されている [ 低速制限] (P.168) から [ 同調速度] (P.168) の間に設定されます。
 発光禁止	<p>フラッシュを発光しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> フラッシュの電源スイッチがオンになっていても発光しません。
 赤目軽減発光	<p>人物の目が赤く写る現象を起りにくくします。 フラッシュの発光は、 (発光) と同様に働きます。</p>
 スローシンクロ (先幕シンクロ)	<p>被写体も背景も適正露出となるように、遅いシャッター速度でフラッシュを発光します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ 低速制限] の設定に関わらず、測光値に合わせて遅いシャッター速度に設定されます。
 スローシンクロ+ 赤目軽減発光	<p> (スローシンクロ) と赤目軽減発光を併用します。フラッシュは先幕シンクロで発光します。</p>
 スローシンクロ (後幕シンクロ)	<p> (スローシンクロ) と同様にスローシンクロで発光します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フラッシュはシャッターを閉じる直前で発光します。被写体の移動方向の後に光跡が残る写真になります。 
 マニュアル発光 など	<p>設定した光量で発光します。</p>

- スーパー FP発光の機能については、フラッシュ側で設定をしてください。
- [] (赤目軽減発光) では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。
- 撮影状況によっては、[] (赤目軽減発光) の効果が得られないことがあります。

■ フラッシュ発光モードとシャッター速度

フラッシュの発光モードの設定に合わせて、使用できるシャッター速度の範囲が変わります。シャッター速度の上限と下限は、使用できる範囲の中で*カスタムメニューで変更することができます。☑️ **[同調速度]** (P.193)、**[低速制限]** (P.193)

露出モード	LVスーパーコンパネの表示	フラッシュ発光モード	発光タイミング	シャッター速度制限条件
P/A		発光	先幕シンク口	30秒～ 1/250秒
		赤目軽減		
		発光禁止	—	—
		スローシンク口 (赤目軽減)	先幕シンク口	60秒～ 1/250秒
		スローシンク口 (先幕シンク口)		
		スローシンク口 (後幕シンク口)	後幕シンク口	
S/M		発光	先幕シンク口	
		赤目軽減		
		発光禁止	—	—
		スローシンク口 (後幕シンク口)	後幕シンク口	60秒～ 1/250秒
B*		発光	先幕シンク口	—
		赤目軽減		
		発光禁止	—	—
		スローシンク口 (後幕シンク口)	後幕シンク口	—

* **[LIVE COMP]** (P.45)では、後幕シンク口は使用できません。

- フラッシュ発光時、シャッター速度は1/250秒以下に設定されます。背景の明るい被写体では、発光すると背景が露出オーバーになることがあります。
- 静音撮影(P.72)、ハイレゾショット撮影(P.74)およびフォーカスブラケット撮影時(P.132)は同調速度が1/50秒になります。また、電子シャッターを使った撮影(静音撮影、フォーカスブラケット撮影など)のときに**[ISO感度]**が8000以上の場合、フラッシュの同調秒時は1/20秒になります。ISOブラケット撮影時(P.131)もフラッシュの同調秒時は1/20秒になります。
- 被写体が近いと発光量を最小にしても強すぎる場合があります。近距離撮影での露出オーバーを防ぐには、**A**、**M**モードで絞り値を大きくしたり、**[ISO感度]**を低く設定して撮影してください。

フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ発光量補正)

フラッシュの光で被写体が白くとんでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。

【**⚡Manual**】 (マニュアル発光)以外のフラッシュ発光モードに設定されているときに使用できます。

- 【**⚡Manual**】 (マニュアル発光)を選択したときは、**▽**ボタンで【**⚡FULL**】を選択し、フロントダイヤルを回すと、発光量を設定できます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの**△▽◀▶**で【フラッシュ補正】を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。



フラッシュ補正

- 専用外部フラッシュで発光補正されていると、カメラの発光補正量に加算されて働きます。





























画像の仕上がりを設定する

(ピクチャーモード)

画像の色合いや階調を操作して仕上がりを調整します。被写体や写真表現に合わせて、用意された項目を選ぶだけで設定できます。それぞれの項目別に、コントラストやシャープネスなどの調整をすることができます。また、写真をアーティストックな表現にするアートフィルターを使うこともできます。アートフィルターでは、フレーム効果などの効果の設定をすることもできます。調整したパラメータはピクチャーモード別に記憶されます。

- この機能は、静止画撮影、ムービー撮影の両方で機能します。

■ ピクチャーモードの種類

 i-Finish	カメラが被写体を自動的に判別して、最適な色やコントラストを再現します(P.102)。
 Vivid	鮮やかな色合いになります。
 Natural	自然な色合いになります。
 Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
 Portrait	肌色をきれいに上げます。
 モノトーン	モノクロ調に上げます。フィルター効果を使ったり全体的に色付けする調色をすることもできます(P.102)。
 カスタム	調整を加えたピクチャーモードを登録できます。
 eポートレート	肌を明るくなめらかに補正します。
 水中	水中写真にあった色鮮やかな色彩に上げます。 <ul style="list-style-type: none"> 【 水中】を設定して撮影するときは、【 WB連動】(P.168)を【Off】に設定することをおすすめします。
 カラークリエイター	印象に合わせて全体の色合いや彩度を調整します(P.98)。
 ポップアート	アートフィルターの設定になります。さらにそれぞれのアートエフェクト機能が使えます。
 ファンタジックフォーカス	
 デイドリーム	
 ライトトーン	
 ラフモノクローム	
 トイフォト	
 ジオラマ	
 クロスプロセス	
 ジェントルセピア	
 ドラマチックトーン	
 リーニョクレール	
 ウォーターカラー	
 ヴィンテージ	
 パートカラー	
 プリーチパイパス	
 ネオノスタルジー	

- アートフィルターの効果はJPEG画像にのみ適用されます。画質モードが[RAW]のときは、自動的に[RAW+JPEG]に設定されます。
- 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。



- カスタムメニューの[ピクチャーモード表示] (P.164) で表示/非表示の設定ができます。

1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。

2 十字ボタンの Δ ∇ \langle \rangle で[ピクチャーモード]を選択します。

3 フロントダイヤルで項目を選択します。

- 項目によって、効果やシャープネスなどの関連する設定が調整できるようにLVスーパーコンパネの項目が変わります。必要に応じてそれぞれの項目を設定してください(P.99–102)。

ピクチャーモード



ピクチャーモードの設定によって変わります

画像全体の色味を調整する

(カラークリエイター)

画像全体の色を色相30段階と彩度8段階の組み合わせで設定できます。

1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。

2 十字ボタンの Δ ∇ \triangleleft \triangleright で**[ピクチャーモード]**を選択します。

3 フロントダイヤルで**[カラークリエイター]**を選択します。

- LVスーパーコンパネに**[Color/Vivid]**の項目が表示されます。

4 Δ ∇ ボタンで**[Color/Vivid]**を選択し、**OK** ボタンを押します。

5 色相と彩度を調整します。

- フロントダイヤルを回して色相を調整します。
- リアダイヤルを回して彩度を調整します。
- **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。

6 **OK** ボタンを押して設定を確定します。

- シャッターボタンを半押しして設定を終了することもできます。

- 画質モード(P.86, 127)が**[RAW]**のときは、RAW+JPEGで記録されます。
- **[HDR撮影]** (P.135)、**[多重露出撮影]** (P.137)では、**[Natural]**で撮影されます。
- いずれかのボタンに**[カラークリエイター]**を割り当てておくこともできます。ボタン機能の**[マルチFn]**から設定します(P.111)。

ピクチャーモード



Color/Vivid



鮮鋭さを微調整する

(シャープネス)

画像の鮮鋭さを調整します。輪郭の強調をすることでシャープなはっきりした感じの画像にすることができます。それぞれのピクチャーモードで、個別に設定しておけます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla < \triangleright$ で [シャープネス] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



明暗の差を微調整する

(コントラスト)

画像の明暗差を調整します。明暗差を強調することではっきりした印象の強い画像にすることができます。それぞれのピクチャーモードで個別に設定しておけます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla < \triangleright$ で [コントラスト] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



色の鮮やかさを微調整する

(彩度)

画像の色合いや色の濃さを調整します。彩度を上げると色合いのはっきりした印象的な画像になります。それぞれのピクチャーモードで個別に設定しておけます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla < \triangleright$ で [彩度] を選択します。
- 3 フロントダイヤルで設定値を選択します。



階調を微調整する

(階調)

画像の色や明るさの濃淡を調整します。被写体のイメージに合わせて全体的に明るく表現したり暗く表現します。明暗差によって暗い階調と明るい階調のどちらも表現できます。それぞれのピクチャーモードで個別に設定しておけます。

- 1 **☉** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ \langle \rangle で[階調]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。



🔧 Auto (階調オート)	画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗さの大きい画像に有効です。
🔧 Normal (階調標準)	適度な階調にします。通常は標準に設定してください。
🔧 High (階調ハイキー)	明るい被写体に適した階調にします。
🔧 Low (階調ローキー)	暗い被写体に適した階調にします。

モノトーンにフィルター効果をつける (フィルター効果)

ピクチャーモード(P.96)の【モノトーン】の設定に、カラーフィルターの効果をつけることができます。被写体の色によって明るく表現したりコントラストを強調することができます。黄、橙、赤の順にコントラストが強くなります。緑はポートレート撮影などにも効果的です。

- 1 **☉** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの **△▽◀▶** で【ピクチャーモード】を選択します。
- 3 フロントダイヤルで【モノトーン】を選択します。
- 4 **△▽◀▶** ボタンで【フィルター効果】を選択します。

フィルター効果



- 5 フロントダイヤルで項目を選択します。

N:無し	フィルター効果を使用しません。
Ye:黄	自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。
Or:オレンジ	青空らしさや夕日の輝きが少し強調されます。
R:赤	青空らしさや紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。
G:緑	人物写真で使うと肌の色を落ち着かせます。また、口紅の赤い色が強調されます。

モノトーンの調色をする

(調色)

ピクチャーモード(P.96)の[モノトーン]の設定に、色味の効果をつけることができます。

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[ピクチャーモード]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで[モノトーン]を選択します。
- 4 △▽◀▶ボタンで[調色]を選択します。



- 5 フロントダイヤルで項目を選択します。

N:無し	通常の白黒画像になります。
S:セピア	セピア調の画像にします。
B:青	青味がかった画像にします。
P:紫	紫味がかった画像にします。
G:緑	緑味がかった画像にします。

i-Finishの効果を調整する

(効果)

ピクチャーモード(P.96)を[i-Finish]に設定したときの、効果の強さを設定します。

- 1 OK ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[効果]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。




Low (効果 弱)	弱めの効果を画像に加えます。
Standard (効果 標準)	弱と強の中間程度の効果を画像に加えます。
High (効果 強)	強めの効果を画像に加えます。

色の再現方式を設定する

(カラー設定)

撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。カスタムメニューの[カラー設定] (P.169)と同じ機能です。

- 1  ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。
- 2 十字ボタンの△▽◀▶で[カラー設定]を選択します。
- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。





カラー設定

2

撮影する

sRGB	Windowsの環境での標準の色域として定着している規格です。標準的なディスプレイやプリンター、デジタルカメラ、各種のアプリケーションで使用されています。通常はこの設定にしてください。
AdobeRGB	アドビシステムズ社によって定義された規格です。sRGBより広い色域の再現ができます。正しく出力するためには、この規格に対応したソフトウェア、ディスプレイやプリンターなどの機器が必要です。ファイル名の初めの文字が、「_」(アンダーバー)で示されます(例: _xxx0000.jpg)。

- **AUTO** () (P.47)、**SCN** (P.49)、**ART** (P.53)、HDR撮影、ムービーモード()では、[AdobeRGB]を選択できません。

ハイライト部／シャドウ部の明るさを変えて撮影する (ハイライト&シャドウコントロール)

明部、暗部、中間部に分けて個別に明るさの調整をします。露出補正だけではできない光のコントロールができます。明部の明るさだけを落としたり、暗部を明るくするといった調整ができます。

- 1 **OK** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。



ハイライト&シャドウ
コントロール

- 2 十字ボタンの Δ ∇ \langle \rangle で[ハイライト&シャドウコントロール]を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 3 **INFO** ボタンを押して調整する明るさの範囲を選択します。

- **INFO** ボタンを押すたびに調整する範囲が切り換わります。



調整する明るさの範囲

- 4 ダイヤルを回して調整値を設定します。

- [明部&暗部]のとき
フロントダイヤルで明部、リアダイヤルで暗部の調整をします。
- [中間部]のとき
フロント/リアダイヤルで調整をします。
- **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。



- 5 **OK** ボタンを押して設定を確定します。
- シャッターボタンを半押しして、設定を終了することもできます。

ボタン機能を割り当てる (ボタン機能)

あらかじめ割り当てられているボタンの機能を他の機能に変更します。

[**ISO**ボタン機能]の設定は、静止画撮影モードのときに有効になります。[**AF**ボタン機能]の設定は、**AF** (ムービーモード)のときに有効になります(P.143)。

■ カスタマイズできるボタンと初期設定

ボタン	初期設定	ボタン	初期設定
ISO ボタン機能	ISO感度	◀▶ ボタン機能*1*2	[⋮] (静止画) / ダイレクト機能 (ムービー)
☑ ボタン機能	☑ (露出補正)	▶ ボタン機能*3	⚡ (静止画) / 電動ズーム*5 (ムービー)
REC ボタン機能	REC	▼ ボタン機能*3	☑/☑ (静止画) / WB (ムービー)
AE/AF ボタン機能	AE/AFL	Fn ボタン機能*4	AF停止
☑/☑ ボタン機能	☑/☑ (静止画) / Off (ムービー)		
 O ボタン機能	O		
Q ボタン機能	Q (静止画) / Q (ムービー)		

*1 **◀▶**ボタンが[ダイレクト機能]のときは、十字ボタンの△▽◀▶のそれぞれに機能を割り当てます。

*2 **◀▶**ボタンが[⋮]のときは、AFターゲットを選択します。

*3 [**▶**ボタン機能]および[**▼**ボタン機能]を使うには、[**◀▶**ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。

*4 **Fn**ボタンは、一部のレンズに搭載されているボタンの機能を設定します。

*5 電動ズーム機能つきレンズを使用時のみ

各ボタンの割り当て機能を変更したい場合は、以下の手順で変更できます。

1 **OK**ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示します。

2 △▽◀▶ボタンで[ボタン機能]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 撮影モードが静止画モードの場合はカスタムメニューの[**ISO**ボタン機能] (P.162)が、ムービーモードの場合は[**AF**ボタン/ダイヤル/レバー]の[**AF**ボタン機能] (P.143)が表示されます。



ボタン機能

















3 △▽ボタンで設定するボタンを選択し、**▶**ボタンを押します。










4 △▽ボタンで割り当てる機能を選択し、**OK**ボタンを押します。

- ボタンによって選択できる機能は異なります。









■ ボタンに割り当てられる機能と働き







機能	ボタンに割り当てたときの働き
AF停止	AFの動作を停止します。ボタンを押している間、AFは停止してピントは固定されます。 AF ボタンにのみ割り当てられます。
AEL/AFL (AF-L)	AEロック、AFロックボタンとして働きます。AEロックのときは、一度押すと露出が固定され再度押すと解除されます。動作は★カスタムメニュー A1 の [AE/AFLモード] で変更できます (P.173)。
REC (ムービー録画)	録画ボタンとして働きます。録画を開始/停止します。
ダイレクト機能 (AF-ON / AF-L / AF-R)	十字ボタン(△▽◀▶)に機能を割り当てます。それぞれ以下の機能が設定されます。 ◀ボタン: AF-ON (AFターゲット選択) △ボタン: AF-L (露出補正) ▶ボタン: AF-R (フラッシュ) ▽ボタン: AF-ON (ドライブ) • ▶ボタンは [▶ボタン機能] で、▽ボタンは [▽ボタン機能] で設定を割り当てて使います。
プレビュー (P)	絞りを実際に絞り込みます。ピントが合っている範囲を確認できます。ボタンを押している間、絞り値まで絞り込みます。動作は★カスタムメニュー 02 の [プレビュー設定] で変更できます (P.165)。 • この機能は [▶ボタン機能] でのみ設定できます。
ワンタッチWB (ワンタッチホワイトバランス) (WB)	ワンタッチホワイトバランスの設定をします (P.82)。基準とするもの(白い紙など)を撮影するように、ボタンを押しながらシャッターボタンを押します。撮影すると登録するワンタッチWBを選択するメニューが表示されるので、選択して設定します。 • この機能は [▶ボタン機能] でのみ設定できます。
AF-ON 選択 (AFターゲット選択)	AFターゲットの設定をします。 AFターゲットモード (P.63)、AFターゲット位置 (P.64)、顔優先AF / 瞳優先AF の設定 (P.65) ができます。ボタンを押すと、AFターゲット選択画面が表示されます。フロント/リアダイヤルでAFターゲットモード、顔優先AF / 瞳優先AF の設定、十字ボタンでAFターゲット位置の設定をします。
AF-ON Home (AFホームポジション) (AF-ON HOME)	[AF方式]、[AFターゲットモード]、[AFターゲット位置] をあらかじめ登録した状態(ホームポジション)にします。ボタンを押すと設定を変更して再度押すと元の設定に戻ります。ホームポジションは、★カスタムメニュー A2 の [AF-ON HOME登録] で設定しておきます (P.177)。 • この機能は [▶ボタン機能] でのみ設定できます。









機能	ボタンに割り当てたときの動き
MF切換(MF切り換え)	AF方式をMFに切り換えます。一度押すとMFに切り換わり再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回してAF方式を選択することもできます。【  Fnレバー機能】が【mode2】のときは無効です。
RAW⇐ (RAW画質)	【  画質モード】をRAW+JPEGとJPEGの間で変更します。元の画質モードがRAWまたはJPEGのときは、ボタンを押すとRAW+JPEGに、RAW+JPEGのときはJPEGに切り換わります。ボタンを押しながらダイヤルを回して画質モードを選択することもできます。 • この機能は【  ボタン機能】でのみ設定できます。
試し撮り撮影 ()	試し撮りができます。各機能の設定の結果を実際に撮影した結果で確認できます。ボタンを押しながらシャッターボタンを押すと、画像を記録せずにモニターに表示します。 • この機能は【  ボタン機能】でのみ設定できます。
 /  (水中ワイド/水中マクロ)	ボタンで  と  を切り換えられます。ボタンを押し続けると元の撮影モードに戻ります。電動ズーム機能のあるレンズを使用中は、  、  の切り換えに連動してズームを広角端、望遠端に自動的にセットします。 • この機能は【  ボタン機能】でのみ設定できます。
露出補正()	露出の設定をします。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。撮影モードにより設定できる内容が異なります。 【P】：フロント/リアダイヤル、十字ボタンの<D>で露出補正。△▽ボタンでプログラムシフト。 【A】：フロント/リアダイヤル、十字ボタンの<D>で露出補正。△▽ボタンで絞り。 【S】：フロント/リアダイヤル、十字ボタンの<D>で露出補正。△▽ボタンでシャッター速度。 【M】：リアダイヤル、十字ボタンの△▽でシャッター速度。フロントダイヤル、<D>ボタンで絞り。 【B】：リアダイヤル、十字ボタンの△▽でバルブ/タイム撮影、ライブコンポジット撮影の切り換え。フロントダイヤル、<D>ボタンで絞り。
デジタルテレコン ()	デジタルテレコンの設定をします(P.128)。一度押すと拡大し、再度押すと元の表示に戻ります。
デジタルシフト撮影 ()	ボタンを押すとデジタルシフト撮影の設定ができます(P.139)。もう一度ボタンを押すと設定画面を終了します。ボタンを長押しすると、デジタルシフト撮影が解除されます。 • この機能は【  ボタン機能】でのみ設定できます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
フィッシュアイ補正 ()	<p>フィッシュアイ補正撮影の設定をします (P.196)。一度押すとフィッシュアイ補正撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと[角]の設定を1、2、3で切り換えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は [ ボタン機能] でのみ設定できます。
拡大(Q)	<p>一度押すと拡大枠が表示され、再度押すと枠の部分が拡大表示されます (P.66)。再度押すと、元の表示に戻り、ボタンを長押しして枠を消します。拡大枠はタッチ操作や十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ で位置を移動できます。</p>
HDR撮影	<p>HDR撮影の設定をします (P.135)。一度押すとHDR撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すとHDR BKTの設定を含む [ HDR撮影] の設定を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は [ ボタン機能] でのみ設定できます。
BKT切換	<p>BKT (ブラケット) 撮影の設定をします (P.130)。一度押すとBKT撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [ ブラケット撮影] の設定を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は [ ボタン機能] でのみ設定できます。
ISO感度	<p>[ ISO感度] の設定をします (P.68)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント/リアダイヤルや十字ボタンの $\triangleleft \triangleright$ で設定します。</p>
WBモード (ホワイトバランス)	<p>[ ホワイトバランス] の設定をします (P.81)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント/リアダイヤルや十字ボタンの $\triangleleft \triangleright$ で設定します。</p>
マルチFn (マルチファンクション)*	<p>マルチFnボタンに設定します (P.111)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して、複数の機能から一つの機能を選択し、使うことができます。ボタンを押して、選択した機能を使用します。</p>
ピーキング	<p>ピーキング表示をします (P.178)。一度押すとピーキング表示をして再度押すと元の表示に戻ります。ピーキング表示中に INFO ボタンを押すと詳細設定の画面が表示され、色や強度の変更ができます。</p>

* マルチファンクションでは、以下の機能が使用できます。

-  (ハイライト&シャドウコントロール)、 (カラークリエイター)、
-  (ISO感度)、 (ホワイトバランス)、 (拡大)、 (アスペクト比設定)、
-  (OVFシミュレーション)、 (ピーキング)

機能	ボタンに割り当てたときの動き
 水準器表示	デジタル水準器を表示します。ファインダーの露出バー表示を水準器表示に切り換えます。再度押すと戻ります。 * カスタムメニュー  [EVF表示スタイル] (P.195)が [スタイル1] 、 [スタイル2] のときに有効です。
 切換 (EVF切り換え)	ファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えます。 [EVF自動切換設定] (P.171)が [Off] のときは、モニターとファインダーの表示を切り換えます。ボタンを長押しすると [EVF自動切換設定] のメニューを表示します。
OVFシミュレーション ()	[OVFシミュレーション] の設定をします(P.171)。一度押すと [On] に設定されます。もう一度ボタンを押すと [Off] に戻ります。 • この機能は [Fnボタン機能] でのみ設定できます。
AFリミッター	[AFリミッター] の設定をします(P.161)。一度押すと [AFリミッター] で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと記憶されている3つの設定の間で変更ができます。 • この機能は [Fnボタン機能] でのみ設定できます。
プリセットMF (PreMF)	[FnAF方式] を [プリセットMF] に切り換えます(P.78)。一度押すとプリセットMFに切り換わり、再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回して [FnAF方式] を選択することもできます。 [FnFnレバー機能] (P.162)が [mode2] のときは無効です。
レンズ情報登録 ()	レンズの登録情報の選択ができます(P.194)。レンズ交換時などに、登録されているレンズ情報を選択します。
手ぶれ補正	[手ぶれ補正] 設定をオフにします(P.84)。一度押すと [Off] に設定され再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、 [手ぶれ補正] のメニューが表示され設定の変更ができます。
フリッカースキャン ()	[フリッカースキャン] (P.146, 192)を設定します。ボタンを押すと [On] になります。画面でスジの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。再度ボタンを押すと、情報表示が切り換わりシャッター速度以外の設定ができます。ボタンを長押しすると、 [フリッカースキャン] を [Off] にします。
フラッシュ (🔋)	フラッシュの設定をします(P.93)。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント/リアダイヤルや十字ボタンの \triangleleft \triangleright で設定します。 • この機能は \triangleright または ∇ ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ [Fnボタン機能] を [ダイレクト機能] に設定しておく必要があります。 • この機能は [Fnボタン機能] でのみ設定できます。

機能	ボタンに割り当てたときの動き
 (連写/セルフタイマー)	ドライブ(連写やセルフタイマー)の設定をします(P.69)。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント/リアダイヤルや十字ボタンの<D>で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は【 ボタン機能】でのみ設定できます。
 ロック (タッチパネルロック)	タッチ操作を無効にします。ボタンを長押しするとタッチ操作が無効になり、再度長押しすると有効になります。 <ul style="list-style-type: none"> この機能はDまたは▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ【 ボタン機能】を【ダイレクト機能】に設定しておく必要があります。
電動ズーム	電動ズームレンズを使用時にズーム動作ができます。ボタンを押したあと、十字ボタンでズーム操作します。△またはDボタンで望遠側、▽または<D>ボタンで広角側へズームします。 <ul style="list-style-type: none"> この機能はDまたは▽ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ【 ボタン機能】を【ダイレクト機能】に設定しておく必要があります。
ムービーテレコン()	ムービーテレコンの設定をします(P.57)。一度押すと拡大枠が表示され再度押すと枠の部分が拡大表示されます。再度押すと、元の表示に戻り、ボタンを長押しして枠を消します。拡大枠はタッチ操作や十字ボタン(△▽<D>)で位置を移動できます。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は【 ボタン機能】でのみ設定できます。
S-AF	AF方式の【S-AF】の動作をします。ボタンを押すと被写体にピント合わせをします。ボタンを押している間はその位置でピントを固定します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は【 ボタン機能】でのみ設定できます。
Off	ボタンを使用しません。

■ マルチファンクションを使う(マルチFn)

一つのボタンで複数の機能の設定ができる機能です。

- マルチファンクションを使うには、あらかじめボタン機能でいずれかのボタンに【マルチFn】を割り当てておく必要があります(P.105)。

呼び出す機能を切り換える

1 【マルチFn】を割り当てたボタンを押しながら、フロント/リアダイヤルを回します。

- ダイヤルを回して、設定したい機能にカーソルを合わせます。設定したい機能を選択したらボタンを離します。



2 【マルチFn】を割り当てたボタンを一度押します。

3 設定します。

ハイライト&シャドウコントロール	フロント/リアダイヤルで設定します。 INFO ボタンを押すと調整する範囲(明部、暗部、中間部)の変更ができます。
カラークリエイター	フロントダイヤルで色合い、リアダイヤルで彩度を設定します。
ISO感度	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
ホワイトバランス	
拡大	拡大枠が表示されます。
アスペクト比設定	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
OVFシミュレーション	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。
ピーキング	

- 表示される機能を選択することができます。☰ 【マルチFn表示設定】(P.164)

3 再生する

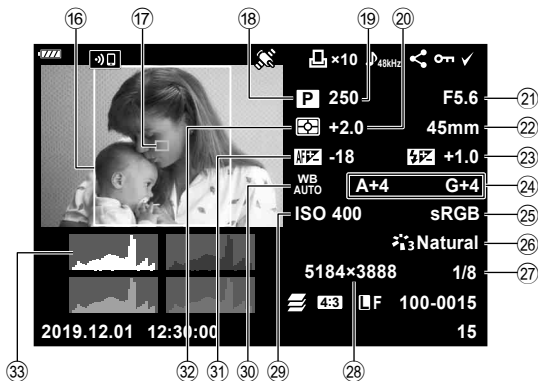
再生時の情報表示

再生画像情報

簡易表示



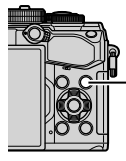
総合表示



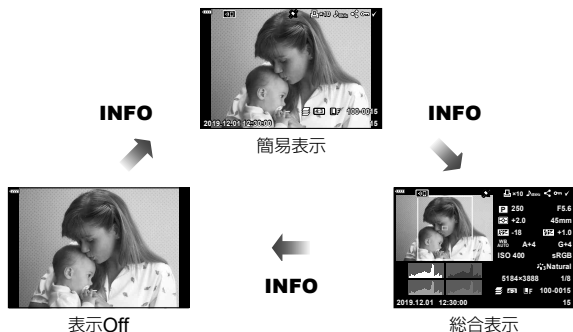
- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| ① 電池残量 P.24 | ①7 AFターゲット表示 P.63 |
| ② 無線LAN接続 P.198-205 | ①8 撮影モード P.32-57 |
| ③ GPS位置情報有り P.203 | ①9 シャッター速度 P.35-41 |
| ④ プリント予約
プリント枚数 P.118 | ②0 露出補正 P.62 |
| ⑤ 録音 P.120 | ②1 絞り値 P.35-41 |
| ⑥ シェア予約 P.117 | ②2 焦点距離 |
| ⑦ プロテクト(保護) P.117 | ②3 フラッシュ補正 P.95 |
| ⑧ 画像選択 P.118 | ②4 ホワイトバランス補正值 P.83 |
| ⑨ ファイル番号 P.170 | ②5 カラー設定 P.103 |
| ⑩ コマ番号 | ②6 ピクチャーモード P.96, 127 |
| ⑪ 画質モード P.86, 127 | ②7 圧縮率 P.194 |
| ⑫ アスペクト比 P.85 | ②8 ピクセルサイズ P.194 |
| ⑬ 深度合成 P.132 | ②9 ISO感度 P.68, 78 |
| ⑭ HDR画像 P.135 | ③0 ホワイトバランス P.81 |
| ⑮ 日時 P.25 | ③1 AF微調節 P.161 |
| ⑯ アスペクト枠 P.85 | ③2 測光方式 P.80 |
| | ③3 ヒストグラム |

情報表示を切り換える

INFO ボタンを押すたびに再生時の情報表示の切り換えができます。



INFO ボタン



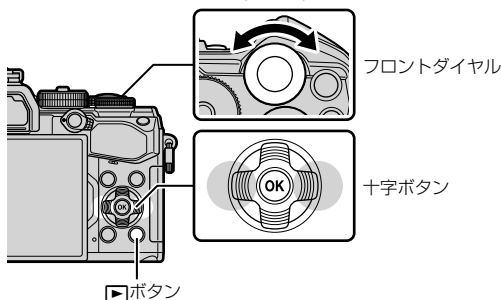
- 再生時の情報表示に、ヒストグラム表示、ハイライト&シャドウ表示、ライトボックス表示を追加できます。☞ **[Info]** (P.186)

撮った画像／ムービーを見る

1 再生ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- フロントダイヤル(⊙)や十字ボタンで画像が切り換わります。
- シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。

前の画像を表示 ← → 次の画像を表示



静止画



ムービー

リアダイヤル(⊙)	表示の拡大(⊙) / インデックス(⊙)
フロントダイヤル(⊙)	コマ戻し(⊙) / コマ送り(⊙) クローズアップ再生中でも操作できます。
十字ボタン (△▽◀▶)	1コマ再生：コマ送り(▶) / コマ戻し(◀) / 再生音量調節(△▽) クローズアップ再生：クローズアップ位置の変更 INFO ボタンを押すとクローズアップしたままコマ送り(▶)戻し(◀)ができます。 もう一度 INFO ボタンを押すと拡大枠が表示され、△▽◀▶ボタンで拡大枠の位置を変更できます。 インデックス再生/カレンダー再生：画像の選択
INFO ボタン	画像情報の表示
☑ (⊙)ボタン	画像の選択(P.118)
Fn (AEL/AFL) ボタン	画像のプロテクト(P.117)
🗑️ボタン	画像の消去(P.117)
⊙(OK)ボタン	メニューの表示(カレンダー再生中に押すと1コマ再生に戻ります。)

画像をすばやく探す (インデックス再生/カレンダー再生)

- 1コマ再生でリアダイヤルを \square に回すとインデックス再生します。さらに回すと、カレンダー再生に変わります。
- リアダイヤルをQに回すと1コマ再生に戻ります。



- インデックス再生のコマ数を変更できます。🔍 \square 表示 (P.187)

画像を拡大して見る (クローズアップ再生)

1コマ再生でリアダイヤルをQに回すと表示を拡大し、 \square に回すと1コマ再生に戻ります。



画像を回転する (回転)

撮影した画像を回転させることができます。

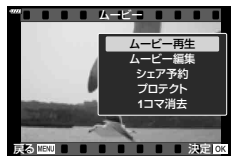
- 再生画面で画像を表示し、OKボタンを押します。
- 【回転】を選択し、OKボタンを押します。
- 十字ボタンの \triangle (反時計回り)、 ∇ (時計回り)を押すたびに画像が回転します。
 - OKボタンを押して、設定を終了します。
 - 回転表示した画像はその状態でカードに記録されます。
 - ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。



- カメラを縦位置で撮影した画像を、再生時に自動的に回転して表示することができます。
🔍再生メニュー【回転再生】(P.151)
【回転再生】が【Off】のときは、【回転】は選択できません。

ムービーを見る

ムービーを選んで \odot ボタンを押すと再生メニューが表示されます。【ムービー再生】を選択し、 \odot ボタンを押すとムービー再生が始まります。十字ボタンの $\triangleleft/\triangleright$ で早送り、巻き戻しします。 \odot ボタンを再度押すと一時停止します。一時停止中は、 \triangle ボタンで先頭のフレーム、 ∇ ボタンで最後のフレームを表示します。 $\triangleleft/\triangleright$ ボタンまたはフロントダイヤル(\odot)でコマ戻し/コマ送りします。**MENU**ボタンを押すと再生を終了します。



4GBを超えるサイズのムービーの再生

長時間撮影したムービーはファイルサイズが4GBを超える場合があります。ファイルサイズが4GBを超えるときは、自動的にファイルを分割して記録を続けます。自動的に複数に分割されたムービーは、一つのムービーとして連続して再生することもできます。

1 \triangleright ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。

2 再生したい長時間ムービーコマを表示して \odot ボタンを押します。

- 以下のメニューが表示されます。

【先頭から連続で再生】： 分割されたムービーを通して再生

【ムービー再生】： ファイル別に再生

【同一ムービー消去】： 分割されたムービーをすべて消去

【1コマ消去】： ファイル別に消去

- パソコンでのムービー再生には最新版のOlympus Workspaceをおすすめします(P.207)。はじめてソフトウェアをお使いになる際は、カメラをパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。

画像を保護する

(プロテクト)

画像を誤って消さないように保護します。保護したい画像を再生して **On** (**AEL/AFL**) ボタンを押すと、画像に **On** (プロテクトマーク) が付きます。再度 **On** (**AEL/AFL**) ボタンを押すと解除されます。あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。**☞** 「複数の画像を一括で処理する(プロテクト・選択コマ消去・選択コマシェア予約)」(P.118)

プロテクトマーク

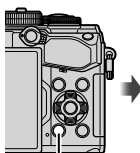


- カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。

画像を消去する

(1コマ消去)

消去したい画像を再生し、**🗑️** ボタンを押します。**[実行]** を選択し **⊙** ボタンを押すと消去されます。ボタンの設定を変更して、確認手順なしで消去することもできます。**☞** 「ワンタッチ消去」(P.171)



🗑️ ボタン



画像の転送予約をする

(シェア予約)

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。転送したい画像を再生して **⊙** ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。**[シェア予約]** を選び **⊙** ボタンを押した後、十字ボタンの **△** または **▽** を押すと画像にシェア予約がつき、**📶** が表示されます。

シェア予約を解除するには **△** または **▽** ボタンを押します。あらかじめ転送したい画像を選んで、一括してシェア予約をつけることもできます。**☞** 「複数の画像を一括で処理する(プロテクト・選択コマ消去・選択コマシェア予約)」(P.118)、「スマートフォンに画像を転送する」(P.201)

- シェア予約できるコマは200コマです。
- RAW画像はシェア予約はできません。



- (⊙) ボタンを押しても再生中の画像にシェア予約をつけることができます。あらかじめカスタムメニューの **[▶⊙]** ボタン機能 (P.162) で **[📶]** を割り当ててください。



複数の画像を一括で処理する

(プロテクト・選択コマ消去・選択コマシェア予約)

複数の画像を選択し、一括して[プロテクト]・[選択コマ消去]・[選択コマシェア予約]をすることができます。

☑ (◎) ボタンを押すと画像が選択され、✔が表示されます。もう一度押すと解除されます。

◎ ボタンを押してメニューを表示し、[プロテクト]・[選択コマ消去]・[選択コマシェア予約]から選択します。

1コマ再生でも使用できます。



プリント予約

(DPOF)

プリントしたい画像にあらかじめ枚数や日時の印刷などの条件を指定しておくことができます。プリント予約した画像は、DPOF対応のプリントショップでプリントできます。プリント予約の情報(DPOF)はカードに記録されます。

■ プリント予約する

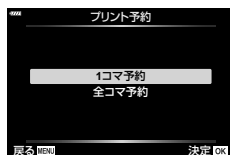
1 画像を再生中に、◎ ボタンを押して[プリント予約]を選択します。

2 [1コマ予約]または[全コマ予約]を選択し、◎ ボタンを押します。

1コマ予約の場合

十字ボタンの<D>を押してプリント予約したいコマを選択し、△▽ボタンを押してプリントする枚数を設定します。

- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったら◎ボタンを押します。



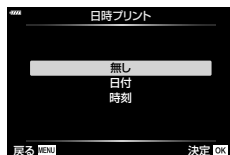
全コマ予約の場合

[全コマ予約]を選択し、◎ボタンを押します。

3 日時の種類を選択し、◎ボタンを押します。

無し	画像のみプリントされます。
日付	画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻	画像と撮影時刻がプリントされます。

- 複数の画像をプリントする場合、1コマごとに設定を変えることはできません。



4 [予約する]を選択し、 ボタンを押します。



- 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。
- 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- RAWデータおよびムービーはプリント予約できません。

■ プリント予約を選択して解除する／すべて解除する


すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

1 画像を再生中に、 ボタンを押して[プリント予約]を選択します。

2 [1コマ予約]を選択し、 ボタンを押します。

- すべてのプリント予約を解除する場合は、[解除する]を選択し、 ボタンを押します。そうでない場合は[解除しない]を選択し、 ボタンを押します。

3 十字ボタンの<D>を押してプリント予約を解除したいコマを選択します。

- ▽ボタンでプリント枚数を0に設定します。すべて解除したら ボタンを押します。

4 日時の種類を選択し、 ボタンを押します。

- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。
- 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。

5 [予約する]を選択し、 ボタンを押します。

記録した画像に音声をつける

(録音)

カメラのステレオマイクや外部機器を使って、カードに記録した画像にあとから音声を加えます。簡単なメモ代わりに使えます。

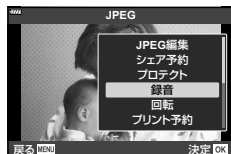
- 最長30秒の録音ができます。

1 再生画面で音声を録音する画像を表示し、**OK**ボタンを押します。

- プロテクトされた画像には録音できません。
- 音声録音は再生メニューの【編集】からも設定できます。【編集】の【画像選択】で音声を録音する画像を選択して**OK**ボタンを押し、【録音】を選択します。

2 【録音】を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 録音を中止する場合は、【中止】を選択してください。



3 【録音スタート】を選択し、**OK**ボタンを押すと、録音を開始します。

4 **OK**ボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には♪と録音レートが表示されます。
- 録音した音声を消去する場合は、手順3で【消去】を選択してください。



- 録音レートはムービーの録音機能の設定が適用されます。📺動画メニューの【ムービー録音】(P.144, 148)で設定を変更できます。

■ 音声を再生する

音声のついた画像は、画像を再生すると同時に音声を再生します。再生をするときの音量の調節をします。

1 **▶**ボタンを押して画像を再生します。

2 十字ボタンの△または▽を押します。

- △ボタン：音量が上がります。
- ▽ボタン：音量が下がります。



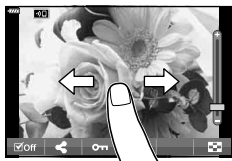
タッチパネルを使って見る

タッチ操作で画像を見ることができます。




■ 1コマ再生で使う

コマ送り／コマ戻し

- タッチした状態で、指を左に動かすとコマ送りし、右に動かすとコマ戻します。







拡大

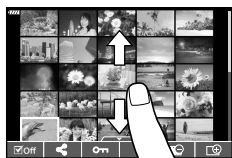
- 画面に軽くタッチすると、スライダーと  が表示されます。
- バーのスライダーを指で上下に動かすと拡大表示します。
- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
-  にタッチするとインデックス再生になります。さらに  にタッチすると、カレンダー再生になります。



■ インデックス再生／カレンダー再生で使う

ページを送る／戻す

- タッチした状態で、指を上を動かすとページを送り、下を動かすとページを戻します。
-  または  で表示するコマ数を切り換えられます。
 **【表示】** (P.164)
-  に何度かタッチすると1コマ再生に戻ります。






画像を見る

- 見たい画像にタッチすると1コマ表示します。

画像を選択する／プロテクトする

1コマ再生画面で、画面に軽くタッチするとタッチメニューが表示されます。タッチメニューのアイコンにタッチするとそれぞれの操作ができます。

	画像を選択します。複数を選択してから一括して削除などができます。
	スマートフォンにシェアしたい画像を予約できます。☎ 「画像の転送予約をする(シェア予約)」(P.117)
	画像のプロテクトをします。

- 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。

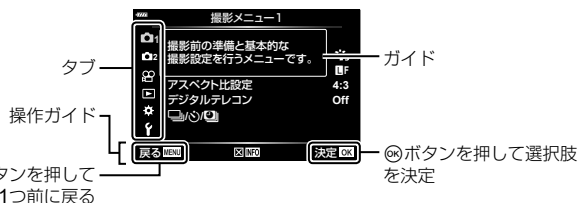
4 メニューの機能

メニューの基本操作

メニューでは、LVスーパーコンパネなどに表示されない撮影／再生時の機能やカメラを使いやすくカスタマイズできる機能を設定します。

タブ	タブ名	説明
	撮影メニュー 1	静止画撮影に関するメニューです。撮影前の準備や基本的な撮影機能の設定を行います。
	撮影メニュー 2	静止画撮影に関するメニューです。一步進んだ撮影機能の設定を行います。
	動画メニュー	ムービー撮影に関するメニューです。基本的な設定やカスタマイズの設定を行います。
	再生メニュー	画像の再生や編集に関するメニューです。
	カスタムメニュー	カメラのカスタマイズに関するメニューです。
	セットアップメニュー	日時や表示言語などの設定に関するメニューです。

1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。



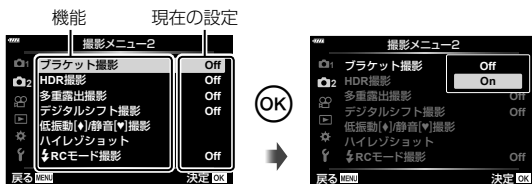
- 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。**INFO**ボタンを押すと、ガイドの表示／非表示を切り換えることができます。

2 十字ボタンの△▽でタブを選択し、**OK**ボタンを押します。

- ★**カスタムメニューを選択したときは、メニューグループのタブが表示されます。△▽ボタンでメニューグループを選択し、**OK**ボタンを押します。



3 △▽ボタンで機能を選択しOKボタンを押して、各設定画面に進みます。

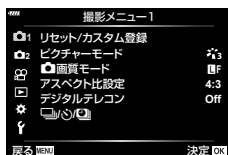


4 △▽ボタンで項目を選択しOKボタンを押して、設定内容を確定します。

- 繰り返し**MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。

- 各機能の初期設定については、「機能と初期設定一覧」(P.227)をご覧ください。
- カメラの状態や他の機能の設定内容によって、設定できない項目があります。設定できない項目は、グレーで表示されていて選択することができません。
- メニューの操作には、十字ボタンのほかにフロント/リアダイヤルが使えます。

撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2を使う



撮影メニュー 1

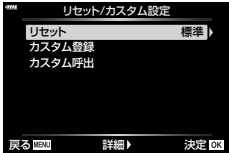
- 1 リセット/カスタム設定 (P.125)
ピクチャーモード (P.96, 127)
画質モード (P.86, 127)
アスペクト比設定 (P.85)
デジタルテレコン (P.128)
📷/📷 (ドライブ/インターバル撮影設定) (P.69, 71, 129)

撮影メニュー 2

- 2 ブラケット撮影 (P.130)
HDR撮影 (P.135)
多重露出撮影 (P.137)
デジタルシフト撮影 (P.139)
低振動[📷]/静音[🔇]撮影 (P.140)
ハイレゾショット (P.141)
⚡RCモード撮影 (P.141, 214)

カメラの設定を初期状態に戻す (リセット)

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。ほぼすべての設定に戻すか、撮影に関する機能のみに戻すかの選択ができます。

- 1 撮影メニュー 1で、[リセット/カスタム設定]を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 2 [リセット]を選択し、十字ボタンの \triangleright を押します。
- 3 [フル]または[標準]を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 日付や言語など一部を除いた項目をリセットする場合は、[フル]を選び**OK** ボタンを押します。📷 「機能と初期設定一覧」 (P.227)
- 4 [リセット/カスタム設定]の画面で**OK** ボタンを押します。
- 5 [実行]を選択し、**OK** ボタンを押します。

登録内容を変更する

現在のカメラの設定を、3つのカスタムモードに登録できます。モードダイヤル**C**または[カスタム呼出]で登録された設定を呼び出すことができます。

- [カスタムモード **C2**]または[カスタムモード **C3**]に登録した設定は、[カスタム呼出]でのみ呼び出すことができます。

1 登録したい状態にカメラを設定します。

- モードダイヤルは、**AUTO** (☺)、**SCN**、**ART**、ムービー (📹)以外に設定してください。

2 撮影メニュー 1で、[リセット/カスタム設定]を選択し、**OK**ボタンを押します。

3 [カスタム登録]を選択し、十字ボタンの▷を押します。

4 登録先([カスタムモード **C**]、[カスタムモード **C2**]、[カスタムモード **C3**])を選択し、**OK**ボタンを押します。

5 [登録]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- すでに登録されている内容があるときは、現在の設定内容が上書きされます。
- [クリア]を選択し、**OK**ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

登録されている設定を呼び出す

撮影モードが**P/A/S/M/B/C**のときに、カスタムモードに登録された機能設定だけを呼び出すことができます。撮影モードはモードダイヤルで設定されているモードのまま変更されません。

1 撮影メニュー 1で、[リセット/カスタム設定]を選択し、**OK**ボタンを押します。

2 [カスタム呼出]を選択し、十字ボタンの▷を押します。

3 [カスタムモード **C**]、[カスタムモード **C2**]、[カスタムモード **C3**]から選択し、▷ボタンを押します。

4 [実行]を選択し、**OK**ボタンを押します。

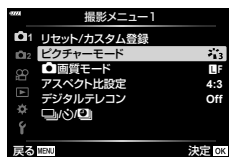
- [カスタムモード **C**]に登録した設定は、モードダイヤルを**C**に合わせて呼び出すこともできます。

画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード）

【ピクチャーモード】（P.96）の設定に、個別にコントラストやシャープネスなどの微調整をしておくことができます。調整したパラメータは仕上げり項目ごとに記憶されます。

1 撮影メニュー 1で、【ピクチャーモード】を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 撮影モードの設定に応じて選択できるピクチャーモードが表示されます。



2 十字ボタンの△▽で項目を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 各項目でさらに▶ボタンを押すと、選択したピクチャーモードに応じて詳細設定ができます。詳細設定ができないピクチャーモードもあります。
- 【標準】以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。



- メニューに表示されるピクチャーモードの選択肢を少なくすることができます。
☞ 【ピクチャーモード表示】（P.164）

静止画撮影で記録する画像サイズを選択する（画質モード）

☞ 「静止画撮影で記録する画像サイズを選択する（画質モード）」（P.86）

- JPEG画像の画像サイズと圧縮比の組み合わせ、**[M]**、**[S]**のピクセルサイズは変更することができます。**☞** 【画質設定】、【ピクセルサイズ】 **☞** 「JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ(画質設定)」（P.194）

被写体を拡大して記録する

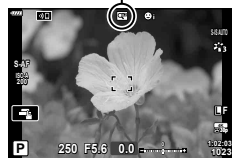
(デジタルテレコン)

画像の中央部を切り出して、設定されている画質モードのサイズまで拡大して記録します。被写体を約2倍に拡大して記録できます。レンズの焦点距離以上の倍率で撮影できるため、レンズ交換ができないときや被写体に近づきにくいときなどに便利です。

- 1 撮影メニュー1で[デジタルテレコン]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 [On]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 3 **MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。

- [On]に設定すると、モニターの表示は2倍に拡大され、**OK**が表示されます。画像は拡大された状態で記録されます。

デジタルテレコン

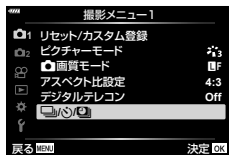


- **SCN**モードのパノラマ、多重露出撮影、デジタルシフト撮影、フィッシュアイ補正撮影では、使用できません。
- **動画モード**では、[動画エフェクト]が表示される情報表示時は使用できません。
- **動画モード**では、[ボタン機能]で、いずれかのボタンに[ムービーテレコン]を割り当てているときは使用できません。
- **JPEG**の画像では、実際に拡大した画像で記録されます。**RAW**画像では、表示した部分を示す枠が表示されます。画像再生時に拡大部分に枠が表示されます。
- 拡大中は、**AFターゲット**のサイズが大きくなり数も少なくなります。

一定時間ごとに自動的に撮影する（インターバル撮影）

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマを1つのムービーとして記録することもできます。**P/A/S/M**モードでのみ設定できます。

- 1 撮影メニュー 1で、**[]/☺/]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。



- 2 **[インターバル撮影設定]**を選択し、十字ボタンの**[▷]**を押します。

- 3 **[On]**を選択し、**[▷]**ボタンを押します。

- 4 以下の設定をして**[OK]**を押します。

コマ数	撮影するコマ数を設定します。
撮影開始待ち時間	インターバル撮影を開始して、最初のコマが撮影されるまでの待ち時間を設定します。
撮影間隔	撮影開始後の各コマの撮影間隔を設定します。
タイムラプス動画	静止画のみの記録か、撮影後に一連のコマでムービーを生成するかを設定できます。 [Off] ：各コマを静止画として記録します。 [On] ：静止画とともに、一連のコマで1つのムービーを生成して記録します。
タイムラプス動画設定	[タイムラプス動画] で記録するムービーの [ムービーサイズ] と [フレームレート] を設定します。

- 5 撮影メニュー 1に戻るまで、繰り返し**[OK]**ボタンを押します。


- **MENU**ボタンを押して、メニューを終了します。
- 撮影画面に戻ると、画面に**[]**が表示されます（アイコンには設定したコマ数が表示されます）。

インターバル撮影



- 6 撮影します。

- AF後、ピントが合わなくても撮影されます。ピント位置を固定したいときはMFで撮影してください。
- **[撮影確認]** (P.157)は0.5秒で動作します。
- 撮影開始待ち時間、撮影間隔の設定を1分31秒以上にすると、1分でモニターを消灯してカメラの電源がオフになります。撮影10秒前に自動的に復帰します。またモニター消灯中は、シャッターボタンを押しても復帰します。

- AF方式(P.78)が[C-AF] [C-AF+TR]では、[S-AF]に設定されます。
- インターバル撮影中は、タッチ操作は受け付けません。
- HDR撮影では使用できません。
- ブラケット撮影、多重露出撮影とは併用できません。
- 撮影間隔より、フラッシュの充電時間が長いときは、フラッシュは発光しません。
- インターバル撮影中は、カメラの電源が自動的にオフになっても次の撮影前に復帰します。
- 撮影した静止画が正しく記録されていない場合は、タイムラプスムービーは生成されません。
- カード残量が不足した場合、タイムラプスムービーは記録されません。
- 撮影開始後に次の操作をするとインターバル撮影は、終了します。
モードダイヤル / MENUボタン / ボタン / レンズ取り外しボタン / USBケーブルを接続
- 電源をオフにすると、インターバル撮影を終了します。
- 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いください。
- [4K]で生成されたタイムラプスムービーは、パソコンの環境によって再生できない場合があります。再生条件については当社ホームページをご確認ください。


条件を少しずつ変化させて撮影する (ブラケット撮影)

露出の設定やホワイトバランスなど、撮影の設定を自動的に変更して複数枚の撮影を行います。ブラケットの種類によっては、いくつかのブラケット撮影を併用することができます。設定に迷うときや1枚ずつ設定を変更して撮影している余裕がないときに有効です。ブラケット撮影の設定を記憶させておき、ブラケット撮影をオンオフするだけで切り換えて使うことができます。

AE BKT (AEブラケット撮影)

1コマごとに露出を変えて撮影するAEブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。単写モードでは、シャッターボタンを全押しすること、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正露出、-補正、+補正の順番で撮影します。撮影枚数:2枚 / 3枚 / 5枚 / 7枚



- Pモードでは、絞り値とシャッター速度、AおよびMモードではシャッター速度、Sモードでは絞り値を制御して補正を行います。ただし、Mモードで[ISOオート有効] (P.167)を[AII]に設定し、[ISO感度] (P.68, 78)を[AUTO]に設定した場合は、ISO感度を制御します。
- 露出補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたAEブラケット撮影が行われます。
- [露出ステップ]を変更すると、補正量も変化します。
 [露出ステップ] (P.167)
- FLブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。

WB BKT（WBブラケット撮影）

1回の撮影で、1つの補正方向に対して色合い（ホワイトバランス）を変えた3枚の画像を自動的に作成します。カメラの設定で撮影された画像、その画像から色合いを変更した画像の順番で記録されます。

- 補正する方向A-B（赤-青）、およびG-M（緑-赤紫）のそれぞれのステップを2ステップ、4ステップ、6ステップから選択します。
- ホワイトバランスの補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたWBブラケット撮影が行われます。
- アートフィルターブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。



FL BKT（FLブラケット撮影）

1コマごとにフラッシュの発光量を変えて撮影するフラッシュブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。単写モードでは、シャッターボタンを全押しすること、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正発光量、-発光量、+発光量の順番で3コマを撮影します。

- 【露出ステップ】を変更すると、補正量も変化します。
 ⓘ 【露出ステップ】（P.167）
- AEブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。



ISO BKT（ISOブラケット撮影）

撮影時のシャッター速度と絞り値を固定したまま、1コマごとにISO感度を変えて撮影するISOブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。1回の撮影で、ISO感度を設定したISO感度（オート設定時は適正ISO）-補正、+補正の順番で3コマを撮影します。

- 【ISO感度ステップ】を変更しても、補正量は変化しません。
 ⓘ 【ISO感度ステップ】（P.167）
- 【ISOオート設定】で設定した上限値とは関係なくブラケット撮影が行われます。ⓘ 【ISOオート設定】（P.167）
- アートフィルターブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。



ART BKT（アートフィルターブラケット撮影）

1回の撮影でアートフィルターを施した複数の画像を残せます。使用するピクチャーモードごとにOn / Offを設定しておきます。

- 撮影後の画像の記録に時間がかかる場合があります。
- AEブラケット撮影、FLブラケット撮影以外のブラケット撮影との併用はできません。



Focus BKT (フォーカスブラケット撮影)

1コマごとにピント位置を変えて撮影するフォーカスブラケット撮影の設定を行います。撮影開始時のピント位置から、遠くに向かってピントを移動させながら撮影します。【撮影枚数】で1回の撮影枚数を、【フォーカスステップ】でピント位置の間隔を設定できます。【フォーカスステップ】の設定値を小さくするとピント位置の間隔が狭くなり、大きくすると広がります。専用フラッシュ以外のフラッシュを使う場合に、【充電待ち時間】でフラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。シャッターボタンを全押ししてすぐに指を離すと、設定した枚数まで撮影し続けます。途中で撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。

- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、フォーカスブラケット撮影はできません。
- フォーカスブラケット撮影中にズーム操作やピント合わせを行うと、撮影は終了します。
- ピント位置が∞に達すると撮影が終了します。
- フォーカスブラケット撮影は、静音シャッターで動作します。
- フラッシュ撮影をしたい場合は、【静音[♥]撮影時動作】で、【フラッシュ】を【許可】に設定してください。
- ☞ 【静音[♥]撮影時動作】(P.140)
- 他のブラケット撮影との併用はできません。



Focus BKT (深度合成)

ピント位置を自動的に変えて8コマ撮影して合成し、手前から奥まで広い範囲にピントが合った1枚のJPEG画像を作成します。

- ピントを合わせた位置を中心に自動的にピント位置を変え、1回の撮影で8コマ撮影します。
- 合成に失敗した場合、合成画像は保存されません。
- 撮影中にズーム操作やピント合わせを行うと、撮影は終了します。
- 合成画像は、画角が狭くなります。
- 画面に、合成後の画像に写る範囲を示す枠が表示されます。枠内に被写体が収まるように調整してください。
- 【表示野線選択】(P.166)で設定した野線は表示されません。
- 【深度合成】撮影で使用可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。
- 他のブラケット撮影との併用はできません。



- 1 撮影メニュー 2で、[ブラケット撮影]を選択し、 ボタンを押します。



- 2 [On]を選択してから十字ボタンの▷を押します。

- ブラケット撮影のメニュー画面が表示されます。



- 3 ボタンで設定するブラケット撮影を選択し、 ボタンを押します。

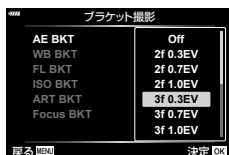
- それぞれのブラケット撮影の詳細設定のメニューが表示されます。



- 4 ボタンで設定または[On]を選択します。

- **AE BKT**を選択したとき

撮影枚数で2枚(2f)を選択し、 ボタンを押すと、基準コマに対して明るい補正か暗い補正かを設定するメニューが表示されます。 ボタンで設定を変更して ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



- **WB BKT**を選択したとき

色調整(A-B、G-M)の設定画面が表示されます。 ボタンで色合いを選択し、 ボタンで補正量を設定します。設定を終えたら ボタンを押して前の画面に戻ります。



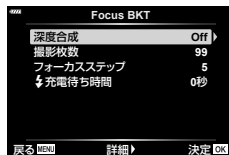
- **ART BKT**を選択したとき

[On]を選択し、 ボタンを押すと、使用するアートフィルターやピクチャーモードの選択画面が表示されます。 ボタンで使用する項目を選択し、 ボタンを押してチェックを入れます。設定を終えたら **MENU** ボタンを押して前の画面に戻ります。



• **Focus BKT**を選択したとき

[On]を選択し、▶ボタンを押すと、Focus BKT設定の画面が表示されます。△▽ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押します。次の画面で△▽ボタンで設定してⓂボタンを押すと、Focus BKT設定に戻ります。設定を終えたらⓂボタンを押してブラケット撮影のメニュー画面に戻ります。[深度合成]を使うときも[Focus BKT]設定画面で設定できます(P.132)。



5 項目または[On]を選択した状態でⓂボタンを押して、それぞれのブラケット撮影の設定を終了します。

6 [ブラケット撮影]が[On]の設定の状態でⓂボタンを押します。

- このとき[Off]を選択し、Ⓜボタンを押したり、MENUボタンを押すと、ブラケット撮影の詳細設定を残したままで通常の撮影を行うことができます。



7 撮影します。

- ブラケット撮影を設定すると、画面に[BKT]が表示されます。
- ブラケット撮影では以下の機能は使用出来ません
HDR撮影／インターバル撮影／デジタルシフト撮影／多重露出撮影／
ハイレゾショット／フィッシュアイ補正撮影
- ブラケット撮影では、カメラのメモリーカードに設定枚数以上の空きがないと撮影できません。
- Bモードでは、AEブラケット撮影、FLブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影はできません。

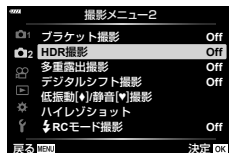
HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影をする（HDR撮影）

露出を変えて撮影した複数枚の画像を、それぞれの画像の階調が失われている部分を補うように合成することで、階調を拡大したかのような画像にします。通常だと一方の階調が失われるような輝度差の大きい被写体でも黒つぶれや白とびを防いだ画像にすることができます。

- P/A/S/Mモードで使用できます。

1 MENUボタンを押して、メニューを表示します。

2 撮影メニュー2で[HDR撮影]を選択し、十字ボタンの▷を押します。




3 △▽ボタンで設定を変更し、OKボタンを押します。

- 撮影メニュー2に戻ります。



HDR1	1回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をしてカメラ内で合成した画像を生成します。[HDR1]にすると自然な風合いの仕上がりに、[HDR2]にすると絵画のようなアート性を強くした仕上がりになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [ISO感度]は、200に固定されます。 • 設定できるシャッター速度は4秒までです。撮影は15秒まで動作します。 • ピクチャーモードは[Natural]に、カラー設定は[sRGB]に固定されます。 • HDR合成された画像はJPEGで記録されます。画質モードが[RAW]のときはRAW+JPEGで記録されます。
HDR2	
3f 2.0EV	<div style="text-align: center;"> <p>3f 2.0EV</p> <p>├──────────┴──────────┤</p> <p>撮影枚数 露出の変化量</p> </div>
5f 2.0EV	
7f 2.0EV	
3f 3.0EV	
5f 3.0EV	
	1回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をします。合成画像の生成は行いません。パソコンなどでHDR合成のできるソフトウェアを使って合成してください。

4 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- 撮影画面に戻ります。画面に**HDR**が表示されます。
- ドライブ機能が  (連写H)に固定されます。



5 撮影します。

- シャッターボタンを押すと、自動的に設定した枚数の撮影を行います。
- **[HDR1]**および**[HDR2]**に設定したときは、撮影後自動的にカメラ内で画像が合成されます。
- **P/A/S**モードでは露出補正ができます。
- **M**モードでは、設定した絞り値とシャッター速度を基準にしてHDR撮影します。
- 三脚などでカメラを固定して撮影してください。
- 撮影中にモニターやファインダーに表示される画像は、HDR処理された画像とは異なります。
- **[HDR1]**および**[HDR2]**で撮影したときはシャッター速度を遅くして撮影すると、合成画像にノイズが目立つ場合があります。
- 以下の機能とは併用できません。
フラッシュ撮影／ブラケット撮影／多重露出撮影／インターバル撮影／
デジタルシフト撮影／フィッシュアイ補正撮影



- **[HDR撮影]**の機能をボタンに登録しておくことができます。ボタンを押す操作だけで機能をオンにすることができます。  **[ボタン機能]** (P.105)

複数の画像を重ね合わせて撮影する (多重露出撮影)

撮影した画像にもう一度撮影した画像を重ねて1つの画像に合成します。カードに保存されている画像を表示して重ねて撮影することもできます。

合成した画像は、撮影した画像の画質モードと同じ設定で保存されます。保存されている画像を表示して合成できるのは、RAWで記録されている画像のみです。

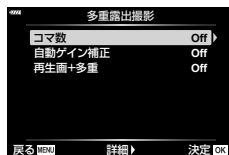
【**画質モード**】をRAWの設定で撮影すると、【**再生画+多重**】を繰り返し使うことで、3コマ以上の撮影画像を合成することもできます。

- P/A/S/MBモードで使用できます。

1  撮影メニュー 2で、【**多重露出撮影**】を選択し、**OK** ボタンを押します。

2 十字ボタンの Δ ∇ で項目を選択し、**▷** ボタンを押します。

- Δ ∇ ボタンで設定を選択し、**OK** ボタンを押します。



コマ数	[Off] : 多重露出撮影をしません。 [2コマ] : 2コマの多重露出撮影をします。
自動ゲイン補正	[On] : 合成する各コマの明るさを1/2にして合成します。 [Off] : 各コマの明るさのまま合成します。
再生画+多重	[On] : カードに保存されているRAW画像と多重露出撮影します。 [Off] : 2コマ続けて撮影した画像を合成します。 • 【再生画+多重】を設定するには【コマ数】を【2コマ】に設定してください。

3 【再生画+多重】を【On】に設定すると、合成する画像一覧が表示されます。


- Δ ∇ \triangleleft \triangleright ボタンで画像を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 選択できる画像はRAW画像のみです。



4 多重露出設定画面で**OK** ボタンを押して、設定を確定します。

- 撮影メニューに戻ります。

5 **MENU** ボタンを押して、メニューを終了します。

- モニターに  が表示されます。
- 【再生画+多重】を設定したときは、選択した画像がモニターに半透過で表示されます。



6 撮影します。

- 1コマ目を撮影または**[再生画+多重]**に設定したときは、撮影画面に合成する画像が半透過で表示されます。
- 1コマ目を撮影すると**[]**が緑で表示されます。
- 通常の多重露出撮影では、2コマ目を撮影すると画像が合成されます。
- **[]**ボタンを押すと再度1コマ目の撮影ができます。
- **[再生画+多重]**のときは、同じ再生画像を使って繰り返し多重露出撮影ができます。

7 多重露出を終了するとき、**MENU**ボタンか**[]**ボタンを押します。

- **MENU**ボタンを押したときは、メニューで**[コマ数]**を**[Off]**に設定します。
- 多重露出撮影を終了するとモニターの**[]**が消えます。
- 多重露出撮影を設定すると、スリープモードには入りません。
- 他のカメラで撮影された画像を使った合成はできません。
- ハイレゾショットのRAW画像は使用できません。
- **[再生画+多重]**を**[On]**に設定し、RAW形式の画像を選択するときに表示される画像は、撮影時の設定で現像されたものです。
- 撮影に関する設定は、多重露出撮影を解除してから行ってください。一部設定できない機能があります。
- 次の場合は1枚目以降の多重露出が自動的に解除されます。
電源をオフにする / **[]**ボタンを押す / **MENU**ボタンを押す / 撮影モードを変更する / 電池残量がなくなる / 各コネクタへのケーブルの挿入
- **[再生画+多重]**でRAW形式の画像を選択するとき、RAW+JPEGで記録した画像はJPEG画像が表示されます。
- **B**モードの**[LIVE COMP]** (ライブコンポジット撮影)では使用できません。
- 多重露出撮影時は、以下の機能は使用できません。
HDR撮影 / ブラケット撮影 / インターバル撮影 / デジタルシフト撮影 / フィッシュアイ補正撮影
- **[]**画質モードをRAWの設定で撮影した画像は、再生モードで合成することもできます。

台形補正をする／遠近感を強調する (デジタルシフト撮影)

建物などを撮影したとき、レンズの焦点距離や距離の影響で台形に歪んで写るのを正しい形に補正したり、正しい形状を歪めて遠近感を強調した画像を撮影できます。画面で効果を見ながら、補正量を設定します。補正した画像は元の画像から切り出されるので、少し拡大されます。

- P/A/S/MBモードで使用できます。

- 1 撮影メニュー 2で[デジタルシフト撮影]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 [On]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 3 **MENU**ボタンを押し、メニューを終了します。

- デジタルシフト撮影の撮影画面が表示されます。画面にスライダーと**OK**が表示されます。



- 4 画面を見ながら補正をして構図を決めます。

- フロントダイヤルで左右方向、リアダイヤルで上下方向の補正をします。
- 画面を見ながら補正をして構図を決めます。
- 十字ボタンの Δ ∇ \triangleleft \triangleright で画像の切り出し範囲を決めます。切り出しできる方向に Δ が表示されます。
- **OK**ボタンを長押しすると、設定がキャンセルされます。

- 5 絞りやシャッター速度などの撮影機能を設定するときは、**INFO**ボタンを押します。

- 通常の撮影画面に戻ります。
- デジタルシフトがオンになっている間は、画面に**OK**が表示されています。デジタルシフトの補正が設定されているときは緑色の表示になります。
- デジタルシフトの設定に戻るときは、繰り返し**INFO**ボタンを押して手順4の画面を表示します。

- 6 撮影します。

- 補正の度合いによっては、画像が粗くなります。また、切り出し時の倍率は大きくなったり、切り出し位置の移動ができなくなります。
- 補正量によっては、切り出し範囲の移動ができない場合があります。
- 補正の度合いによっては、AFターゲットが表示範囲内に収まらない場合があります。ピントの合ったAFターゲットが表示範囲の外にあるときは、画面に**OK**、**OK**、**OK**、**OK**が表示されます。
- 画質モードが[RAW]のときは、RAW+JPEGで記録されます。

- デジタルシフト撮影時は、以下の機能は使用できません。
コンボジット撮影/連写/ブラケット撮影/HDR撮影/多重露出撮影/
フィッシュアイ補正撮影/デジタルテレコン/ムービー撮影/AF方式の[C-AF]
[C-AF+TR]/ピクチャーモードの[e-ポートレート]またはアートフィルター/カス
タムセルフタイマー/ハイレゾショット撮影
- コンバーターレンズをお使いの場合は、意図どおりに補正できない場合があります。
- 【手ぶれ補正】(P.84)で焦点距離を設定しているとき、または【レンズ情報登録】
(P.194)で焦点距離が設定されたレンズを使用するときは、設定値に従って補正されます。
- マイクロフォーサーズ/フォーサーズ以外のレンズを使うときは、【手ぶれ補正】で焦
点距離設定をしてください(P.84)。



- 【デジタルシフト撮影】の機能をボタンに登録しておくことができます。ボタンを押す操
作だけで機能をオンにすることができます。🔍 【ボタン機能】(P.105)


低振動撮影/静音撮影を設定する (低振動[] / 静音[]撮影)




低振動撮影と静音撮影を設定すると、連写/セルフタイマー (P.69)で低振動撮影
または静音撮影の項目を選択して撮影できます。


- 撮影メニュー2で、【低振動[]/静音[]撮影】を選択し、ボタンを押します。
- 十字ボタンの△▽で項目を選択し、▶ボタンを押します。
 - △▽ボタンで設定を選択し、ボタンを押します。


低振動[]撮影	低振動撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。シャッター動作による微小なぶれを低減したいときに設定してください。低振動モードは連写やセルフタイマー撮影(P.69)にも有効です。
静音[]撮影	静音撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。シャッター音が出せない環境下で撮影するときに設定してください。静音モードは連写やセルフタイマー撮影(P.69)にも有効です。
静音[]長秒時 ノイズ低減	【オート】に設定すると、静音撮影での長時間露光時に発生するノイズを低減します。ノイズ低減処理時に、シャッターの動作音がします。
静音[]撮影時動作	静音撮影時に【電子音】 / 【AFイルミネーター】 / 【フラッシュ】の動作の設定を許可するかどうかを設定します。 【許可】に設定すると各機能の設定に従って動作し、【禁止】に設定すると各機能の設定に関わらず静音撮影時に動作を禁止します。

ハイレゾショットを設定する (ハイレゾショット)

ハイレゾショットを設定すると、連写/セルフタイマー (P.69)でを選択して撮影できます。

- 1 撮影メニュー 2で、[ハイレゾショット]を選択し、ボタンを押します。
- 2 十字ボタンの△▽で項目を選択し、▷ボタンを押します。
 - △▽ボタンで設定を選択し、ボタンを押します。

ハイレゾショット	シャッターボタンを全押ししてから実際にシャッターが切れるまでの時間(撮影開始までの時間)を設定します。シャッターボタンを押したときのカメラのぶれの影響を避けるときに設定します。 [Off] に設定するとハイレゾショット撮影はせず通常の撮影になります。
 充電待ち時間	ハイレゾショット撮影でフラッシュを使用するときの、フラッシュの充電を待つための間隔を設定します。専用外部フラッシュを使うときには、設定の必要はありません。

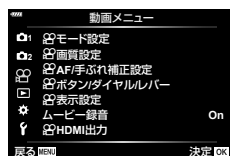
- ハイレゾショットは、電子シャッターで動作します。
- 「フラッシュを使って撮影する(フラッシュ撮影)」(P.91)

ワイヤレスRCフラッシュ撮影 (RCモード撮影)

付属のフラッシュとRCモード機能付き専用フラッシュを使ってワイヤレスフラッシュ撮影ができます。「ワイヤレスRCフラッシュ撮影」(P.214)

動画メニューを使う

動画メニューでは、ムービー撮影の機能を設定します。



メニュー項目	説明	👉
🔍モード設定	<p>【🔍モード】：ムービー撮影時の撮影モードを設定しておくことができます。</p> <p>【🔍フリッカーキャン】：[On]にすると、LED照明による明るさのちらつきを抑えます。フロントダイヤル(🔍) /リアダイヤル(🔍)または十字ボタンの△▽で、フリッカーが軽減されるシャッター速度に設定します。</p>	145
🔍画質設定	<p>ムービーの画質を設定します。</p> <p>【🔍画質モード】：画質モードの画像サイズやビットレートなどの組み合わせを設定します。</p> <p>【🔍高感度ノイズ低減】：高感度ムービー撮影時のノイズ低減レベルを選択します。</p> <p>【🔍ピクチャーモード】：[On]にすると、編集に適したピクチャーモードでムービーを撮影します。</p>	147
🔍AF/手ぶれ補正設定	<p>【🔍AF方式】：ムービー撮影のAF方式を選択します。</p> <p>【🔍手ぶれ補正】：ムービー撮影の手ぶれ補正を設定します。</p>	78, 84


メニュー項目	説明	☞
☞ボタン/ ダイヤル/レバー	<p>ムービーモード時のボタン/ダイヤル/レバーの機能を設定しておくことができます。</p> <p>[☞ボタン機能]：ムービーモード時のボタンに機能を設定します。</p> <p>[☞ダイヤル機能]：ムービーモード時のリアダイヤルとフロントダイヤルの機能を変更できます。フロントダイヤルまたはリアダイヤルに[露出補正]を割り当てると±3EVの露出補正が可能になります(1/2EVステップや1EVステップの設定も可能になります)。</p> <p>[☞Fnレバー機能]：ムービーモード時にFnレバーで切り換える機能を設定します。[mode1]を設定すると、Fnレバーで、[☞ダイヤル機能]で設定されている機能を切り換えます。[mode2]を選択し、十字ボタンの▷を押すと、Fnレバーで切り換える機能を選択できます(AF方式/AFターゲットモード/AFターゲット位置)。[☞Fnレバー機能](P.162)が[mode3]に設定されているときや、[Fnレバー/電源レバー](P.162)が[PW1]または[PW2]に設定されているときは無効です。</p> <p>[☞シャッターボタン機能]：ムービーモード時のシャッターボタンの機能を選択できます。[☞]を設定すると、シャッターボタンで、AF操作を行います。静止画撮影はできません。[◎REC]を設定すると、シャッターボタン全押しで、ムービー撮影の開始と停止を行います。[◎REC]のときは、◎ボタンで録画の操作はできません。</p> <p>[☞電動ズーム速度]：電動ズームを搭載したレンズでズームするときの、ズームの動作速度を変更します。ゆっくりと被写体をアップにするなど、ムービーの一つの効果として使用することができます。[低速]、[標準]、[高速]から選択できます。</p>	—








メニュー項目	説明	🔊
🔊表示設定	<p>🔊Control表示：ムービーモード時のLVコントロール(P.185) / LVスーパーコンパネ(P.77)の表示/非表示を設定できます。表示しないときは項目を選択し、🔊ボタンを押してチェックを外します。</p> <p>🔊Info表示：ムービー撮影画面での情報表示の内容を選択できます。表示しないときは項目を選択し、🔊ボタンを押してチェックを外します。</p> <p>[タイムコード設定]：ムービーモード時に記録するタイムコードを設定します。</p> <p>記録時間との誤差を補正して記録するときは、[タイムコードモード]を[DF](ドロップフレーム)に、誤差を補正しないときは[NDF](ノンドロップフレーム)に設定します。</p> <p>タイムコードを録画のみカウントするときは、[カウントアップ方式]を[レックラン]に、電源OFF時を含む録画停止中もカウントするときは[フリーラン]に設定します。</p> <p>[タイムコード値設定]で、タイムコードの開始時間を設定します。[現在時刻]に設定すると、現在の時刻でフレームが00になります。00:00:00:00に設定するときは[リセット]を選択します。[手動入力]でも設定できます。</p>	—
ムービー録音	<p>[Off]にすると、ムービー撮影中に音声を録音しません。</p>	148
🔊HDMI出力	<p>本機と外部機器をHDMI接続してムービーを撮影するときの出力設定を行います。</p> <p>[出力モード設定]：出力映像モードを設定します。[モニターモード]を設定すると、映像とカメラの情報を出力します。このときカメラ側には情報表示されません。</p> <p>[記録モード]を設定すると、映像のみを出力します。このときカメラ側には情報表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [🔊画質設定]の[🔊画質モード](P.147)で、選択している画像サイズが[4K]または[C4K]のときは設定できません。 <p>[RECトリガー]：[On]にすると、接続した外部機器に、カメラからRECトリガーを通知します。</p> <p>[タイムコード]：[On]にすると、接続した外部機器に、カメラからタイムコードを通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 下記の場合、タイムコードをトリガーとする外部機器の録画が停止する場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> - アートムービーなど処理の重いムービーの撮影 - ファインダーとモニターの表示切り替え時など 	—









静止画撮影の効果を使って撮影する

(モード(ムービー露出モード))

P/A/S/Mモードの効果を活かしたムービー撮影が可能です。

モードダイヤルをにして撮影しているときに有効です。

- 1  動画メニューで、[モード設定]を選択し、 ボタンを押します。
- 2 [モード] (ムービー露出モード)を選択し、十字ボタンのを押します。
- 3  ボタンで設定を選択し、 ボタンを押します。

P	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値を自動的に設定します。 フロントダイヤル()またはリアダイヤル()で露出補正を設定できます。
A	絞り値を設定することで、背景の描写に変化がつけられます。 フロントダイヤル()で露出補正、リアダイヤル()で絞り値を設定できます。
S	シャッター速度を設定することで、被写体の写り方に変化がつけられます。フロントダイヤル()で露出補正、リアダイヤル()でシャッター速度を設定できます。 設定可能なシャッター速度は1/24 ~ 1/32000秒です。
M	絞り値とシャッター速度を設定します。 フロントダイヤル()で絞り値を設定し、リアダイヤル()でシャッター速度を設定します。 設定可能なシャッター速度は1/24 ~ 1/32000秒です。 ISO感度は200 ~ 6400のマニュアル設定だけです。

- 露光中のぶれ(被写体ぶれなど)が発生する撮影状況では、シャッター速度を高速側(速くする)にすることでぶれを軽減できる場合があります。
- シャッター速度の低速側は、ムービー画質のフレームレートの設定によって変わります。
- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。
- カメラの内部が高温になると、保護機能が動き自動的に撮影を中止します。

LED照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (フリッカースキャン)

LED照明の環境下では、撮影した画像にすじが写ることがあります。[フリッカースキャン]では、画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。

この機能は、[MOVモード] (ムービー露出モード)が[S]または[M]のときに使用できます。

- ・設定できるシャッター速度の範囲が狭くなります。

- 1 [MOVモード] (ムービー露出モード)を[S]または[M]に設定します。
- 2 動画メニューで、[フリッカースキャン]を選択し、OKボタンを押します。
- 3 [フリッカースキャン]を選択し、十字ボタンの▷を押します。
- 4 △▽ボタンで[On]を選択し、OKを押します。
- 5 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- ・フリッカースキャン中は、画面にFlicker Scanが表示されます。

- 6 画面を見ながらシャッター速度を設定します。

- ・フロント/リアダイヤル、または△▽ボタンで設定できます。
- ・画面に発生するすじが見えなくなるようにシャッター速度を調整してください。
- ・INFOボタンを押すと画面が切り換わり、Flicker Scanが消えます。このとき、絞りや露出補正の設定ができます。フロント/リアダイヤルまたは、十字ボタンを使って設定してください。
- ・INFOボタンを繰り返し押すと、フリッカースキャンの設定画面に戻ります。

- 7 設定を終えたら撮影します。

- ・フリッカースキャンの画面では、ピーキング表示や、LVスーパーコンパネ、LVコントロールの表示はできません。表示するときはINFOボタンを押して画面の情報表示を切り換えてください。



- ・[フリッカースキャン]の機能をボタンに割り当てることができます。ボタンを押すだけで機能をオンにすることができます。▶▶▶ [ボタン機能] (P.105)



シャッター速度

ムービーの画質を設定する

(画質モード)

ムービーの画像サイズやビットレートなどの組み合わせを設定できます。設定後、ムービーの画質モード(P.87)で選択できます。

- 1 動画メニューで、[画質設定]を選択し、[OK]ボタンを押します。
- 2 [画質モード]を選択し、十字ボタンの▷を押します。
- 3 △▽ボタンで項目を選択し、▷ボタンを押します。
 - △▽ボタンで設定を選択し、[OK]ボタンを押します。

画像サイズ	[C4K] (カスタムのみ) / [4K] / [FHD] (Full HD) / [HD] を設定できます。
ビットレート	[A-I] (All-Intra) / [SF] (Super Fine) / [F] (Fine) / [N] (Normal)を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 画像サイズで[4K]、[C4K]を設定しているときは、ビットレートは選択できません。
フレームレート	[60p] / [50p] / [30p] / [25p] / [24p]を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 以下のときは、[60p] / [50p]は選択できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 画像サイズで[FHD] (Full HD)、ビットレートで[A-I] (All-Intra)を設定しているとき - 画像サイズで[C4K]または[4K]を設定しているとき • 画像サイズが[C4K]に設定されているときは、フレームレートは24pに固定されます。 • テレビでムービーを再生する場合、テレビとムービーのフレームレートが合っていないとなめらかに再生されません。ムービーを撮影する前に、各国/地域のテレビ映像信号に合わせてフレームレートを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> - NTSC地域：60p (30p) - PAL地域：50p (25p)
スロー/クイック効果	スロー/クイック効果を設定できます。 <p>選択できる設定は、設定しているフレームレートによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロー効果、クイック効果が制限される画質モードがあります。

録音の設定をする

(ムービー録音)

録画時の音声の記録についての設定をします。カメラに外部レコーダーやマイクを接続して使うときの設定もできます。

- 1 動画メニューで、[ムービー録音]を選択し、 ボタンを押します。
- 2 [On]を選択し、十字ボタンの▷を押します。
- 3 △▽ボタンで項目を選択し、▷ボタンを押します。
 - △▽ボタンで設定を選択し、 ボタンを押します。

録音レベル調整	マイクの感度を設定します。内蔵のステレオマイク、外部マイクそれぞれの感度を設定できます。 [内蔵]：カメラのステレオマイクの設定をします。 [MIC]：マイク端子に接続した外部マイクの設定をします。
入力リミッター	マイクが拾う音量に制限をかけます。一定量より大きいときは自動的に音量を抑えることができます。
風切り音低減	録音時の風による雑音を低減します。
録音レート	音声の記録フォーマットを設定します。 [96kHz/24bit]：高音質の音声フォーマット [48kHz/16bit]：標準の音声フォーマット
プラグインパワー	コンデンサー型マイクのように通電が必要なマイクを使用するときに設定します。 [Off]：通電しません(一般的なダイナミック型マイク)。 [On]：通電します(コンデンサー型マイク)。
PCMレコーダー 接続	外部ICレコーダーを使って音声を記録するときに設定します。オリンパス製ICレコーダー LS-100と併せて使うと録音の同期や基準音の発音ができます。 [カメラ側録音調整]：カメラでの録音調整を[有効]または[無効]にします。 [スレートトーン]：基準音の発音の設定をします。 [◎REC同期]：カメラの録画の開始停止とレコーダーの録音のタイミングを同期させます。

- ムービー撮影中の録音では、レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。気になるときは、 [AF方式] (P.78)を[S-AF]、[MF]または[PreMF]にして撮影したり、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。
- 以下の場合には録音できません。
 - ハイスピードムービー撮影/スロー/クイック撮影/ピクチャーモードが^{AST} (ジオラマ) のとき
- ムービー録音が[Off]のときは、 が表示されます。
- 音声は設定した[録音レート]に対応した機器以外では再生されません。

オリンパス製ICレコーダーを使ってムービー音声を録音する

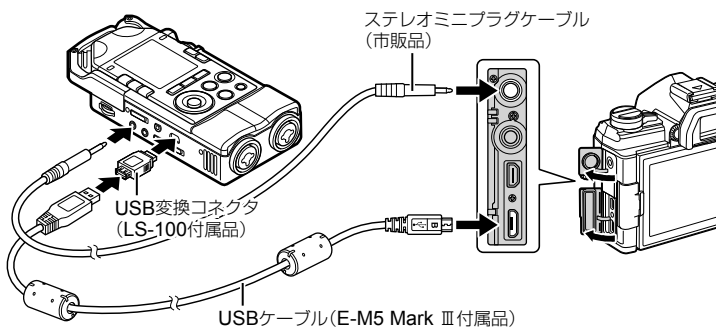
オリンパス製ICレコーダー (LS-100)を使うと、カメラの操作でスレートトーン発音や録音開始/終了ができます。

USBケーブルとステレオミニプラグケーブル(市販品)でカメラとLS-100を接続します。接続には、抵抗無しタイプのケーブルをご使用ください。

- ICレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。また、ICレコーダーのファームウェアは必ず最新にしてお使いください。

1 ICレコーダーをカメラと接続します。

- ICレコーダーをマイクロUSBコネクタに接続してカメラの電源を入れると、接続方法を選ぶ設定画面が表示されます。**[PCMレコーダー]**に設定してください。
- 接続方法を選ぶ設定画面が表示されないときは、メニューで設定する必要があります。**MENU**ボタン → ***** (カスタムメニュー)タブ → **D4**タブ → **[USB接続モード]** → **[オート]**または**[PCMレコーダー]**に設定



2 [PCMレコーダー 接続]の設定をします。

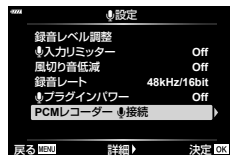
- MENU**ボタン → **動画メニュー** → **[ムービー録音]** → **[On]** → **[PCMレコーダー 接続]** → 十字ボタンの▷

[カメラ側録音調整] : **[無効]**に設定


[スレートトーン] : **[On]**に設定

[◎REC同期] : **[On]**に設定

設定を終えたら**[ムービー録音]**が**[On]**になっていることを確認し、繰り返し**MENU**ボタンを押してメニューを終了します。




3 ムービー撮影を開始します。

- ICレコーダーが同時に録音を開始します。
- カメラの  ボタンを長押しすると、スレートトーンの発音ができます。

4 ムービー撮影を終了します。

- ICレコーダーの録音も同時に終了します。



- スレートトーン発音では、ボタンの長押し操作の操作時間の調整ができます。  **【ボタン長押し時間調整】** (P.172)
- カメラの電源をオフにしたり、ICレコーダーを使用しないときは、USBケーブルを外してください。

再生メニューを使う

再生メニュー

回転再生(P.151)

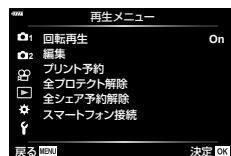
編集(P.151)

プリント予約(P.118)

全プロテクト解除(P.156)

全シェア予約解除(P.156)

スマートフォン接続(P.199)



縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する (回転再生)

設定が[On]のとき、縦位置で撮影した画像が自動的に回転して再生されます。

撮影した画像を加工する (編集)

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。RAW画像は、ホワイトバランスや、アートフィルターを含むピクチャーモードなどの撮影時に使うような処理を加えることができます。JPEG画像は、トリミングやリサイズなどの簡単な加工ができます。

- 1 再生メニューで[編集]を選び \odot ボタンを押します。
- 2 十字ボタンの Δ / ∇ で[画像選択]を選び \odot ボタンを押します。
- 3 \triangleleft / \triangleright ボタンで編集する画像を選択し、 \odot ボタンを押します。
 - RAW画像の場合は[RAW編集]、JPEG画像の場合は[JPEG編集]が表示されます。RAW+JPEGで記録した画像は、メニューに両方が表示されますので、編集したい方のメニューを選びます。
- 4 [RAW編集]または[JPEG編集]を選択し、 \odot ボタンを押します。

RAW編集	設定に合わせて編集したJPEG画像を作ります。	
	現設定	現在のカメラの設定を反映した処理をします。あらかじめカメラの設定をしておきます。露出補正など、一部の設定は反映されません。
	詳細設定1	\odot ボタンを押して、画面上で処理の結果を確認しながら、設定を選択します。設定した内容を[詳細設定1][詳細設定2]として残しておけます。
	詳細設定2	
ART BKT	アートフィルターの処理をしたJPEG画像を作ります。複数のアートフィルターを選択して同時に複数の画像を作れます。	

JPEG編集

[JPEG編集]では以下の内容が編集できます。

階調オート	逆光時に暗く写った被写体を明るくします。
赤目補正	フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。
トリミング	画像をトリミングします。フロント/リアダイヤルでトリミングサイズ、十字ボタンでトリミング位置を指定します。
アスペクト	アスペクト比が4:3 (基準)の画像を、[3:2]、[16:9]、[1:1]、または[3:4]に変更します。アスペクト比選択後、十字ボタンでトリミング位置を指定します。
モノクロ作成	白黒に変換します。
セピア作成	セピア色に変換します。
鮮やかさ調整	画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。
リサイズ	画像サイズを1280×960、640×480、または320×240に変換します。アスペクト比が4:3 (基準)以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。
eポートレート	なめらかな肌に補正します。顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。

- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- 次の場合はJPEG編集できません。
パソコンで編集した画像/カードの空き容量が不足している場合/他のカメラで撮影した画像

5 設定を終えたら \odot ボタンを押します。

- 画像に処理が施されます。

6 再度 \odot ボタンを押します。

- Δ / ∇ ボタンで[実行]を選択し、 \odot ボタンを押すと、現像が施された画像が記録されます。



- 同じ元画像で再度RAW編集するときは、[再設定]を選択し、 \odot ボタンを押します。現像を終了するときは、[中止]を選択し、 \odot ボタンを押します。
- [再設定]を選択したときは、画面に設定方法のメニューが表示されます。手順4から繰り返します。
- 編集したい画像を再生して編集をすることもできます。
 \square ボタン \rightarrow 編集したい画像を選択 \rightarrow \odot ボタンを押してメニューを表示 \rightarrow [RAW編集]または[JPEG編集]
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- [リサイズ]では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- [トリミング] / [アスペクト]は、アスペクト比が4:3 (基準)の画像のみ編集できます。

- ピクチャーモードを[ART]に設定すると[カラー設定] (P.103)は、[sRGB]に固定されます。

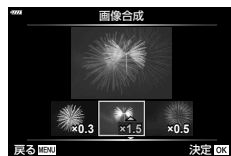
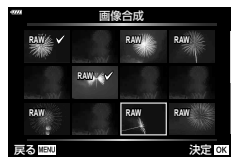
画像を合成する (画像合成)

記録されているRAW画像を重ねて合成して別の画像として保存します。2コマまたは3コマの合成ができます。

合成するそれぞれの画像の明るさ(ゲイン)を調整して、見え方を変えることができます。

- 合成後の画像は、カメラで設定されている画質モードで記録されます。設定が[RAW]のときは、[]とRAWで保存されます(P.169)。
- 合成画像をRAW形式で保存すると、さらに他のRAW画像と合成することができ、4コマ以上の画像合成が可能になります。

- 1 再生メニューで[編集]を選び \odot ボタンを押します。
- 2 十字ボタンの Δ ∇ で[画像合成]を選び \odot ボタンを押します。
- 3 合成するコマ数を選択し、 \odot ボタンを押します。
- 4 Δ ∇ \triangleleft \triangleright ボタンで合成するRAW画像を選択し、 \odot ボタンを押します。
 - 選択したコマに \checkmark が表示されます。 \checkmark を外すときは再度 \odot ボタンを押します。
 - 手順3で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。
- 5 合成する各画像のゲインを選択します。
 - \triangleleft \triangleright ボタンで画像を選択し、 Δ ∇ ボタンで数値を変更します。
 - ゲインは0.1～2.0まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。
- 6 \odot ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
 - [実行]を選択し、 \odot ボタンを押します。










ムービーから静止画を作る

(静止画切り出し)

ムービー内のフレームを選択し、静止画として保存します。



- 本機で撮影された画像サイズが[4K]のムービーでのみ可能です。


- 1 再生メニューで[編集]を選択し、ボタンを押します。
- 2 十字ボタンの△▽で[画像選択]を選びボタンを押します。
- 3 <▷ボタンでムービーを選択し、ボタンを押します。
- 4 [ムービー編集]を選びボタンを押します。
- 5 △▽ボタンで[静止画切り出し]を選びボタンを押します。
- 6 <▷ボタンで静止画として保存するコマを表示してボタンを押します。
 - 表示したコマが静止画として保存されます。
 - △ボタンでコマ戻し、▽ボタンでコマ送りできます。


ムービーをトリミングする (トリミング)


ムービーの削除したい範囲を指定して削除します。特定の部分を残したいときは、この操作を繰り返します。


- 本機で撮影されたムービーでのみ可能です。

1 再生メニューで**[編集]**を選択し、ボタンを押します。

2 十字ボタンの Δ / ∇ で**[画像選択]**を選びボタンを押します。

3 \langle / \rangle ボタンでムービーを選択し、ボタンを押します。

4 **[ムービー編集]**を選びボタンを押します。

5 Δ / ∇ ボタンで**[トリミング]**を選びボタンを押します。

- トリミング後のデータ保存についての選択肢が表示されます。

[新規作成]：トリミングしたデータを新しいムービーコマとして保存します。

[上書き保存]：元のムービーコマに上書きして保存します。



[中止]：トリミングを中止します。


- 画像がプロテクトされている場合は、**[上書き保存]**は選択できません。



6 項目を選択し、ボタンを押します。

- 編集状態に移ります。

7 トリミング編集をします。




- Δ ボタンでムービーコマの先頭に、 ∇ ボタンで、ムービーコマの最後に移動できます。
- フロント/リアダイヤルで削除する部分の最初のコマを選択し、ボタンを押します。
- フロント/リアダイヤルで削除する部分の最後のコマを選択し、ボタンを押します。

8 **[実行]**を選択し、ボタンを押します。

- 編集が反映されてデータが保存されます。
- 選択しなおすときは**[中止]**を選択し、ボタンを押します。
- **[上書き保存]**を選択しているときは、同じムービーにさらにトリミングするかの確認が表示されます。引き続き編集するときは、**[続行]**を選択し、ボタンを押します。




全てのプロテクトを解除する (全プロテクト解除)

プロテクトされている画像を一度に解除できます。

- 1 再生メニューで[全プロテクト解除]を選択し、ボタンを押します。
- 2 [実行]を選択し、ボタンを押します。

全ての転送予約を解除する (全シェア予約解除)

画像に設定されているシェア予約を解除します。

- 1 再生メニューで[全シェア予約解除]を選択し、ボタンを押します。
- 2 [実行]を選択し、ボタンを押します。

セットアップメニューを使う

カメラの基本的な設定をします。表示する言語やモニター
の明るさの調整などがあります。カメラを使い始めるとき
に設定する項目を集めています。



メニュー項目	説明	🔍
カードセットアップ	カードの初期化や、カードに保存されている画像を一括で削除します。	158
日時設定	日時を設定します。	25
🗣️ (言語切り換え)	機能設定時に表示されるガイドやメニューの言語を選択します。	27
モニター調整	<p>モニターの明るさと色温度を調整します。色温度の調整は再生時のモニター表示に適用されます。十字ボタンの<D>で☷ (色温度)と☼ (明るさ)を切り換え、△▽ボタンで設定値を選びます。</p> <p>INFOボタンを押すたびにモニター表示の彩度が[Natural]と[Vivid]で切り換わります。</p>	—
撮影確認	<p>撮影後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。</p> <p>[0.3秒] ~ [20秒]：画像を表示する時間を指定します。 [Off]：記録中の画像は表示されません。 [Auto]：記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。</p>	—
Wi-Fi/Bluetooth設定	本機の無線機能を使って、Wi-Fi/Bluetooth接続が可能なスマートフォンと接続するための設定をします。	158
バージョン	カメラや接続しているアクセサリーのファームウェアバージョンを表示します。お問い合わせいただくときやソフトウェアをダウンロードする場合に確認してください。	—

カードを初期化する

(カードセットアップ)

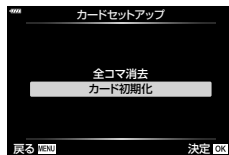
新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。

すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。☞「カードについて」(P.209)

1 [セットアップメニューで、[カードセットアップ]を選択し、[OK]ボタンを押します。

- カードにデータが含まれている場合は、メニュー項目が表示されます。[カード初期化]を選択し、[OK]ボタンを押します。



2 [実行]を選択し、[OK]ボタンを押します。

- 初期化が実行されます。

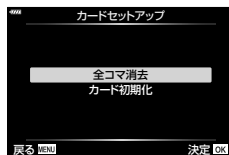
全コマを消去する

(カードセットアップ)

撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。

1 [セットアップメニューで、[カードセットアップ]を選択し、[OK]ボタンを押します。

2 [全コマ消去]を選択し、[OK]ボタンを押します。



3 [実行]を選択し、[OK]ボタンを押します。

- 全コマ消去が実行されます。

Wi-Fi接続のための設定をする

(Wi-Fi/Bluetooth設定)

Wi-Fi接続するための設定をします。スマートフォンで画像を確認しながら撮影したり、移動中などにカメラの電源をオフにしたままスマートフォンで画像を確認することができます。設定や使い方など詳しい説明は「5. スマートフォンと接続する」(P.198)をお読みください。

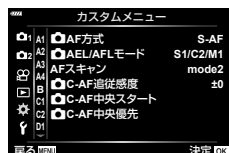
Wi-Fi/Bluetooth	Wi-Fi/Bluetooth®機能をオフにします。使用を許可されていない場所などで、設定はそのままで無線LAN、Bluetooth®の機能を停止します(P.205)。
接続パスワード設定	Wi-FiやBluetooth®の接続に使うパスワードを変更します。
バックグラウンド通信	カメラの電源がオフのときに、スマートフォンと無線接続するかどうかを設定します。
Wi-Fi/Bluetooth設定リセット	[Wi-Fi/Bluetooth設定]の設定内容を初期化します。

カスタムメニューを使う

★カスタムメニューを使って、機能の拡張やカメラのカスタマイズができます。

カスタムメニュー

A1/A2/A3/A4	AF/MF (P.159)
B	ボタン/ダイヤル/レバー (P.162)
C1/C2	レリーズ/連写/手ぶれ補正 (P.163)
D1/D2/D3/D4	表示/音/接続 (P.164)
E1/E2/E3	露出/ISO/BULB/測光 (P.167)
F	フラッシュ (P.168)
G	画質/WB/色 (P.169)
H1/H2	記録/消去 (P.170)
I	EVF (P.171)
J1/J2	その他 (P.172)





A1 AF/MF











MENU → ★ → A1

メニュー項目	説明	👉
📷 AF方式	静止画撮影時のAFの方式を選択できます。	78
📷 AEL/AFL モード	AFやAEロックの機能を設定します。	173
AFスキャン	AF動作時に、被写体にピントが合っていないときやコントラストがはっきりしていないときの、AFのスキャン動作*を設定します。 * 被写体にピントが大きく合っていないときやコントラストがはっきりしていないときに、至近～∞までの全域にわたってピント位置を探す動作 [mode1] : AFスキャンを行いません。 [mode2] : AFスキャンを開始時に1回だけ行います [mode3] : AFスキャンを行います。	—
📷 C-AF追従感度	C-AFの追従感度を設定します。	174
📷 C-AF中央 スタート	シングルターゲット以外の設定で[C-AF]または[C-AF+TR]でオートフォーカスするとき、最初のオートフォーカスのみ選択エリアの中央で行います。その後は、選択エリア内でオートフォーカスをします。広いエリアのAFターゲット設定と組み合わせることで、動きの激しい被写体をとらえやすくなります。	175
📷 C-AF中央優先	グループターゲットの設定で[C-AF]でオートフォーカスするとき、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返します。中央でオートフォーカスできないときは、選択エリアの周辺のAFターゲットを使います。速度は速くても、比較的動きの読める被写体をとらえやすくなります。一般的な撮影では中央優先でお使いください。	176

メニュー項目	説明	🔍
[:::]Mode表示設定	AFターゲットモードで表示するサイズや形状を設定します。表示しないときは項目を選択し、Ⓜボタンを押してチェックを外します。	63
AFターゲット表示	<p>[On1]：緑色のターゲット枠を表示します。 [On2]：半押ししている間、緑色のターゲット枠を表示します。 [Off]にすると、合焦時にターゲット枠を表示しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [AF]（オールターゲット）で、[AF方式]（P.78）が[S-AF]、[S-AF MF]、[C-AF]のいずれかで、[AFターゲット表示]が[On2]のとき、AFターゲットはクラスター表示になります。ピントの合っている箇所のAFターゲットが表示されます。 	—
AFターゲットパッド	<p>[On]にすると、ファインダーをのぞきながらモニターをタッチして、AFターゲットの位置を変更できます。モニターをタッチしたまま指を動かすと、AFターゲットの位置が移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [On]にすると、モニターのダブルタッチで、ドラッグ操作の有効/無効の切り換えができます。 • [AFターゲットパッド]は、拡大枠画面(P.66)でも使用できます。 	—
[:::]Home登録	ホームポジションとして使う「AFターゲットモード」、「AFターゲット位置」、「AF方式」を登録します。[:::]Home登録画面でⓂボタンを押してチェックを入れます。ホームポジションが登録中の場合、AFターゲット選択の画面で[HP]が表示されます。	177
[:::]カスタム設定	<p>AFターゲット選択画面の、ダイヤルと十字ボタンの機能を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [セット2]に登録した内容を使うときは、[:::]カスタム設定画面で[セット2]を選択し、Ⓜボタンを押します。 • AFターゲット選択画面でINFOボタンを押すと、[セット2]に切り換わります。 	—

メニュー項目	説明	
AFリミッター	<p>[On]にすると、AF動作範囲を制限します。</p> <p>[距離設定]：AFリミッター範囲を登録できます。距離範囲は3つまで登録できます。</p> <p>数値と単位(m、ft)を設定します。距離は正確なものではなく目安です。</p> <p>[リリース優先]：[On]に設定すると、AFリミッター動作中、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 下記の場合、AFリミッターは無効です。 <ul style="list-style-type: none"> - レンズ側のフォーカスリミッターが有効 - フォーカスブラケット使用中 - ムービーモードおよびムービー記録中 	—
AFイルミネーター	[Off]にするとAF補助光を発光しません。	—
◎顔優先	顔優先AFや瞳優先AFの方式を選択できます。	65
AF微調節	位相差AF時のピント位置を±20ステップの範囲で微調節できます。	—

メニュー項目	説明	
プリセットMF距離	プリセットMFのフォーカス位置を設定します。	—
	数値と単位(m、ft)を設定します。距離は正確なものではなく目安です。	
MFアシスト	マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したとき、自動的に拡大表示したり、ピーキング表示することができます。	178
MFクラッチ	[無効]にすると、レンズのマニュアルフォーカスクラッチまたはスナップショットフォーカスを使ったMF（マニュアルフォーカス）操作ができなくなります。MF操作をするときは、レンズのフォーカスリングを前方の位置にして行ってください。	211
フォーカスリング	フォーカスリングの回転方向とピントの移動方向を切り換えることができます。	—
BULB/TIME中MF	マニュアルフォーカス(MF)で露出中もピントの位置を変えられます。[Off]にすると、フォーカスリングの回転を無効にします。	178
レンズリセット	[Off]にすると、電源をオフにしてもフォーカス位置をリセットしません。[On]のとき、電動ズームレンズはズームの位置もリセットします。	—

メニュー項目	説明	
 ボタン機能	各ボタンに機能の登録ができます。	105
  ボタン機能	再生時の  ボタンの機能を変更できます。 [◀]：スマートフォンに転送したい画像に転送予約(シェア予約)をつけます。 [☑]：複数の画像を選択できます。	—
 ダイヤル機能	リアダイヤルとフロントダイヤルの機能を変更できます。	—
ダイヤル方向	シャッター速度や絞り値増減のダイヤル方向を切り換えます。プログラムシフトのダイヤル方向を切り換えます。	—
 Fnレバー機能	Fn レバーの機能を切り換えます。	179
Fnレバー / 電源レバー	Fn レバーをカメラの電源スイッチとして使用できます。 [Fn]： Fn レバー機能の設定に従います。 [PW1]： Fn レバーの位置が1のときに電源オン、2のときに電源オフになります。 [PW2]： Fn レバーの位置が2のときに電源オン、1のときに電源オフになります。 [PW1]または[PW2]が設定されているときは、 ON/OFF レバー(電源レバー)、  Fn レバー機能、  Fn レバー機能は無効です。	—
 電動ズーム速度	電動ズームを搭載したレンズで、ズームリングを操作したときの、ズームの動作速度を変更します。ズーム動作が速くて狙った構図にしにくいなどのときに調節します。[低速]、[標準]、[高速]から選択できます。	—

① レリーズ/連写/手ぶれ補正

MENU → * → ①


メニュー項目	説明	🔍
レリーズ優先S	[On]に設定すると、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができるようになります。S-AF、C-AFそれぞれのAF方式で個別に設定できます(P.78)。	—
レリーズ優先C		
📷L設定	連写速度や撮影枚数制限を[📷] / [📷]、[📷]のそれぞれに設定できます。また、プロキャプチャーの連写速度(Pro CSHのみ)、プリ連写枚数、撮影枚数制限を設定できます。連写速度の数値は最大値の目安です。	180
📷H設定		
フリッカー低減	[フリッカーレスLV]：ライブビュー表示の蛍光灯などによるフリッカーの影響を低減します。[オート]で低減されないときは、地域の商用電源周波数に合わせて[50Hz]または[60Hz]に設定します。 [フリッカーレス撮影]：フリッカーによるちらつきの周期を自動的に判断して、シャッターを切るタイミングを制御します。	182

② レリーズ/連写/手ぶれ補正

MENU → * → ②

メニュー項目	説明	🔍
📷手ぶれ補正	静止画撮影時の手ぶれ補正を設定します。	84
連写中手ぶれ補正	連写中の優先機能を設定します。 [連写速度優先]：連写速度を優先します。連写中はセンサーを中央にリセットせずに撮影します。 [IS優先]：手ぶれ補正を優先します。連写のコマごとにセンサーを中央にリセットし撮影します。連写速度が若干低下します。	—
半押し中手ぶれ補正	[Off]にすると、シャッターボタンの半押し中の手ぶれ補正機能が働きません。	—
レンズ手ぶれ補正優先	[On]にすると、他社製の手ぶれ補正機能付きレンズを使うときにレンズ側の機能を優先して働かせます。[📷手ぶれ補正]の[S-IS AUTO]は[S-IS]で動作します(P.84)。 ・レンズに手ぶれ補正切り換えスイッチがある場合、本機能は無効です。	—

メニュー項目	説明																																			
Control表示	操作画面の表示／非表示を、撮影モードごとに設定できます。	184																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">操作画面</th> <th colspan="4">撮影モード</th> </tr> <tr> <th> AUTO</th> <th>P/A/ S/M/B</th> <th>ART</th> <th>SCN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LVコントロール(P.185)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>LVスーパーコンパネ(P.77)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ライブガイド(P.47)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ARTメニュー (P.53)</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>SCNメニュー (P.49)</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		操作画面	撮影モード				AUTO	P/A/ S/M/B	ART	SCN	LVコントロール(P.185)	○	○	○	○	LVスーパーコンパネ(P.77)	○	○	○	○	ライブガイド(P.47)	○	×	×	×	ARTメニュー (P.53)	×	×	○	×	SCNメニュー (P.49)	×	×	×	○
	操作画面			撮影モード																																
			AUTO	P/A/ S/M/B	ART	SCN																														
	LVコントロール(P.185)		○	○	○	○																														
	LVスーパーコンパネ(P.77)		○	○	○	○																														
	ライブガイド(P.47)		○	×	×	×																														
ARTメニュー (P.53)	×	×	○	×																																
SCNメニュー (P.49)	×	×	×	○																																
操作画面は、 INFO ボタンを押すと切り換えることができます。																																				
/Info表示設定	INFO ボタンを押したときに表示する情報画面の表示／非表示を設定します。 [▶Info] ：再生情報画面の設定 [▶QInfo] ：拡大再生情報画面の設定 [LV-Info] ：撮影情報画面の設定 [☒表示] ：インデックス表示／カレンダー表示の設定	186, 187																																		
ピクチャーモード表示	ピクチャーモード種類選択画面(P.96)に表示する機能を選択します。表示しないときは項目を選択し、ボタンを押してチェックを外します。	—																																		
/心表示設定	連写／セルフタイマー機能選択画面(P.69)に表示する機能を選択します。表示しないときは項目を選択し、ボタンを押してチェックを外します。	—																																		
マルチFn表示設定	マルチファンクション(P.111)の機能を選択します。使用しないときは項目を選択し、ボタンを押してチェックを外します。	—																																		

メニュー項目	説明	
LVブースト	<p>低照度下の撮影でも被写体を確認しながら撮影できます。 Bモードのときは、BULB/TIME撮影やライブコンポジット撮影のそれぞれに設定できます。</p> <p>[Off]：露出設定を反映してライブビュー表示します。撮影結果をあらかじめ確認しながら撮影できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> バルブ/タイム撮影では設定できません。 <p>[On1]：露出設定を反映せずに見やすい明るさで表示します。実際に撮影される画像とは明るさが異なります。</p> <p>[On2]：[On1]よりさらに明るく表示します。星景撮影で星を確認しながら撮影するときなどに適しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に撮影される画像とは明るさが異なります。また、被写体の動きが少し荒くなります。 	—
アートLVモード	<p>[mode1]：常にフィルター効果を反映して表示します。</p> <p>[mode2]：シャッターボタンを半押し中、モニターのスムーズな表示を優先して表示します。アート効果の表示は低減されることがあります。</p>	—
LV拡大設定	<p>[LV拡大モード]：[mode1]に設定しているときは、拡大ライブビュー中に半押しすると、拡大枠表示に戻ります。</p> <p>[mode2]に設定しているときは、拡大ライブビュー中に半押しすると、拡大AFを行います。</p> <p>[LVブースト]：[On]に設定すると、拡大ライブビュー中は見やすい明るさでライブビュー表示を行います。[Off]に設定すると、拡大前のライブビューの明るさを保持して拡大領域を表示します。逆光での撮影時に、ピントを確認するのに適しています。</p>	—
再生拡大倍率設定	<p>画像を再生して拡大表示(クローズアップ再生)したとき、最初に表示される倍率の設定ができます。</p>	187
プレビュー設定	<p>[ロック]：[On]に設定すると、ボタンを放しても設定された絞り込み状態を保持します。</p> <p>[LVブースト]：[On]にすると、絞りプレビュー中は見やすい明るさでライブビュー表示を行います。</p>	—

D3 表示/音/接続

MENU → * → D3

メニュー項目	説明	🔍
ガイド線表示設定	撮影時に表示するガイド線表示を設定します。 [表示色]: ガイド線の色と不透明度を設定します。[プリセット1]、[プリセット2]に登録できます。 [表示罫線選択]: [方眼]、[黄金分割]、[目盛]、[対角線]、[動画罫線]、[三分割]から選択し、撮影画面に罫線を表示できます。 [EVF反映]: [On]にすると、[EVF表示スタイル]の[スタイル1]および[スタイル2]のガイド線をモニターと同じにします。[EVFガイド線表示設定]は無効になります。	—
ピーキング表示	輪郭強調の色や強度を変更できます。 輪郭強調の色(赤・黄・白・黒)と強度(標準・弱・強)、[ピーキング背景の輝度調整] (On・Off)を変更できます。 ・ [ピーキング背景の輝度調整]を[On]に設定すると、強調色が目立つようにライブビューの明るさを変更します。	178
ヒストグラム警告設定	[ハイライト表示]: ハイライト表示の下限値を設定します。 [シャドウ表示]: シャドウ表示の上限値を設定します。	186
モードガイド表示	[On]にすると、モードダイヤルを切り換えたときにモードについてのガイドを表示します。	32
自分撮りアシスト	[On]にするとモニターを自分撮り位置にセットしたときに、自分撮りに適した画面になります。	188

D4 表示/音/接続

MENU → * → D4

メニュー項目	説明	🔍
電子音	[Off]に設定すると、シャッターボタンを押してピントが合ったときのピピッと音を鳴らさないようにできます。	—
HDMI	[出力サイズ]: HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。 [HDMIコントロール]: [On]にするとHDMIコントロール対応テレビのリモコン操作を許可します。撮影した画像をテレビで再生するときに使えます。 [出力フレームレート]: HDMIケーブルでテレビに接続する場合に、[50p優先] (PAL)で接続するか、[60p優先] (NTSC)で接続するかを選択します。	189
USB接続モード	カメラをパソコンに接続するときの方式を選択します。[オート]では機器に接続するたびにメニューが表示されます。	206

メニュー項目	説明	国
露出基準調整	適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます。 <ul style="list-style-type: none"> 調整した方向の露出補正範囲が狭くなります。 調整量は撮影画面では確認できません。通常の露出補正を目的とする場合は、露出補正(P.62)を行ってください。 	—
露出ステップ	シャッター速度、絞り値、露出補正值などの露出パラメータ設定の変更ステップを切り換えます。	—
ISO感度ステップ	ISO感度の設定ステップを設定します。	—
ISOオート設定	[上限/基準値設定] ：ISO感度を [AUTO] に設定したときの上限值と基準値を設定します。 [上限値] で、ISO感度の上限を設定します。 [基準値] で、通常使用するISO感度を設定します。設定の上限は 6400 です。 [低速限界設定] ：P/Aモードで、自動でISO感度を上げるシャッター速度を設定します。 [オート] にするとカメラが自動的に設定します。	—
ISOオート有効	ISO感度の [AUTO] の動作を設定します。 [P/A/S] ：Mモード以外の撮影モードで有効になります。 [All] ：すべての撮影モードで有効になります。	—
高感度ノイズ低減	高感度撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。	—
長秒時ノイズ低減	長時間露光時に発生するノイズを低減します。 [オート] ：長秒時、カメラ内部温度上昇時に、ノイズ低減処理を行います。 [On] ：常にノイズ低減処理を行います。 [Off] ：ノイズ低減処理を行いません。 <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。 連写設定時は自動的に[Off]になります。 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。 	—

E2 露出/ISO/BULB/測光

MENU → * → E2

メニュー項目	説明	🔍
BULB/TIME リミッター	バルブ撮影、タイム撮影の最長時間を設定します。	—
BULB/TIME輝度 設定	[BULB]、[TIME]、[COMP]設定時のモニターの明るさを設定します。	—
ライブBULB設定	撮影中の画面表示の間隔を設定します。更新回数には制限があります。また、ISO感度が高いほど表示回数が少なくなります。	190
ライブTIME設定	[Off]にすると表示しません。モニターにタッチするかシャッターボタンを半押しすると表示を更新できます。	190
コンポジット撮影 設定	コンポジット撮影時に基準となる露出時間を設定します。	191
📷フリッカー スキャン	LED照明による明るさのちらつきを抑えます。	192

E3 露出/ISO/BULB/測光

MENU → * → E3

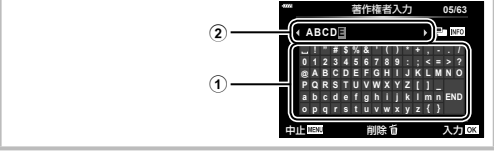
メニュー項目	説明	🔍
測光	撮影シーンに応じて測光方式を変更できます。	80
AEL測光モード	AEL/AFL ボタンを使って、AEロックをするときの測光方式を設定します。シャッターボタンの半押し時のAFロックと、 AEL/AFL ボタンによるAEロックを使い分けることができます。 [オート]：[測光] (P.80)の設定で測光します。	—
[::]連動スポット 測光	[スポット]、[スポットハイライト]、[スポットシャドウ]のそれぞれのスポット測光位置をAFターゲットに連動させるかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [◎顔優先]は[Off]になります。 • AFターゲットモードが、[・] (シングルターゲット)、[・]s (スモールターゲット)のときに機能します (P.63)。 	—

F フラッシュ

MENU → * → F

メニュー項目	説明	🔍
🔁同調速度	フラッシュ発光時のシャッター速度を設定できます。	193
🔁低速制限	フラッシュ発光時の低速側のシャッター速度の制限値を設定できます。	193
📷+🔁連動	[On]にすると、フラッシュ補正值に露出補正值が加算されます。	62, 95
🔁+WB連動	フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択できます。	—

メニュー項目	説明	
画質設定	<p>JPEGの画質モードを変更できます。3種類の画像サイズと3種類の圧縮率の組み合わせから選択します。</p> <p>1) 十字ボタンの◀▶で [◀:1] ~ [▶:4]の画像サイズと圧縮率を選択し、△▽ボタンで値を変更します。</p> <p>2) Ⓞ ボタンを押すと確定されます。</p>	 <p>画質設定</p> <p>画像サイズ 圧縮率</p> <p>86, 127, 194</p>
ピクセルサイズ	<p>画像サイズ[M], [S]のピクセルサイズを設定できます。</p> <p>1) [Middle]または [Small]を選択し、十字ボタンの▶を押します。</p> <p>2) ピクセルサイズを変更して、Ⓞ ボタンを押すと設定が確定します。</p>	 <p>ピクセルサイズ</p> <p>Middle 3200×2400</p> <p>Small 1280×960</p> <p>86, 127, 194, 239</p>
シェーディング補正	<p>[On]に設定すると、レンズの特性による画面周辺の暗さを補正し、明るくします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テレコンバーターやエクステンションチューブを装着しているときは補正されません。 • 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。 	—
WBモード	<p>ホワイトバランスの設定をします。それぞれの設定を微調整しておくこともできます。</p>	81
全WBモード補正	<p>[All Set] : [CWB]以外のすべてのWBモードで同じ補正値を適用します。</p> <p>[All Clear] : [CWB]以外のすべてのホワイトバランス補正値を0にします。</p>	—
WBオート 電球色残し	<p>[On]にすると電球色の色味を残します。</p>	82
カラー設定	<p>撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。</p>	103

メニュー項目	説明	🔍
ファイルネーム	<p>[オート]: カードを入れ換えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p> <p>[リセット]: 新しいカードを入れると、フォルダ番号は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p>	—
ファイルネーム編集	<p>画像につくファイル名を変更できます。以下の部分が編集できます。</p> <p>sRGB: Pmdd0000.jpg _____ Pmdd</p> <p>AdobeRGB: _mdd0000.jpg _____ mdd</p>	—
dpi設定	プリントするときの解像度を設定します。	—
著作権情報*	<p>最大63文字の撮影者/著作権者の名称を画像に付加します。</p> <p>[著作権情報記録]: [On]を選択すると撮影者/著作権者の名称をExif情報に付加します。</p> <p>[撮影者入力]: 撮影者の名称を入力します。</p> <p>[著作権者入力]: 著作権者の名称を入力します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1) ①の中から文字を選択し、Ⓜ️ボタンを押します。選択した文字は②に表示されます。</p> <p>2) 手順1を繰り返し、すべてを入力したら[END]を選択しⓂ️ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を消去するには、INFOボタンを押し、カーソルを②に移動してから、消去したい文字を選んで🗑️ボタンを押します。 </div>  <p>* [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。</p>	—
レンズ情報登録	通信ができないレンズの情報を最大10本まで登録できます。	194


メニュー項目	説明	🔍
ワンタッチ消去	[On]に設定すると、再生画面で🔍ボタンを押したとき、すぐに画像が消去されます。	—
RAW+JPEG消去	[1コマ消去]を行う場合に、RAW+JPEGで記録した画像の消去方法を設定します。 [JPEG]：JPEGのみ消去します。 [RAW]：RAWのみ消去します。 [RAW+JPEG]：RAWとJPEGの両方を消去します。 ・ [全コマ消去] (P.158)や選択コマ消去の場合は、常にRAWとJPEGの両方が消去されます。	86, 117, 127
実行優先設定	カーソルの初期位置を[実行]または[中止]にするかを選択できます。	—

I EVF

メニュー項目	説明	🔍
EVF自動切換設定	[Off]にすると、ファインダーをのぞいても表示は切り換わりません。表示を切り換えるにはI/Oボタンを押します。	—
EVF調整	ファインダー表示の明るさや色合いを調整します。 [EVF自動調光]が[On]のときは自動で明るさを調整します。また、情報表示の濃さも自動的に調整されます。	—
EVF表示スタイル	ファインダー内の表示スタイルを変更できます。	195
Info表示設定	ファインダーに、モニターと同じようにヒストグラム表示やハイライト&シャドウ、水準器表示を設定できます。[EVF表示スタイル]で[スタイル1]、[スタイル2]に設定しているときに有効です。	—
EVFガイド線表示設定	★カスタムメニュー 03 [ガイド線表示設定]の[EVF反映]が[Off]のときに、[EVF表示スタイル]を[スタイル1]または[スタイル2]に設定した場合は、ファインダーに表示される罫線と罫線の色を選択できます。[方眼]、[黄金分割]、[目盛]、[対角線]、[動画罫線]、[三分割]から選択できます。	—
半押し中水準器表示	[Off]にすると、シャッターボタンの半押し中にファインダー内に水準器を表示しません。[EVF表示スタイル]で[スタイル1]、[スタイル2]に設定しているときに有効です。	—
OVFシミュレーション	[On]にすると、ファインダーに表示される画像を、光学ビューファインダーのように表示します。[OVFシミュレーション]を使うと暗部のディテールを確認しやすくなります。 ・ [OVFシミュレーション]を開始すると、ファインダー内に🔍が表示されます。 ・ ホワイトバランス、露出補正、仕上がりのカメラの設定は、表示には反映されません。	—


11 その他

MENU → * → 11



メニュー項目	説明	
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。	221
ボタン長押し時間調整	ボタンに割り当てられている機能が動作するまでの、ボタン長押し時間を [0.5秒] ~ [3.0秒] で設定します。	—
水準器調整	水準器の角度のずれを調整できます。 [リセット] ：出荷時の調整値に戻ります。 [キャリブレーション] ：現在のカメラの状態位置を0点とします。	—
タッチパネル設定	モニターに触れてカメラを操作することができます。 [Off] にするとタッチパネルの操作を禁止します。	—
メニューカーソル保持	[記憶する] に設定すると、メニューを表示したときに、前回操作したときのカーソル位置から表示します。カーソル位置は電源をオフにしても保持されます。	—
フィッシュアイ補正撮影	フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正します。	196

12 その他

MENU → * → 12

メニュー項目	説明	
バックライト時間	設定した時間、カメラを操作しないと、バックライトを減光して電池の消費を抑えます。 [Hold] にすると減光しません。	—
スリープ時間	設定した時間、カメラを操作しないと、省電力モード(スリープモード)になります。シャッターボタンの半押しで解除されます。	24
自動電源Off	スリープ中に、設定した時間が経過すると、自動的に電源をOffにします。	—
低消費電力撮影	[On] にすると、ファインダー撮影時(P.30)、すぐに省電力状態になりカメラの電力消費を抑えて撮影できます。バックライト時間とスリープ時間を設定できます。シャッターボタンを操作すると、省電力状態から復帰します。ライブビュー撮影中やファインダー点灯中は省電力状態になりません。 [On] に設定されているときは、スーパーコンパネ上にECOアイコンが表示されます。	—
認証マーク表示	認証マークを表示します。	—

AEL/AFLボタンを使ってピント合わせや測光を行う (AEL/AFLモード)

MENU →  → **A1** → [ AEL/AFLモード]

AEL/AFL機能を割り当てたボタンを押してオートフォーカスや測光を行うことができます。フォーカスモードごとにmodeを選択します。



AEL/AFL機能分担一覧

モード		シャッターボタンの役割				AEL/AFLボタンの役割	
		半押しするとき		全押しするとき		押している間	
		ピント	露出	ピント	露出	ピント	露出
S-AF	mode1	S-AF動作	固定	-	-	-	固定
	mode2	S-AF動作	-	-	固定	-	固定
	mode3	-	固定	-	-	S-AF動作	-
C-AF	mode1	C-AF開始	固定	固定	-	-	固定
	mode2	C-AF開始	-	固定	固定	-	固定
	mode3	-	固定	固定	-	C-AF開始	-
	mode4	-	-	固定	固定	C-AF開始	-
MF	mode1	-	固定	-	-	-	固定
	mode2	-	-	-	固定	-	固定
	mode3	-	固定	-	-	S-AF動作	-

C-AF動作時のピント合わせの感度を設定する

(📷C-AF追従感度)

MENU → * → A1 → [📷C-AF追従感度]

[📷AF方式]が[C-AF]または[C-AF+TR]のときの、被写体に対するオートフォーカスの追従性を設定します。速い動きの被写体にオートフォーカスを追従させたいときや、被写体の前を障害物が入り出してピントが移動してしまうときなどに有効です。

- 5段階の感度が設定できます。
- +側に設定するほど感度は上がります。見えない位置から急に現れる被写体、すばやく遠ざかる被写体など、前後に急加速、急停止する被写体に対応するときは+側に設定します。
- -側に設定するほど感度は下がります。被写体との間の障害物にピントが移動してしまったり、被写体がAFターゲットから外れてピントが背景に移動してしまうときは-側に設定します。

1 *カスタムメニュー A1で、[📷C-AF追従感度]を選択し、OKボタンを押します。



2 十字ボタンの△▽で数値を選択し、OKボタンを押します。

- *カスタムメニュー A1の画面に戻ります。





3 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

C-AF動作時のピント合わせ開始位置を設定する (C-AF中央スタート)


MENU → * → A1 → [C-AF中央スタート]

シングルターゲット以外の設定で[C-AF]または[C-AF+TR]でオートフォーカスするとき、最初のオートフォーカスのみ選択エリアの中央で行います。その後は、選択エリア内でオートフォーカスをします。広いエリアのAFターゲット設定と組み合わせることで、動きの激しい被写体をとらえやすくなります。

- 1 *カスタムメニュー A1 で、 [ C-AF中央スタート] を選択し、 ボタンを押します。




- 2 十字ボタンの△▽で [ C-AF中央スタート] を有効にするAFターゲットモードを選択し、 ボタンを押します。

- チェックボックスに✔が表示されます。チェックを解除するときは再度 ボタンを押します。



- 3 MENUボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

- [ C-AF中央優先] (P.176) が設定されているときは、無効になります。

C-AF動作時に中央優先でピント合わせをする

(📷C-AF中央優先)

MENU → * → A1 → [📷C-AF中央優先]

グループターゲットの設定で[C-AF]でオートフォーカスするとき、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返します。中央でオートフォーカスできないときは、選択エリアの周辺のAFターゲットを使います。速度は速くても、比較的動きの読める被写体をとらえやすくなります。一般的な撮影では中央優先でお使いください。

- 1 *カスタムメニュー A1で、[📷C-AF中央優先]を選択し、OKボタンを押します。



- 2 十字ボタンの△▽で[📷C-AF中央優先]を有効にするAFターゲットモードを選択し、OKボタンを押します。
 - チェックボックスに✓が表示されます。チェックを解除するときは再度OKボタンを押します。



- 3 MENUボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

AF機能のホームポジションを設定する ([::]Home登録)

MENU → * → A2 → [::]Home登録

[::]Homeで使うホームポジションを設定します。

[::]Homeは、ボタン操作一つでAF機能をあらかじめ登録したホームポジションに設定する機能です。このときのホームポジションを設定します。[::]Homeは、**[OK]ボタン機能**でボタンに割り当てて使います(P.105)。

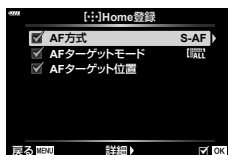
AF方式	ホームポジションのAF方式を設定します。
AFターゲットモード	ホームポジションのAFターゲットモードを設定します。 [::]Mode表示設定 (P.160)で表示設定されている項目から 選択できます。
AFターゲット位置	ホームポジションのAFターゲットの位置を設定します。

- 1 *カスタムメニュー A2で、[::]Home登録を選択し、**[OK]**ボタンを押します。



- 2 ホームポジションとして使用する項目を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

- チェックボックスに✓が付きます。チェックが付いた項目はホームポジションとして使用されます。



- 3 十字ボタンの▷を押して、選択した項目の詳細設定をします。

- ホームポジションに登録する設定を選択します。



- 4 各項目の設定をしたら**[OK]**ボタンを押して設定を確定します。

- [::]Home登録画面に戻ります。

- 5 各項目の設定を終えたら、**MENU**ボタンを繰り返し押してメニューを終了します。

マニュアルフォーカス時にピント合わせを補助する (MFアシスト)

MENU → * → A4 → [MFアシスト]

MFでのピント合わせを補助する機能です。フォーカスリングを回すと、被写体の輪郭を強調したり画面の一部を拡大したりして表示します。フォーカスリングの操作をやめると、元の表示に戻ります。

拡大	画面の一部を拡大して表示します。拡大する部分はあらかじめAFターゲットで決めることができます。☞ 「ピント合わせの位置を自分で決める (AFターゲット位置)」 (P.64)
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色や強度を選択することができます。☞ 【ピーキング表示】 (P.166)

- 【ピーキング】は、ボタン操作で表示することもできます。ボタンを押すたびに表示を切り換えることができます。あらかじめボタン機能 (P.105) でいずれかのボタンに機能を割り当てておきます。
- ピーキング表示中は、**INFO** ボタンを押して、色や強度を変更することができます。
- ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。

ピントを操作しながら撮影する (BULB/TIME中MF)

MENU → * → A4 → [BULB/TIME中MF]

撮影モードが**B** (バルブ) のとき、露光中にマニュアルでピント位置を変更することができます。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。

- 1 *カスタムメニュー **A4** で、**[BULB/TIME中MF]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの **△▽** で設定を変更します。
[Off]: 露光中、手動でのピント位置の操作はできません。
[On]: 露光中に手動でピント位置を操作できます。
- 3 **OK** ボタンを押して設定を確定します。
 - *カスタムメニュー **A4** の画面に戻ります。
- 4 **MENU** ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

MENU → * → B → [📷 Fnレバー機能]

Fnレバーの機能を変更します。

フロント/リアダイヤルの機能の変更や、AF機能の設定の変更ができます。ムービー撮影に切り換えることもできます。

この機能は、P/A/S/M/B（静止画撮影）モードのときに有効になります。📷（ムービー）モードでは、📷動画メニューで設定する[📷 Fnレバー機能]が有効になります（P.143）。

モード	Fnレバー位置が1のとき	Fnレバー位置が2のとき
Off	Fnレバー機能を使いません。	
mode1	Fnレバーの位置に応じて、フロント/リアダイヤルの機能を切り換えます。 [📷ダイヤル機能]（P.162）の設定に従います。	
mode2	Fnレバー 1、2のそれぞれの位置で設定した[AF方式]、[AFターゲットモード]、[AFターゲット位置]に変更します。	
mode3	撮影モードはモードダイヤルに従います。	撮影モードをムービーモード(📷)に切り換えます。

連写時の速度や枚数の上限を設定する (📷L設定 / 📷H設定)

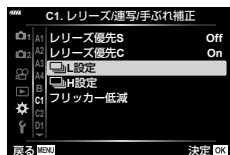
MENU → * → [📷] → [📷L設定] / [📷H設定]

連続撮影をするときの、連写速度と撮影枚数などの上限を設定します。シャッターボタンを全押ししていても、設定した枚数に達すると自動的に撮影が終了します。

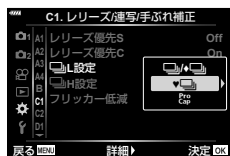
📷L (連写L) と 📷H (連写H)、それぞれのメニューで下記の設定を行います。

<p>📷L設定 (連写L設定)</p>	<p>📷L (連写L)、📷L (低振動連写L)、📷L (静音連写L)の連写速度と連続撮影枚数の上限が設定できます。また、Pro Cap L (プロキャプチャーL)の詳細設定ができます(P.72)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 📷L または 📷L のとき [連写速度] : 1 ~ 6fps [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) 📷L のとき [連写速度] : 1 ~ 10fps [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) Pro Cap L のとき [プリ連写枚数] : 0 ~ 14枚 [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) プリ連写枚数を含みます。
<p>📷H設定 (連写H設定)</p>	<p>📷H (連写H)、📷H (静音連写H)の連写速度と連続撮影枚数の上限が設定できます。また、Pro Cap H (プロキャプチャーH)の詳細設定ができます(P.72)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 📷H のとき [連写速度] : 5 ~ 10fps [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) 📷H のとき [連写速度] : 15/20/30fps [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) Pro Cap H のとき [連写速度] : 15/20/30fps [プリ連写枚数] : 0 ~ 14枚 [枚数リミッター] : 2 ~ 99枚、Off (制限なし) プリ連写枚数を含みます。

- 1 **★**カスタムメニュー **C1** で、**[L設定]** または **[H設定]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの Δ ∇ で **[L設定]** (**[H設定]** のときは **[H設定]**)、**[L設定]**、**[H設定]**、**[P:Cap]** のいずれかを選択し、**▷** ボタンを押します。



- それぞれの設定画面が表示されます。

- 3 **[連写速度]** を設定します。

- Δ ∇ ボタンで **[連写速度]** を選択し、**▷** ボタンを押します。
- Δ ∇ ボタンで設定を変更し、**OK** ボタンを押して確定します。



- 4 **[プリ連写枚数]** を設定します。

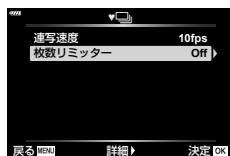
- 手順2で **[P:Cap]** を選択したときのみ表示されます。
- Δ ∇ ボタンで **[プリ連写枚数]** を選択し、**▷** ボタンを押します。
- Δ ∇ ボタンで設定を変更し、**OK** ボタンを押して確定します。
- プリ連写を行わない場合は、**[0]** に設定します。



プロキャプチャーの
設定画面

- 5 **[枚数リミッター]** を設定します。

- Δ ∇ ボタンで **[枚数リミッター]** を選択し、**▷** ボタンを押します。
- 撮影枚数を制限しない場合は **[Off]** を選択します。
- 撮影枚数を制限するときは、数値を選択し、**▷** ボタンを押すと、撮影枚数の設定画面が表示されます。**<▷** ボタンで桁を選択し、 Δ ∇ ボタンで数値を変更できます。
- プロキャプチャー撮影時は、制限する撮影枚数にプリ連写枚数も含まれます。**ⓘ** 「リリースタイムラグを防いで撮影する(プロキャプチャー撮影)」(P.72)
- 設定を変更後、**OK** ボタンを押して確定します。



- 6 **OK** ボタンを押します。

- **★**カスタムメニュー **C1** の画面に戻ります。

- 7 **MENU** ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

蛍光灯による明るさのちらつきを抑えて撮影する

(フリッカー低減)

MENU → * → **Q1** → [フリッカー低減]

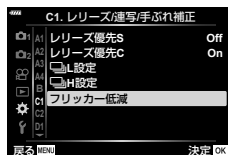
蛍光灯などの商用電源照明の環境下では、ライブビューの画面表示がちらついて見えたり、高速シャッター速度で連写した場合に露出がばらつくことがあります。このような影響を低減するための機能です。

■ 撮影時の画面表示のちらつきを抑える(フリッカーレスLV)

蛍光灯などの照明の環境下で発生する画面のちらつき(フリッカー)を抑えて表示します。画面がちらついて見えにくいなどのときに有効です。

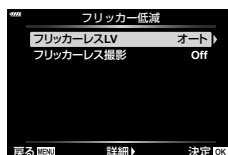
オート	フリッカーを自動で検出して低減します。
50Hz	商用電源が50Hzの地域での照明のちらつきを低減します。
60Hz	商用電源が60Hzの地域での照明のちらつきを低減します。
Off	フリッカーの低減をしません。 ・ [フリッカーレス撮影] (P.183) が [On] のときは選択できません。

- 1 *カスタムメニュー **Q1** で、[フリッカー低減] を選択し、**OK** ボタンを押します。



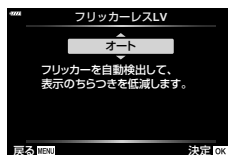
- 2 十字ボタンの△▽で[フリッカーレスLV]を選択し、▷ボタンを押します。

・ [フリッカーレスLV] の設定画面が表示されます。



- 3 △▽ボタンで項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

・ [フリッカー低減] の設定画面に戻ります。

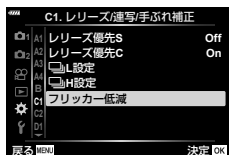


- 4 **MENU** ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

■ シャッターが切れるタイミングを設定する(フリッカーレス撮影)

照明のフリッカーのある環境下で撮影したときなど、明るさがばらついて写ることがあります。フリッカーによるちらつきの周期を自動的に判断して、シャッターを切るタイミングを制御します。この機能は、機械式シャッターによる撮影で有効な機能です。

- 1 **★**カスタムメニュー **C1**で、**[フリッカー低減]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。



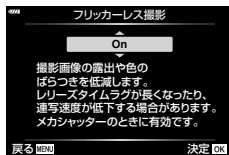
- 2 十字ボタンの**△▽**で**[フリッカーレス撮影]**を選択し、**▷**ボタンを押します。

- **[フリッカーレス撮影]**の設定画面が表示されます。



- 3 **△▽**ボタンで**[On]**または**[Off]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

- **[フリッカー低減]**の設定画面に戻ります。






- 4 **MENU**ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。


- **[On]**に設定すると、画面に**[FLK]**が表示されます。





- 静音撮影やハイレゾショット撮影、プロキャプチャー撮影などの電子シャッターによる撮影時は動作しません。
- 環境によってはフリッカーが検出できないことがあります。その場合は、通常のタイミングでシャッターが切れます。
- シャッター速度が遅いときは、通常のタイミングで撮影されます。
- シャッターが切れる際にタイムラグが生じたり、連写速度が低下する場合があります。

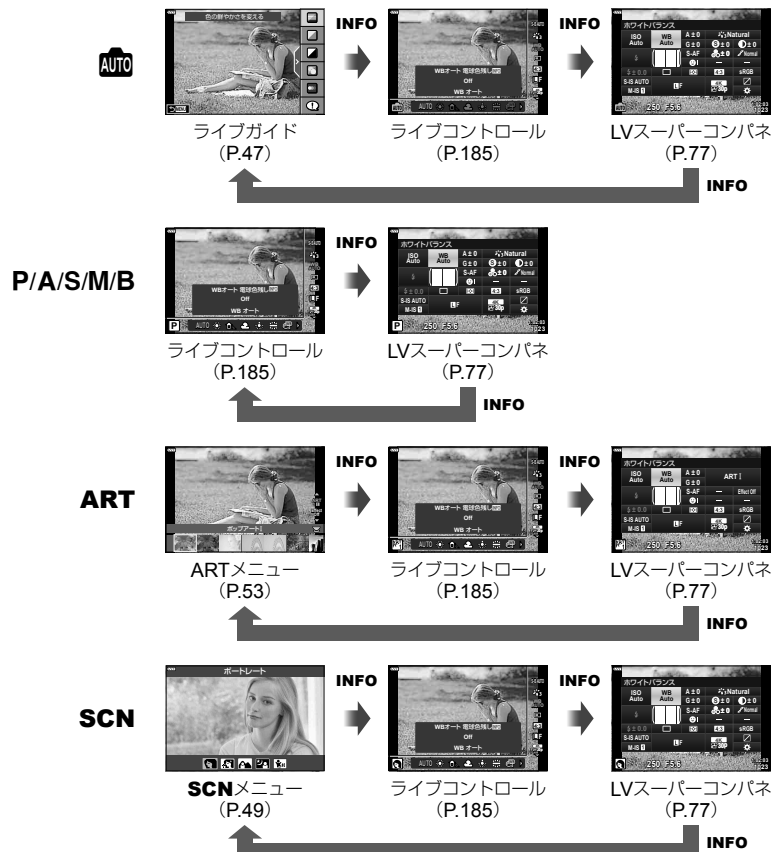
MENU →  →  → [Control表示]



撮影モードで機能を設定する各操作画面の表示、非表示を設定します。

各撮影モードで、表示したい操作画面にボタンを押してチェックを入れます。

操作画面の表示のしかた

- 撮影待機状態でボタンを押し、操作画面を表示した状態で、**INFO**ボタンを押すと表示が切り替わります。
- [Control表示]でチェックを入れた操作画面のみ表示されます。



- ムービーモードの場合は、[表示設定]の[Control表示]で設定します(P.144)。

■ ライブコントロール



使用可能な設定機能

手ぶれ補正*	P.84	🔊モード*	P.145
ピクチャーモード*	P.96, 127	フラッシュモード	P.91
ホワイトバランス*	P.81	フラッシュ補正	P.95
連写/セルフタイマー	P.69, 85	測光方式	P.80
アスペクト比	P.85	AF方式*	P.78
画質モード*		ISO感度*	P.68, 78
静止画	P.86	顔優先*	P.65
ムービー	P.87	ムービー録音*	P.148

* ムービーモードで使える機能

- 撮影モードによっては選択できない機能があります。
- **[📷Control表示]**で操作画面の**[LVコントロール]**を設定すると、**AUTO/P/A/S/M/B/ART/SCN**モードでもライブコントロールを使えます(P.164)。

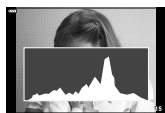
- 1** **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示します。
 - 再度**OK** ボタンを押すとライブコントロールの表示が消えます。
- 2** 十字ボタンの△▽でカーソルを設定したい機能に移動し、◀▶ ボタンで設定を選択し**OK** ボタンを押します。
 - 何も操作せずに約8秒経過すると設定が確定します。

INFOボタンによる情報表示の設定をする (Info表示設定)

MENU → * → [INFO] → [Info表示設定]

Info (再生情報表示)

[Info]で以下の再生情報表示画面を追加できます。追加した画面は、画像再生時にINFOボタンを繰り返し押し表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。



ヒストグラム表示



ハイライト&シャドウ表示



ライトボックス表示

ハイライト&シャドウ表示

画像の明るさの上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青で表示します。[ヒストグラム警告設定] (P.166)

ライトボックス表示

2枚の画像を並べて表示して比較できます。⊕ボタンを押すと、基準の画像を切り換えることができます。

- 右の画面で基準にする画像を選びます。フロントダイヤルで画像を選んで⊕ボタンを押すと、その画像が左の画面に移動します。左の画面の画像と比較する画像を右の画面で選びます。基準とする画面を変えるときは、右の画面で選んで⊕ボタンを押します。

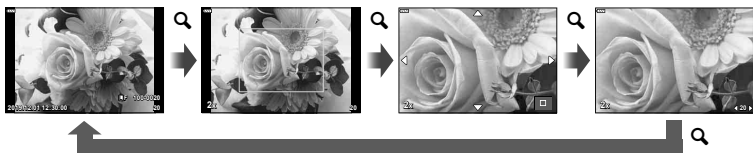
- リアダイヤルを回すと拡大倍率を変更できます。

拡大中は、ISOボタンを押して十字ボタンの△▽◀▶で拡大範囲をスクロール、フロントダイヤルで画像の選択ができます。



QInfo (再生拡大情報表示)

[QInfo]で再生拡大情報表示画面を設定できます。あらかじめボタン機能(P.105)で[Q] (拡大)をボタンに割り当てておくと、画像再生時にQボタンを繰り返し押して、設定した画面表示を切り換えることができます。初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。

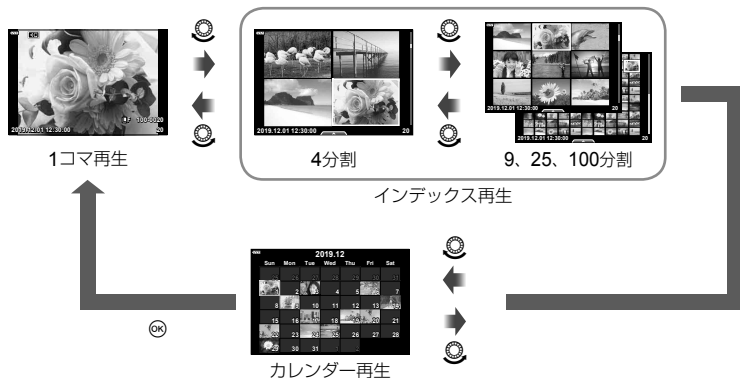


LV-Info (撮影情報表示)

【LV-Info】でハイライト&シャドウ表示画面を追加するには、【カスタム表示1】または【カスタム表示2】で十字ボタンの▶を押してチェックをつけます。追加した画面は、撮影時に**INFO**ボタンを繰り返し押しすと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。

☒表示(インデックス/カレンダー表示)

【☒表示】で、インデックス表示画面の分割数を変更したり、初期設定で表示されている画面を非表示にできます。チェックを入れた画面は画像再生時にリアダイヤルを回して選択します。



画像再生時の拡大倍率を設定する (再生拡大倍率設定)

MENU → * → D2 → [再生拡大倍率設定]

画像を再生して拡大表示(クローズアップ再生)したとき、最初に表示される倍率の設定ができます。

前回倍率	前回、拡大再生したときに最後に表示した倍率で表示します。
等倍	拡大再生したとき、等倍で表示します。等倍表示にすると、モニターに M が表示されます。
×2 / ×3 / ×5 / ×7 / ×10 / ×14	拡大再生したとき、選択した倍率で表示します。

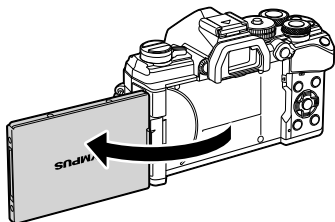
自分撮りに合わせた表示をする

(自分撮りアシスト)

MENU → * → D3 → [自分撮りアシスト]




モニターを自分撮りの位置にしたときに便利なタッチ操作メニューをモニターに表示できます。

- 1 カスタムメニュー **D3** の [自分撮りアシスト] を [On] にします。
- 2 モニターを反転させます。



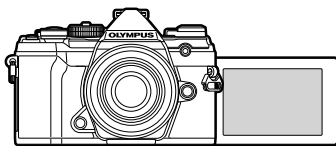
自分撮りメニュー


- モニターに自分撮りメニューが表示されます。

 ワンタッチ ePORTRAIT	ONにすると、なめらかな肌に補正します。 オートモード (AUTO) 時のみ有効です。
 タッチシャッター	アイコンをタッチすると、約1秒後にシャッターが切れます。
 ワンタッチカスタム セルフ	セルフタイマーで3コマ撮影します。シャッターが切れる 枚数や間隔などはカスタムセルフタイマーで設定できます (P.69, 85)。

- 3 カメラを構えて構図を決めます。

- レンズに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

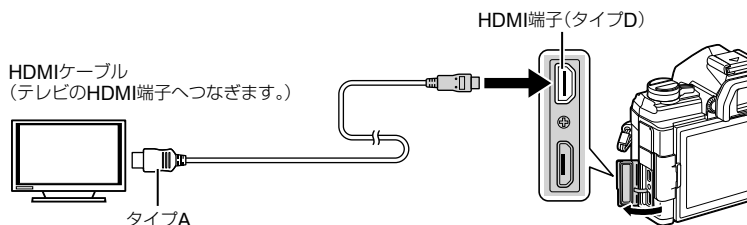


- 4  をタッチして撮影します。

- 撮影された画像がモニターに表示されます。
- モニターに映った被写体をタッチしても、シャッターボタンを押しても撮影できます。

MENU → * → D4 → [HDMI]

別売のケーブルを使ってテレビに接続して画像を再生します。また、撮影でも使用できます。HDMIケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで見ることができます。



テレビとカメラを接続してテレビの入力を切り換えます。

- HDMIケーブルを接続すると、テレビとカメラのモニターの両方に画像が表示されます。テレビ画面にだけ情報が表示されます。
- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

C4K	C4KをHDMI出力します。
4K優先	4Kを優先してHDMI出力します。
1080p優先	1080pを優先してHDMI出力します。
720p優先	720pを優先してHDMI出力します。
480p/576p	480p/576p形式でHDMI出力します。

- 他のHDMI出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- パソコンとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。
- 【出力モード設定】を【記録モード】(P.144)にしていると、動画撮影状態のときに設定されているムービー画質モードで出力します。設定されている画質モードにテレビが対応していない場合は、画像は表示されません。
- 静止画撮影状態のときは信号形式を【4K優先】または【C4K】にしても、1080p優先で出力されます。

テレビのリモコンを使う

HDMIによるコントロールに対応したテレビに接続したとき、テレビのリモコンで操作することができます。📺 **[HDMI]** (P.166)

カメラのモニター表示は消灯します。

- テレビに表示された操作ガイドに従って操作できます。
- 1コマ再生のときに、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。
- テレビによっては使用できない機能があります。

4

ライブバルブ撮影時の表示の更新時間を設定する (ライブBULB設定)

MENU → ✨ → 📺 → [ライブBULB設定]

B (バルブ)モードでライブバルブ撮影をしているとき、露光中の画像を表示する時間間隔を設定します。ライブバルブで撮影中、設定した時間間隔で表示を更新するため、撮影結果を確認しながら撮影できます。

- **[BULB]**および**[LIVE BULB]**では、**MENU**ボタンを押すと直接、[ライブBULB設定]の設定画面を表示します。

ライブタイム撮影時の表示の更新時間を設定する (ライブTIME設定)

MENU → ✨ → 📺 → [ライブTIME設定]

B (バルブ)モードでライブタイム撮影をしているとき、露光中の画像を表示する時間間隔を設定します。ライブタイムで撮影中に設定した時間間隔で表示を更新するため、撮影結果を確認しながら撮影できます。

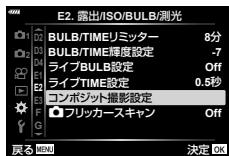
- **[TIME]**および**[LIVE TIME]**では、**MENU**ボタンを押すと直接、[ライブTIME設定]の設定画面を表示します。

コンポジット撮影時のシャッター速度を設定する (コンポジット撮影設定)

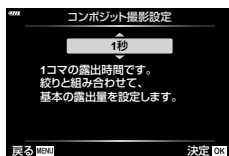
MENU → * → E2 → [コンポジット撮影設定]

ライブコンポジット撮影の1コマの露出時間は、あらかじめメニューで設定しておくことができます。

- 1 *カスタムメニュー E2で、[コンポジット撮影設定]を選択し、OK ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの△▽で設定を変更します。
 - 露出時間は、1/2秒～60秒の間で設定できます。



- 3 OK ボタンを押して設定を確定します。
 - *カスタムメニュー E2の画面に戻ります。
- 4 MENU ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

- 最長の撮影時間は3時間です。
- この機能は、静止画撮影のBモードで使用する機能です。コンポジット撮影については、P.45をあわせてお読みください。
- [LIVE COMP]では、MENU ボタンを押すと直接、[コンポジット撮影設定]の設定画面を表示します。

LED照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する

(📷フリッカーキャン)

MENU → * → E2 → [📷フリッカーキャン]

LED照明の環境下では、撮影した画像にすじが写ることがあります。[📷フリッカーキャン]では、画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。

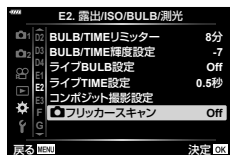
この機能は、撮影モードが**S**または**M**で、静音撮影、ハイレゾショット撮影、プロキャプチャー撮影のときに使用できます。

- 設定できるシャッター速度の範囲が狭くなります。

1 撮影モードとドライブ機能の設定をします。

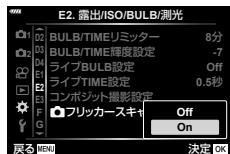
- 撮影モードを、**S**または**M**に設定します。
- ドライブを、以下のいずれかに設定します。
 - 静音撮影 (🔇、🔇📷、🔇📷H、🔇📷2s、🔇📷2s、🔇📷)
 - ハイレゾショット (📷)
 - プロキャプチャー撮影 (📷_{CapL}、📷_{CapH})

2 *カスタムメニュー E2で、[📷フリッカーキャン]を選択し、OKボタンを押します。



3 十字ボタンの△▽で[On]を選択し、OKボタンを押します。

- メニュー画面に戻ります。



4 MENUボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- 撮影画面に戻ります。画面にFlicker Scanが表示されます。



5 画面を見ながらシャッター速度を設定します。

- フロント/リアダイヤル、または△▽ボタンで設定できます。
- 画面に発生するすじが見えなくなるようにシャッター速度を調整してください。
- **INFO**ボタンを押すと画面が切り換わり、**Flicker Scan**が消えます。このとき、絞りや露出補正の設定ができます。フロント/リアダイヤルまたは、十字ボタンを使って設定してください。
- **INFO**ボタンを繰り返し押すと、フリッカースキャンの設定画面に戻ります。

6 設定を終えたら撮影します。

- フリッカースキャンの画面では、ピーキング表示や、LVスーパーコンパネ、LVコントロールの表示はできません。表示するときは**INFO**ボタンを押して画面の情報表示を切り換えてください。



- **[フリッカースキャン]**の機能をボタンに割り当てておくことができます。ボタンを押す操作だけで機能をオンにすることができます。☞ **[ボタン機能]** (P.105)

フラッシュ発光時のシャッター速度 (⚡同調速度/⚡低速制限)

MENU → * → [] → [⚡同調速度] / [⚡低速制限]

フラッシュが発光するときのシャッター速度の条件を設定できます。

撮影モード	フラッシュ発光シャッター速度	上限	下限
P	カメラが自動的に設定	[⚡同調速度] 設定	[⚡低速制限] 設定*
A			
S	シャッター速度設定による		制限無し
M			

* スローシンクロ発光設定時は最長60秒まで延長

JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ (画質設定)

MENU → * → G → [画質設定]

画像サイズと圧縮率を組み合わせ、JPEGの画質モードを設定できます。

画像サイズ		圧縮率			用途
サイズ名	ピクセルサイズ	SF (Super Fine)	F (Fine)	N (Normal)	
L (Large)	5184×3888*	L SF*	L F*	L N*	プリントサイズに 合わせて選択
M (Middle)	3200×2400*	M SF	M F	M N*	
	1920×1440				
S (Small)	1280×960	S SF	S F	S N	小さいプリントや ホームページ用
	1024×768				

* 初期設定

レンズ情報を登録する (レンズ情報登録)

MENU → * → [レンズ情報登録]

マイクロフォーサーズ、フォーサーズ規格以外のレンズの情報を最大10本まで登録できます。この設定は、手ぶれ補正やデジタルシフト撮影の焦点距離情報としても使用します。

- 1 *カスタムメニュー [レンズ情報登録] の [レンズ情報新規登録] を選びます。
- 2 [レンズ名] を選び、レンズ名を入力します。最後に [END] を選び [OK] ボタンを押します。
- 3 [焦点距離] を十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ で設定します。
- 4 [絞り値] を $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで設定します。
- 5 [登録] を選んで、[OK] ボタンを押します。

- 登録されたレンズがレンズ情報登録画面に表示されます。
- 非通信レンズを装着した際には、✓が付いたレンズの情報が用いられます。✓を付けたいレンズを選び、[OK] ボタンを押します。



- [レンズ情報登録] の機能をボタンに割り当てておくことができます。レンズ交換時などに、登録されているレンズ情報の選択ができます。☞ [ボタン機能] (P.105)

ファインダー内表示のスタイルを選ぶ (EVF表示スタイル)

MENU → * → [] → [EVF表示スタイル]

スタイル1/2：フィルムカメラのファインダーのような表示スタイルにします。

スタイル3：モニターと同じ表示をします。

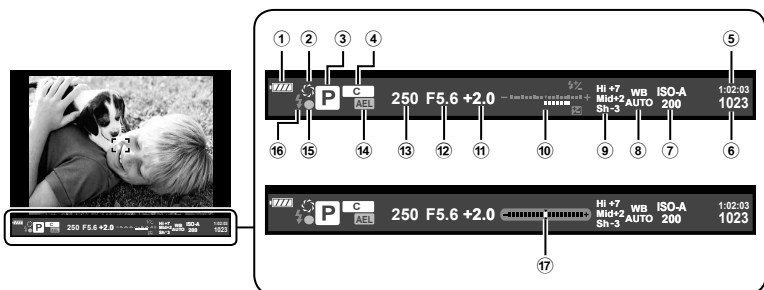


スタイル1 / スタイル2



スタイル3

■ ファインダー撮影時のファインダー内表示(スタイル1 / スタイル2)



- | | |
|---|-----------------------------|
| ① 電池残量 | ⑨ ハイライト&シャドウコントロール...P.104 |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ : 撮影できます。 ■ : 電池が減っています。 ■ : 電池残量が少なくなっています。 ■ : 充電してください。 | ⑩ 上：フラッシュ補正.....P.95 |
| ② プレビュー.....P.106 | 下：露出補正バー.....P.62 |
| ③ 撮影モード.....P.32-57 | ⑪ 露出補正值.....P.62 |
| ④ カスタム登録.....P.55, 126 | ⑫ 絞り値.....P.35-41 |
| ⑤ 録画可能時間.....P.240 | ⑬ シャッター速度.....P.35-41 |
| ⑥ 撮影可能枚数.....P.239 | ⑭ AEロック(AEL).....P.68, 173 |
| ⑦ ISO感度.....P.68, 78 | ⑮ 合焦マーク.....P.33 |
| ⑧ ホワイトバランス.....P.81 | ⑯ フラッシュ(点滅：充電中).....P.91 |
| | ⑰ 水準器(シャッターボタン半押しで表示されません。) |

フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正する (フィッシュアイ補正撮影)

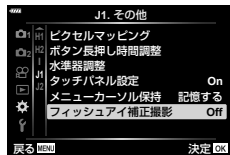
MENU → * → [1] → [フィッシュアイ補正撮影]

フィッシュアイレンズを使ったときの画面の歪みを補正して、超広角レンズを使ったような撮影ができます。3つの補正のレベルから選べます。また、水中撮影時に発生する歪みを同時に補正する設定もあります。

- P/A/S/M/Bモードで使用できます。
- 対応するフィッシュアイレンズを装着した場合のみ設定できます。
M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm f1.8 Fisheye PRO (2019年7月現在)

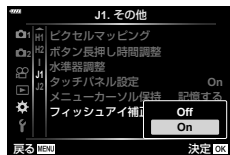
画角	レンズによる歪みを補正した上で画面にけられがない範囲で切り出します。3つの切り出す範囲を選択できます。
水中補正	[画角]による補正に加えて、水中で撮影する際の画角に補正します。

- 1 *カスタムメニュー [1]で、[フィッシュアイ補正撮影]を選択し、[OK]ボタンを押します。



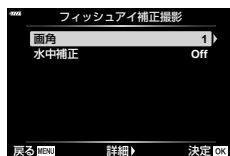
- 2 十字ボタンの△▽で[On]を選択し、▷ボタンを押します。

- [画角]および[水中補正]のメニューが表示されます。



- 3 △▽ボタンで設定を変更し、▷ボタンを押します。

- △▽ボタンで設定を変更し、[OK]ボタンを押します。
- 水中撮影以外では、[水中補正]は[Off]に設定してください。
- [フィッシュアイ補正撮影]のメニュー画面に戻ります。



- 4 繰り返し[OK]ボタンを押して、カスタムメニューに戻ります。

- [フィッシュアイ補正撮影]が[On]になっていることを確認し、MENUボタンを押して、メニューを終了します。
- フィッシュアイ補正撮影がオンになっている間は画面に [画角]と選択した画角が表示されます。



5 撮影します。

- 画質モードが[RAW]のときは、RAW+JPEGで記録されます。RAW画像は補正なしで記録されます。
- フィッシュアイ補正撮影中は、ピーキング表示はできません。
- AFターゲットは、シングルターゲット/スモールターゲットのみになります。
- フィッシュアイ補正撮影時は、以下の機能は使用できません。

コンポジット撮影/連写/ブラケット撮影/ HDR撮影/多重露出撮影/デジタルシフト撮影/デジタルテレコン/ムービー撮影/ AF方式の[C-AF] [C-AF+TR] /ピクチャーモードの[e-ポートレート]またはアートフィルター/カスタムセルフタイマー/ハイレゾショット撮影



- [フィッシュアイ補正撮影]の機能をボタンに登録しておくことができます。ボタンを押す操作だけで機能をオンにすることができます。🔍 [📷 ボタン機能] (P.105)

5 スマートフォンと接続する

本機の無線LAN機能(Wi-Fi)とBluetooth®機能を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリを使うことで、撮影や撮影後の楽しみがもっと広がります。カメラとスマートフォンを接続しておくと、スマートフォンの操作で画像の転送やリモート撮影、カメラ内の画像にGPSタグの追加ができます。

- すべてのスマートフォンで動作を保証するものではありません。

専用アプリOLYMPUS Image Share (OI.Share)を使ってできること

- カメラの写真をスマートフォンへ転送
カメラ内の画像をスマートフォンに取り込むことができます。
また、カメラ内の画像をスマートフォン側で選択して転送できます。
- スマートフォンからリモート撮影
スマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oishare/>

専用アプリOlympus Image Palette (OI.Palette)を使ってできること

- 写真をステキに加工
スマートフォンに取り込んだ画像を直感的な操作で印象的な仕上がりにすることができます。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oipalette/>

専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)を使ってできること

- カメラの画像にGPSタグを追加
スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送するだけで、撮影した画像にGPSタグを追加することができます。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oitrack/>

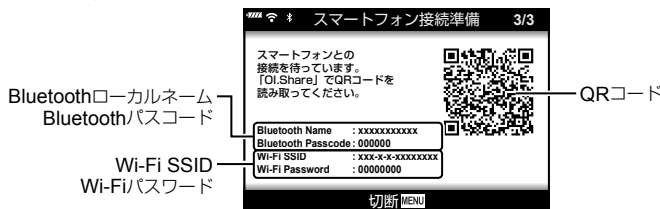
- 無線LAN機能を使う前に「無線LAN / Bluetooth®機能について」(P.246)をよくお読みください。
- 本機を購入した地域以外での無線LAN / Bluetooth®機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。
- 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本機の無線LAN機能を使って、自宅や公衆のアクセスポイントに接続することはできません。
- 送受信アンテナは、グリップ内にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- バッグなどにカメラを入れて運ぶ場合、バッグの素材やその他の内容物によってカメラの電波が遮蔽され、スマートフォンと通信できない場合があります。
- 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少なくと通信中でも通信が途切れる場合があります。

- 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。
- カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていると、無線LAN機能が使用できません。

スマートフォンとの接続設定をする

スマートフォンにインストールした専用アプリ「OI.Share」を起動しておきます。

- 1 再生メニューで[スマートフォン接続]を選択し、 ボタンを押します。
 - モニター画面の にタッチしても接続できます。
- 2 モニターに表示される操作ガイドに従って、Wi-Fi/Bluetooth接続の準備を進めます。
 - モニターに**Bluetooth**ローカルネームとそのパスコード、Wi-Fi SSIDとそのパスワード、QRコードが表示されます。



- 3 OI.Shareの画面下部に表示されるカメラのマークをタップします。
 - [かんたん接続設定]のタブが表示されます。
- 4 OI.Shareに表示されるガイドに従ってQRコードを読み取り、接続設定を進めます。
 - QRコードを読み取れない場合は、OI.Shareに表示されるガイドに従って手動で設定する必要があります。
 - **Bluetooth** : OI.Shareに表示される**Bluetooth**設定画面でカメラのモニターに表示されているローカルネームを選択し、パスコードを入力します。
 - **Wi-Fi** : OI.Shareに表示される**Wi-Fi**設定画面で、カメラのモニターに表示されているSSIDとパスワードを入力して接続します。
 - 接続すると、画面に が表示されます。
- 5 接続を終了するには、カメラの**MENU**ボタンを押すか、モニター画面の[切断]にタッチします。
 - OI.Shareでカメラの電源をオフにし、接続を終了することもできます。

電源オフ時の無線接続を設定する

カメラの電源をオフにしているときも、スマートフォンと無線接続するかどうかを設定します。

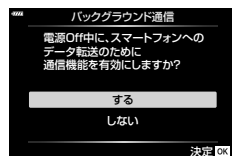
- 1 設定メニューで**[Wi-Fi/Bluetooth設定]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。
- 2 **[バックグラウンド通信]**を選択し、十字ボタンの**[▷]**を押します。
- 3 項目を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

毎回確認	カメラの電源をオフにすると、スマートフォンとの無線接続を有効にするかどうかを確認する画面が表示されます。
Off	カメラの電源をオフにしているとき、スマートフォンとの無線接続を無効にします。
On	カメラの電源をオフにしているときもスマートフォンとの無線接続を有効にして、カメラ内の画像をスマートフォンに転送したり、スマートフォンでカメラ内の画像を閲覧できます。

■ [毎回確認]について

[バックグラウンド通信]を**[毎回確認]**に設定し、以下の条件がすべて満たされた場合、カメラの電源オフ時に確認画面が表示されます。

- **[Wi-Fi/Bluetooth]**が**[On]**になっている
- スマートフォンとの接続設定(P.199)が完了している
- カードが正しく差し込まれている



する	スマートフォンとの無線接続を有効にして、カメラの電源がオフになります。
しない	スマートフォンとの無線接続を無効にして、カメラの電源がオフになります。

- 確認画面の表示中に約1分経過すると、スマートフォンとの無線接続が無効になり、カメラの電源がオフになります。



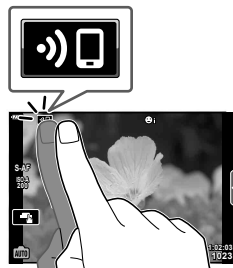
- スマートフォンとの無線接続を有効にしている場合も、以下の場合は自動で無効になります。一度カメラの電源をオンにすると、再度有効になります。
 - スマートフォンとの通信がないまま12時間経過した場合
 - カードを抜き差しした場合
 - 電池交換をした場合
 - 電池の本体内容電中に充電エラーが発生した場合
- **[バックグラウンド通信]**が**[On]**の場合、**ON/OFF**レバーを**ON**の位置に合わせてもカメラの電源がすぐにオンにならない場合があります。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。📷「画像の転送予約をする(シェア予約)」(P.117)

1 カメラの[スマートフォン接続]を開始します (P.199)。

- モニター画面の📶にタッチしても接続できます。
- 接続設定済みの場合は、自動的に接続を開始します。
- 接続すると、画面に📶1が表示されます。



2 OI.Shareを起動して、写真転送ボタンをタップします。

- カメラ内の画像が一覧で表示されます。

3 転送したい写真を選択し、保存ボタンをタップします。

- 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。



- 📱 (セットアップメニュー)の[Wi-Fi/Bluetooth設定]で次の設定をしておくと、カメラの電源がオフのときもスマートフォンの操作(手順2、3)だけで画像を転送できます。
 - [Wi-Fi/Bluetooth] : [On]
 - [バックグラウンド通信] : [On]

カメラの電源オフ時に自動で画像を転送する

次の準備をしておく、カメラの電源オフ中に自動でスマートフォンに画像を転送します。


- カメラで画像にシェア予約をつける(P.117)。
- 電源オフ時の無線接続を有効にする(P.200)。
- スマートフォンがiOSの場合、あらかじめスマートフォンでOi.Shareを起動しておく。



- スマートフォンがiOSの場合、ご家庭のWi-Fi ルーター等ほかのアクセスポイントに接続されていると自動で接続されません。その場合は、Oi.Shareの写真転送機能をご利用ください。
- スマートフォンによっては、スマートフォンがスリープ状態では画像の転送が停止する場合があります。その場合は、スマートフォンがスリープ状態にならないようにしてお使いください。

スマートフォンからリモート撮影する

カメラをスマートフォンから操作してリモート撮影ができます。

- 1** カメラの[スマートフォン接続]を開始します。
 - モニター画面のにタッチしても接続できます。
- 2** Oi.Shareを起動して、リモコンボタンをタップします。
- 3** シャッターボタンをタップして撮影します。
 - 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。
 - 使用できる撮影機能に一部制限があります。

画像に位置情報をつける


スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送することで、GPSログを記録していた間に撮影した写真にGPSタグを追加できます。

1 カメラで撮影を始める前に、スマートフォンでOI.Trackを起動してGPSログの記録を開始します。


- GPSログ記録開始前に、時刻を同期するためにカメラを一度OI.Trackに接続し、OI.Trackの設定画面で日時の同期を行う必要があります。
- GPSログ記録中は、電話や他のアプリの使用はできますが、OI.Trackは終了させないでください。

2 カメラで撮影が終わったら、OI.TrackでGPSログの記録を終了します。

3 カメラのモニター画面でをタッチして、スマートフォンと接続します。

- 再生メニューの【スマートフォン接続】からも接続できます。

4 OI.TrackでGPSログをカメラに転送します。

- カメラに転送されたGPSログを元に、手順1の後に撮影した画像に位置情報が付与されます。
- 位置情報が付与された画像には、が表示されます。
- 位置情報付与機能はGPS機能を搭載したスマートフォンでのみ使用できます。
- ムービーには位置情報は付与されません。

Wi-Fi/Bluetooth®設定を初期化する

[Wi-Fi/Bluetooth設定]の設定内容を初期化します。

- 1 1セットアップメニューで[Wi-Fi/Bluetooth設定]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 [Wi-Fi/Bluetooth設定リセット]を選択し、十字ボタンの**▷**を押します。
- 3 [実行]を選択し、**OK**ボタンを押します。
 - 次の項目が初期化されます。

メニュー項目	初期値
Wi-Fi/Bluetooth	On
接続パスワード設定	— (ランダム生成) *
バックグラウンド通信	Off*

* スマートフォンとの接続設定も初期設定(未接続の状態)になります。

パスワードを変更する

Wi-Fi/Bluetooth接続で使うパスワードを変更します。

- 1 1セットアップメニューで[Wi-Fi/Bluetooth設定]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 [接続パスワード設定]を選択し、十字ボタンの**▷**を押します。
- 3 操作ガイドに従って**◎**ボタンを押します。
 - 新しいパスワードに設定されます。
 - Wi-Fi接続のパスワードとBluetooth接続のパスコードが両方とも変更されます。
 - パスワード変更後は、再度スマートフォンとの接続設定を行ってください。🔗 「スマートフォンとの接続設定をする」(P.199)

Wi-Fi/Bluetooth®機能をオフにする

無線LAN/Bluetooth®機能を無効にします。

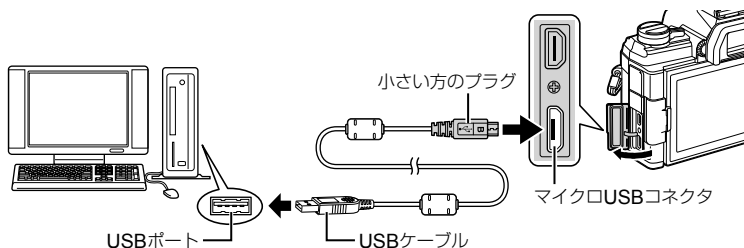
- 1 設定メニューで**[Wi-Fi/Bluetooth設定]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。
- 2 **[Wi-Fi/Bluetooth]**を選択し、十字ボタンの**[▶]**を押します。
- 3 **[Off]**を選択し、**[OK]**ボタンを押します。



- カメラの電源をオフにしている間のみ無線LAN/Bluetooth®機能を無効にする場合は、設定メニュー **[Wi-Fi/Bluetooth設定]**の**[バックグラウンド通信]**を**[Off]**に設定してください。🔍 「電源オフ時の無線接続を設定する」(P.200)

6 パソコンと接続する

カメラをパソコンに接続する



- カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使ってください。
- カメラの電源を入ると、モニターに接続先を選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.166)を【オート】に設定してください。

パソコンに画像を取り込んで保存する

接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

Windows : Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10

Mac : OS X v10.9 - v10.11, macOS v10.12 - v10.14

- 1 カメラの電源がオフになっていることを確認し、カメラとパソコンを接続します。
 - USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 2 カメラの電源をオンにします。
 - モニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 3 十字ボタンの△▽を押して【ストレージ】を選択します。ⓧ ボタンを押します。



- 4 カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。

- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン/工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン/自作パソコン
- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- パソコンとカメラを接続したときに、手順3の画面が表示されない場合は、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.166)を【オート】に設定してください。

ソフトウェアのインストール

カメラとパソコンを直接USB接続して使うときには、以下のソフトウェアをインストールしてください。

Olympus Workspace

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集、管理を行うためのアプリケーションソフトウェアです。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては以下をご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアルNoを入力する必要があります。

<https://support.olympus-imaging.com/owdownload/>

7 ご注意

電池／充電器についてのご注意

- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使います。当社純正の充電電池以外は使えません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - パソコンとの接続時。
 - 無線LAN/Bluetooth[®]機能を有効にする。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に付属の充電器で充電を行ってください。
- 長期間(1ヶ月以上)カメラを使わない場合、カメラから電池を取り出して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますのでご注意ください。
- 付属の充電器による充電電池の充電時間は、通常約3時間30分(目安)です。
- 付属の電池は専用の充電器以外は使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。
- 指定以外の電池を使った場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「使用上のご注意」(P.247)に従って廃棄してください。

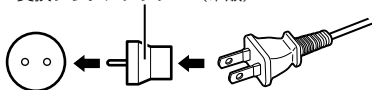
7

ご注意

海外での使用について

- 充電器は、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター（市販）が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター（市販）は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

変換プラグアダプター（市販）



- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

カードについて

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで利用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード（市販）です。使用できるカードの最新情報は当社ホームページをご確認ください。



7

ご注意

SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



- 初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。
- SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている場合は、再生の一部の機能などで制限があります。

交換レンズについて

撮影シーン、目的に合わせてレンズを交換します。M.ZUIKO DIGITAL という商品名、または右のマークのついている「マイクロフォーサーズシステム専用」の交換レンズが使えます。



また、フォーサーズシステムのレンズやOMシステムのレンズを使うこともできます。その場合は別売のアダプターが必要です。

- ボディキャップやレンズの着脱を行うときは、カメラ内部へのゴミや異物の侵入を防ぐため、レンズの装着部を下に向けて行ってください。
- ほこりの多い場所ではボディキャップの取り外しや、レンズの装着を行わないでください。
- カメラに取り付けられたレンズを、太陽に向けしないでください。太陽光が焦点を結んで故障や火災の原因になることがあります。
- ボディキャップ、リアキャップをなくさないようにご注意ください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。

■ レンズとカメラの組み合わせ

レンズ	カメラ	装着	AF	測光
マイクロフォーサーズマウント規格レンズ	マイクロフォーサーズマウント規格カメラ	可	可	可
フォーサーズマウント規格レンズ		マウントアダプター装着で可	可*1	可
OMシステムレンズ		装着で可	不可	可*2

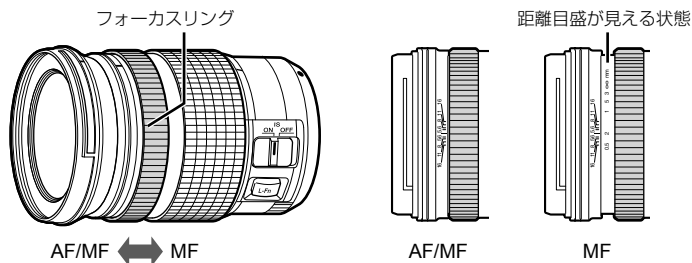
*1 ムービー撮影中のAFは動作しません。

*2 正確な測光はできません。

MFクラッチを搭載したレンズについて

MFクラッチ(マニュアルフォーカスクラッチ)機構を搭載したレンズでは、フォーカスリングの位置を変えることによって、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- お使いになる前に、フォーカスリングの状態を確認してください。
- フォーカスリングをAF/MFの位置(レンズ先端側)にするとオートフォーカスになり、MFの位置(カメラボディ側)にするとカメラのAF方式の設定に関わらずマニュアルフォーカスになります。



- カメラのAF方式が【MF】または【PreMF】の場合は、フォーカスリングをAF/MFの位置に切り換えても、オートフォーカスでの撮影はできません。

7

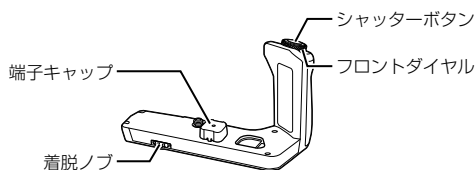
ご注意

別売品を使う

カメラグリップ(ECG-5)

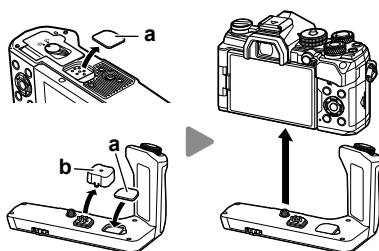
大型のレンズを装着してもカメラを安定して保持することができます。
取り付け、取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。

■ 各部名称



■ 取り付け

カメラ底面の端子カバー (a)とECG-5の端子キャップ(b)を外してECG-5を取り付けます。装着したらECG-5の着脱ノブをしっかりと閉めてください。ECG-5を取り付けていないときは、必ず端子カバーをカメラに取り付けてください。



端子カバー (a)はECG-5に収納できます。

■ 主な仕様(ECG-5)

大きさ	約128.4 mm (幅)× 76 mm (高さ)× 60.2 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約121 g (端子キャップを除く)
防滴機能 (カメラ装着時)	種類 保護等級1級(IPX1) : JIS C0920/IEC60529

- 着脱ノブは、爪を使って回さないでください。けがをすることがあります。
- ご使用になるカメラの動作保証温度範囲内でご使用ください。
- 本機をほこりや湿気の多い場所で使用、保管しないでください。
- 本機の接点には触らないようにしてください。
- 本体、端子等の汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。濡れた雑巾やシンナー、ベンジン等の有機溶剤で洗浄しないでください。

専用外部フラッシュ

専用外部フラッシュを使うとカメラでフラッシュの発光モードを設定して撮影することができます。フラッシュの機能や操作については、それぞれのフラッシュの取扱説明書をお読みください。

発光量やマクロ撮影など、目的に合わせて選べます。専用外部フラッシュは、カメラとの通信機能により、TTL-AUTO、スーパーFP発光など多彩な調光モードが使えます。カメラのホットシューに取り付ける以外にも、専用のブラケットケーブル(別売)とフラッシュブラケットを使って撮影することもできます。また、このカメラは以下のワイヤレスフラッシュシステムに対応しています。


電波通信ワイヤレスフラッシュ：CMD、CMD、RCV、X-RCVモード

電波通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。フラッシュの設置方法の自由度がひろがります。対応したフラッシュ同士または、電波コマンダー/レーザーを使って非対応のフラッシュをコントロールすることもできます。

ワイヤレスRCフラッシュ：RCモード

光通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます(P.95)。

■ 専用フラッシュの機能比較

型名	調光モード	GN (ガイドナンバー) (ISO100時)	対応ワイヤレスシステム
FL-700WR	TTL-AUTO、MANUAL、 FP TTL AUTO、 FP MANUAL、MULTI、 RC、SL MANUAL	GN42 (75mm<150mm>*1時) GN21 (12mm<24mm>*1時)	CMD、  CMD、RCV、 X-RCV、RC
FL-900R	TTL-AUTO、 AUTO、MANUAL、 FP TTL AUTO、	GN58 (100mm<200mm>*1時) GN27 (12mm<24mm>*1時)	RC
FL-600R	FP MANUAL、MULTI、 RC、SL AUTO、 SL MANUAL	GN36 (42.5mm<85mm>*1時) GN20 (12mm<24mm>*1時)	RC
STF-8	TTL-AUTO、MANUAL、 RC*2	GN8.5	RC*2



*1 カバーできるレンズ焦点距離(<>の数値は35mmフィルムカメラ換算)

*2 コマンダー(発信側)としてのみ働きます。

ワイヤレスRCフラッシュ撮影

ワイヤレスRCフラッシュ対応の専用フラッシュを使うとワイヤレスフラッシュ撮影ができます。カメラに装着したフラッシュで他のフラッシュをリモート制御します。カメラに装着したフラッシュと3つのグループのフラッシュを別々に発光制御できます。カメラとリモート操作するフラッシュの双方をRCモードに設定する必要があります。

■ RCモードの設定をする

- 1 ワイヤレスRCフラッシュをRCモードに設定して、配置します。
 - 専用外部フラッシュの電源を入れ**MODE**ボタンを押して、RCモードにします。
 - 専用外部フラッシュのチャンネルとグループを設定します。
- 2  撮影メニュー 2 (P.125)の[ RCモード撮影]を[On]にし、**OK**ボタンを押します。
 - 撮影画面に戻ります。
 - 画面に**RC**が表示されます。

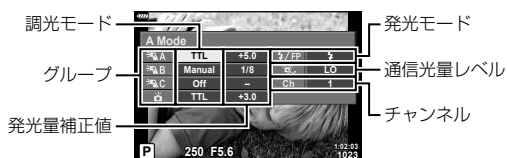
- 3 **OK**ボタンを押します。
 - RCモード用スーパーコンパネが表示されます。
 - RCモードに設定されているときでも、**INFO**ボタンを押すと通常のスーパーコンパネを表示できます。表示は**INFO**ボタンを押すたびに切り換わります。



RCモード用
スーパーコンパネ

4 発光の設定をします。

- 十字ボタンの△▽◀▶で項目を選択し、フロントダイヤルで設定を選択します。



グループ	コントロールするグループを示しています。グループ別に同時に複数のフラッシュをコントロールできます。☑はカメラに装着したフラッシュの設定です。
調光モード	調光モードを選択します。
発光量補正值	発光量の補正值を選択します。発光モードをMANUALにしたときは発光量の選択をします。
通信光量レベル	通信をするためのフラッシュ光の強さを選択します。遠距離の場合は【HI】を選択します。全てのグループに共通の設定です。
発光モード/発光量	⚡(通常の発光)かFP(スーパーFP発光)かを選択します。スーパーFP発光では、同調速度以上のシャッター速度でもフラッシュが使用できます。全てのグループに共通の設定です。
チャンネル	通信に使用するチャンネルを選択します。周囲に光るものなどが混信するときは、チャンネルを変更してください。

5 カメラに装着したフラッシュの設定を【TTL AUTO】にします。

- FL-LM3をお使いのときは、カメラの設定のみです。

■ フラッシュを設置する

1 ワイヤレスRCフラッシュをRCモードに設定します。

- 専用外部フラッシュの電源を入れ**MODE**ボタンを押して、RCモードに設定しておきます。
- 専用外部フラッシュで制御するグループを設定して、通信のチャンネルをカメラの設定と合わせます。

2 フラッシュを配置します。

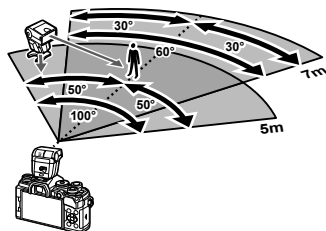
- ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置します。

3 カメラとフラッシュの充電完了を確認してから撮影します。

■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

図は設置範囲の目安です。カメラ側に装着したフラッシュや周辺環境により異なります。

FL-LM3装着時



- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台を推奨します。
- 4秒を超える後幕シンクロ撮影や低振動モードの場合は、ワイヤレスフラッシュ撮影できません。
- 低振動撮影時および静音撮影時の撮影待ち時間は4秒に制限されます。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。カメラ側フラッシュをディフューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

7

ご注意

市販のフラッシュについて

市販のフラッシュをカメラのホットシューに接続して使用する場合は、次のことにご注意ください。

- X端子に約24V以上の電圧がかかる古いタイプの市販フラッシュを接続すると故障します。
- 当社規格外の通信端子のあるフラッシュを接続すると故障する可能性があります。
- 撮影モードを**M**にして、シャッター速度をフラッシュの同調速度以下にして、ISO感度を**[AUTO]**以外でお使いください。
- フラッシュで調光する場合は、フラッシュにカメラのISO感度と絞り値を設定する必要があります。フラッシュによる明るさを調整するには、いずれかをシフトします。
- レンズにあった照射角のフラッシュをお使いください。通常、照射角は35mmフィルムカメラ換算の焦点距離で表します。

主なアクセサリーについて

■ リモートケーブル(RM-CB2)

マクロ撮影やバルブ撮影時などでシャッターボタン押下げによるカメラの振動を避けたいときに使います。カメラのリモートケーブル端子(P.12)に接続して使用します。

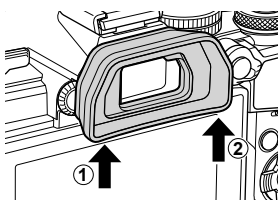
■ コンバーターレンズ

レンズに取り付けることで、手軽に魚眼撮影やマクロ撮影ができます。組み合わせ可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

■ アイカップ(EP-16)

大型のアイカップに交換することができます。

取り外し



システムチャート



□ : E-M5 Mark III対応製品

■ : 市販製品

最新情報は当社ホームページをご確認ください。

*1 HDMIケーブルは市販製品をお求めください。

*2 アダプターと組み合わせて使用できるレンズには制限があります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

*3 取り付け可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

レンズ



マイクロフォーサーズシステムレンズ群



MMF-2/MMF-3*2
フォーサーズアダプター



フォーサーズシステム
レンズ群

コンバーター レンズ*3

FCON-P01
フィッシュアイ

WCON-P01
ワイド

MCON-P01
マクロ

MCON-P02
マクロ

フラッシュ



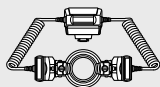
FL-LM3
エレクトロニックフラッシュ



FL-900R
エレクトロニックフラッシュ



FL-700WR
エレクトロニックフラッシュ



STF-8
マクロフラッシュ



FC-WR
電波式ワイヤレスコマンダー



FR-WR
電波式ワイヤレスレシーバー

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源をオフにして、電池を取り外します。

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使った場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ：

- 市販のレンズブローアードでほこりを吹き払います。レンズはレンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

カメラの保管

- 長期間、カメラを使わないときは、電池とカードを外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。
- ボディキャップ、リアキャップはゴミやほこりを落としてから装着してください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。また、必ず前後のレンズキャップを取り付けて保管してください。
- 使用後は清掃して保管してください。
- 防虫剤のあるところに保管しないでください。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。
- 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確認してください。

撮像素子のクリーニングとチェック

このカメラは撮像素子にゴミが付着しない構造にするとともに、撮像素子前面に付着したゴミやほこりを超音波振動により、払い落とす機能を備えています(ダストリダクション機能)。ダストリダクション機能は、カメラの電源をオンにしたときに働きます。また撮像素子と画像処理回路のチェックを行うピクセルマッピングを働かせる際にも同時に作動します。カメラの電源をオンにするときはダストリダクションが働きますので、カメラをできるだけ正位置にしてください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

- 1 カスタムメニュー **11**の[ピクセルマッピング] (P.172)を選択します。
- 2 十字ボタンの▷を押して、Ⓜボタンを押します。
 - ピクセルマッピング実行中の[処理中]バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。
 - 誤って処理中にカメラの電源をオフにしてしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書に従ったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の製造打ち切り後、7年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修用性能部品の有無、及び保有している場合はその期間(製造打ち切り後7年間の目安に保有いたします)等に応じ、当社の判断で、本製品の修理または同等品への交換(製品交換)のいずれかにて対応させていただきます。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

こんなときは？

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない

- 充電器で電池を充電してください。

低温下であり、一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温では性能が低下します。カメラから電池を取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラが自動的に電源オフになっていた

- 低消費電力モードをOnにすると、設定した時間何も操作しないとスリープモードになります。シャッターボタンを半押しすると復帰します。
- カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入ります。🔋【スリープ時間】(P.172)
さらに、スリープモード中に設定した時間が経過するとカメラの電源がオフになります。🔋【自動電源Off】(P.172)

フラッシュが充電中である

- モニターの⚡マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待つてからシャッターボタンを押してください。

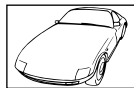
ピント合わせができなかった

- 被写体に近すぎる場合やオートフォーカスの苦手な被写体の場合は、ピント合わせができません。(モニターの合焦マークが点滅します。)被写体との距離を十分にとったり、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。

オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

合焦マーク点滅
このようなものには
ピントが合いません。



コントラストがはっきりしない被写体

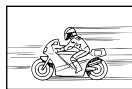


画面中央に極端に明るいものがある場合

合焦マークは点灯するが、写したいものにピントが合わない。



遠いものと近いものが混在する場合



動きの速いもの



被写体がAFターゲット内でない

長秒時ノイズ低減が作動している

- 夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間、次の撮影はできません。【長秒時ノイズ低減】は【Off】に設定することもできません。
☞ 【長秒時ノイズ低減】(P.167)

AFターゲットの数が少なくなった

【デジタルテレコン】(P.128)、【アスペクト】(P.85)、グループターゲット(P.63)の設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。☞ 「初期設定をする」(P.25)

カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります(当社試験条件による)。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

設定した機能が元に戻ってしまう

撮影モードが**AUTO** (📷)、**SCN**のときは、モードダイヤルを回したり電源をオフすると設定した機能が初期設定に戻ります。また、撮影モードが**C**のときは、登録されている内容に戻ります。

撮影した画像が全体的に白っぽい

逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストといわれる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。レンズフードを使って光源から直接レンズに光があたらないようにします。レンズフードでも効果がない場合は手などをかざして光を遮ってみましょう。☞ 「交換レンズについて」(P.210)

被写体がない明るい点が写り込む

撮像素子のドット抜けの可能性ががあります。【ピクセルマッピング】を行ってください。また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。☞ 「画像処理機能をチェックするーピクセルマッピング」(P.221)

メニューで選べない機能がある

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選べない項目がある場合があります。

- 現在の撮影モードで設定できない項目の場合
- 設定済みの項目との組み合わせにより設定できない場合
【📷】(P.69)と【長秒時ノイズ低減】(P.167)の組み合わせなど

被写体が歪んで写る

以下の機能では電子シャッターを使います。



ムービー撮影(P.56) / 静音撮影(P.72) / プロキャプチャー撮影(P.72) /
ハイレゾショット(P.74) / フォーカスブラケット撮影(P.132) / 深度合成(P.132)

動きの速い被写体の撮影やカメラを激しく動かした撮影をすると画像に歪みが出ます。カメラを激しく動かした撮影は避けるか、通常の連写で撮影してください。

画像にすじが写る





電子シャッターを使った以下の機能では、蛍光灯やLED照明の光源下では、フリッカーなどにより画像にすじが写ることがあります。

ムービー撮影(P.56) / 静音撮影(P.72) / プロキャプチャー撮影(P.72) /
ハイレゾショット(P.74) / フォーカスブラケット撮影(P.132) / 深度合成(P.132)

シャッター速度を遅くして撮影すると軽減できる場合があります。また、フリッカーキャンを使って撮影すると軽減される場合があります。☞  **フリッカーキャン** (P.192)、 **フリッカーキャン** (P.146)

エラーコード

モニター表示	原因	対処方法
 カードを認識できません	カードが入っていません。または認識できません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
 このカードは使用できません	カードに問題があります。	もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。(P.209)
 撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。
 カード残量がありません	カードに十分な空き容量がありません。	大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。撮影してから再生してください。
 この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
日時を設定してください	日時が未設定です。	日時を設定してください(P.25)。

モニター表示	原因	対処方法
 ! °C/°F		カメラの電源をオフにして、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がる までお待ちください	連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。	しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。
 電池残量がありません	電池残量がありません。	充電してください。
 接続されていません	カメラがパソコンやHDMI機器に正しく接続されていません。	正しく接続しなおしてください。
ズームリングを回し 繰り出してください	沈胴式レンズの、レンズが沈胴したままになっています。	レンズを繰り出してください。
レンズの状態を確認してください	レンズとの間でエラーが発生しています。	カメラの電源をオフにして、レンズとの接続状態を確認してから電源を入れなおしてください。

機能と初期設定一覧

*1: [カスタム登録]が登録可能な機能

*3: [リセット] (標準)で初期設定に戻る機能

*2: [リセット] (フル)で初期設定に戻る機能

LVコントロール / LVスーパーコンパネ

撮影モード	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍
P/A/S/M/B	ISO感度	Auto	✓	✓	✓	78
	フラッシュ		✓	✓	✓	92
	フラッシュ補正	±0	✓	✓	✓	95
	マニュアル発光量	FULL (フラッシュを [MANUAL]に設定時)	✓	✓	✓	93
	手ぶれ補正	S-IS Auto	✓	✓	✓	84
	ホワイトバランス	Auto ([WBオート電球色残し]は [On])	✓	✓	✓	81
	WB補正A	±0	✓	✓	—	83
	WB補正G	±0	✓	✓	—	
	色温度	5400K ([WBモード]を[CWB] に設定時)	✓	✓	—	81
	AFターゲット選択	中央/シングル(1点)	✓	✓	✓	63
	AF方式	S-AF	✓	✓	✓	78
	顔優先	顔・瞳優先On	✓	✓	—	65
	測光		✓	✓	✓	85
	画質モード	F (ハイレゾショット設定時: F+RAW)	✓	✓	✓	86
	画質モード		✓	✓	✓	87
	ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓	96
	シャープネス	±0	✓	✓	—	99
	コントラスト	±0	✓	✓	—	99
	彩度	±0	✓	✓	—	99
	階調	階調標準	✓	✓	—	100
	効果	— ([ピクチャーモード]を [i-Finish]に設定時: Standard)	✓	✓	—	102
	フィルター効果	— ([ピクチャーモード]を[モノトーン] に設定時: N:無し)	✓	✓	✓	101
	調色	— ([ピクチャーモード]を[モノトーン] に設定時: N:無し)	✓	✓	✓	102
	アスペクト	4:3	✓	✓	✓	85
カラー設定	sRGB	✓	✓	✓	103	
ハイライト&シャドウ コントロール	<input checked="" type="checkbox"/> (±0)	✓	✓	✓	104	
ムービー録音	On	✓	✓	✓	148	

撮影モード	機能	初期設定	*1	*2	*3	☰
ムービー	ISO感度	[モード]を[P] / [A] / [S]に設定時：Auto (固定) [モード]を[M]に設定時：200	✓	✓	✓	78
	フラッシュ	発光禁止(固定)	—	—	—	—
	フラッシュ補正	±0 (固定)	—	—	—	—
	手ぶれ補正	M-IS II	✓	✓	✓	84
	ホワイトバランス	Auto ([WBオート電球色残し]は[On])	✓	✓	✓	81
	WB補正A	±0	✓	✓	—	81
	WB補正G	±0	✓	✓	—	—
	色温度	5400K ([WBモード]を[CWB]に設定時)	✓	✓	—	81
	AFターゲット選択	中央/シングル(1点)	✓	✓	✓	63
	AF方式	C-AF	✓	✓	✓	78
	顔優先	顔・瞳優先On	✓	✓	—	65
	測光	(固定)	—	—	—	—
	画質モード		✓	✓	✓	87
	ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓	96
	シャープネス	±0	✓	✓	—	99
	コントラスト	±0	✓	✓	—	99
	彩度	±0	✓	✓	—	99
	階調	階調標準	✓	✓	—	100
	アスペクト	16:9 (固定) [画質モード]をC4Kに設定時： 17:9	—	—	—	—
	カラー設定	sRGB (固定)	—	—	—	—
ハイライト&シャドウコントロール	<input checked="" type="checkbox"/> (±0)	✓	✓	✓	104	
モード	P	—	✓	—	145	
ムービー録音	On	✓	✓	✓	148	
RCモード	A グループA	TTL	✓	✓	✓	214
	B グループB	Off	✓	✓	✓	
	C グループC	Off	✓	✓	✓	
	カメラ側フラッシュ	Off	✓	✓	✓	
	発光量補正值	±0 (TTL、Auto時)	✓	✓	✓	
	発光量	1/1 (Manual時)	✓	✓	✓	
	/FP	(通常発光)	✓	✓	✓	
	レベル	Low	✓	✓	✓	
	チャンネル	1	✓	✓	✓	

📷 撮影メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
📷	リセット/ カスタム設定	リセット	—	—	✓	—	125, 126	
		カスタム登録	撮影モード: P 画質モード: F+RAW					
		カスタム呼出	—					
	ピクチャーモード		📷 Natural	✓	✓	✓	96, 127	
	📷 画質モード		F (ハイレゾショット 設定時: F+RAW)	✓	✓	✓	86, 127	
	アスペクト比設定		4:3	✓	✓	✓	85	
	デジタルテレコン		Off	✓	✓	✓	128	
	📷/📷/📷		—	✓	✓	✓	69	
		📷/📷	☐	✓	✓	✓		
		📷/📷	インターバル撮影設定	Off	—	✓	✓	129
			コマ数	99				
			撮影開始待ち時間	00:00:01				
			撮影間隔	00:00:01				
			タイムラプス動画	Off				
		タイムラプス 動画設定	ムービー サイズ FullHD					
		フレーム レート	10fps					
📷	ブラケット撮影		Off	✓	✓	✓	130, 130, 131, 132	
	AE BKT		3f 1.0EV					
	WB BKT	A-B	Off					
		G-M						
	FL BKT		Off					
	ISO BKT		Off					
	ART BKT		Off					
	Focus BKT		Off					
		深度合成	Off					
		撮影枚数	99					
		フォーカスステップ	5					
		🔋 充電待ち時間	0秒	✓	✓	—		
	HDR撮影		Off	✓	✓	✓	135	
	多重露出撮影	コマ数	Off	—	✓	✓	137	
		自動ゲイン補正	Off					
		再生画+多重	Off					
	デジタルシフト撮影		Off	✓	✓	✓	139	

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍
2	低振動[🔊]/ 静音[🔇]撮影	低振動[🔊]撮影	[🔊]0秒	✓	✓	—	140
		静音[🔇]撮影	[🔇]0秒				
		静音[🔇]長秒時ノイズ低減	Off				
		静音[🔇]撮影時動作	—				
		電子音	禁止	✓	✓	—	
		AFイルミネーター	禁止				
		フラッシュ	禁止				
ハイレゾ ショット	ハイレゾショット	📷0秒	✓	✓	—	141	
	🔌充電待ち時間	0秒					
	🔌RCモード撮影	Off	✓	✓	✓	141, 214	

📺 動画メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍		
📺	📺モード設定	📺モード	P	—	✓	—	145		
		📺フリッカーキャン	Off	—	✓	✓			
	📺画質設定	📺画質モード	MOV📺4K 30p	✓	✓	✓			
		📺高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓			
		📺ピクチャーモード	Off	✓	✓	—			
	📺AF/手ぶれ 補正設定	📺AF方式	C-AF	✓	✓	✓		78, 84, 142	
		📺手ぶれ補正	M-IS📺	✓	✓	✓			
	📺ボタンダイヤルレバー								143
	📺	📺ボタン機能	ISOボタン機能	ISO感度	—	✓		—	
			📺ボタン機能	📺	—	✓		—	
📺ボタン機能			📺REC	—	✓	—			
📺ボタン機能			AEL/AFL	—	✓	—			
📺ボタン機能			Off	—	✓	—			
📺ボタン機能			📺	—	✓	—			
📺ボタン機能			📺	—	✓	—			
📺ボタン機能			ダイレクト機能	—	✓	—			
📺ボタン機能			WB	—	✓	—			
📺ボタン機能			電動ズーム	—	✓	—			
📺ダイヤル 機能	📺	P	📺：露出補正 📺：露出補正	—	✓	—			
		A	📺：露出補正 📺：絞り	—	✓	—			
		S	📺：露出補正 📺：シャッター速度	—	✓	—			
		M	📺：絞り 📺：シャッター速度	—	✓	—			
📺Fnレバー機能		mode2	—	✓	—				
📺シャッターボタン機能		📺	—	✓	—				
📺電動ズーム速度		標準	—	✓	—				

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍
🔍	🔍表示設定						144
	🔍Control表示		LVコントロール、 LVスーパーコンパネ	—	✓	—	
	🔍Info表示		カスタム表示1 (動画 エフェクト以外すべて On)	—	✓	—	
	タイムコード 設定	タイムコードモード	DF	—	✓	—	
		カウントアップ方式	レックラン	—	✓	—	
		タイムコード値設定	0:00:00	—	✓	—	
	ムービー録音			On	✓	✓	
録音レベル 調整	内蔵🔊	±0	—	✓	—		
	MIC🔊	±0	—	✓	—		
🔊入力リミッター		On	—	✓	—		
風切り音低減		Off	—	✓	—		
録音レート		48kHz/16bit	—	✓	—		
🔊プラグインパワー		On	—	✓	—		
PCMレコー ダー🔊接続	カメラ側録音調整	有効	—	✓	—		
	スレートトーン	Off	✓	✓	—		
	🔊REC同期	Off	✓	✓	—		
🔍HDMI出力	出力モード設定	モニターモード	—	✓	—	144	
	RECトリガー	Off	✓	✓	—		
	タイムコード	On	✓	✓	—		

▶ 再生メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
▶	回転再生		On	✓	✓	✓	151	
	編集	画像選択	RAW編集	—	—	—	—	151
			JPEG編集	—	—	—	—	152
			ムービー編集	—	—	—	—	154
			録音	—	—	—	—	120
		画像合成	—	—	—	—	153	
	プリント予約		—	—	—	—	118	
	全プロテクト解除		—	—	—	—	156	
	全シェア予約解除		—	—	—	—	156	
	スマートフォン接続		—	—	—	—	199	

📁 セットアップメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
📁	カードセットアップ	—	—	—	—	158	
	日時設定	—	—	—	—	25	
		English	—	—	—	27, 157	
	モニター調整	♯±0、※±0、Natural	✓	✓	—	157	
	撮影確認	0.5秒	✓	✓	—	157	
	Wi-Fi/ Bluetooth設定	Wi-Fi/Bluetooth	On	—	✓	—	205
		接続パスワード設定	—	—	—	—	204
		バックグラウンド通信	Off	—	✓	—	200
		Wi-Fi/Bluetooth設定 リセット	—	—	—	—	204
	バージョン	—	—	—	—	157	

✳️ カスタムメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
✳️	AF/MF						
	A1 AF方式	S-AF	✓	✓	✓	78, 159	
	AEL/AFL モード	S-AF	mode1	✓	✓	✓	159, 173
		C-AF	mode2				
		MF	mode1				
	AFスキャン	mode2	✓	✓	✓	159	
	C-AF追従感度	±0	✓	✓	✓	174	
	C-AF中央スタート	📍 (オールターゲット)	✓	✓	✓	175	
	C-AF中央優先	5点 / 9点 / 25点	✓	✓	✓	176	
	A2 [::]Mode表示設定	すべてOn	✓	✓	✓	160	
	AFターゲット表示	On1	✓	✓	✓	160	
	AFターゲットパッド	Off	✓	✓	✓	160	
	[::]Home登録	AFターゲットモード、 AFターゲット位置	✓	✓	✓	177	
	[::]カスタム設定	セット1	✓	✓	✓	160	
		[::]Mode変更	✓	✓	✓		
		⊙変更	✓	✓	✓		
		⇄Pos変更	✓	✓	✓		
		⇄Pos変更	✓	✓	✓		
	A3 AFリミッター	Off	✓	✓	✓	161	
	距離設定	セット1	✓	✓	✓		
	リリース優先	On	✓	✓	✓		
	AFイルミネーター	On	✓	✓	✓	161	
	⊙顔優先	👤	✓	✓	—	65, 161	
AF微調節*	Off	✓	✓	✓	161		

* 記憶されている情報は、【リセット】（フル/標準）でも消去されません。

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
	A4	プリセットMF距離	999.9 m	✓	✓	✓	161	
		MFアシスト	拡大	Off	✓	✓	—	161,
			ピーキング	Off	✓	✓	—	178
		MFクラッチ		有効	✓	✓	✓	161
		フォーカスリング		↻	✓	✓	✓	
		BULB/TIME中MF		On	✓	✓	✓	
		レンズリセット		On	✓	✓	✓	
ボタン/ダイヤル/レバー								
B		ボタン機能	ISO 感度	✓	✓	—	105, 162	
		ボタン機能		✓	✓	—		
		ボタン機能	REC	✓	✓	—		
		ボタン機能	AEL/AFL	✓	✓	—		
		ボタン機能		✓	✓	—		
		ボタン機能		✓	✓	—		
		ボタン機能		✓	✓	—		
		ボタン機能	[:::]	✓	✓	—		
		ボタン機能	Off (/)	✓	✓	—		
		ボタン機能	Off ()	✓	✓	—		
	ボタン機能	AF 停止	✓	✓	—			
	ボタン機能		✓	✓	—	162		
		ダイヤル機能	P	: 露出補正 : Ps	✓	✓	—	162
A			: 露出補正 : 絞り					
S			: 露出補正 : シャッター速度					
M/B			: 絞り : シャッター速度					
Menu			: : /Value					
			: コマ送り/戻し :					
ダイヤル方向	露出設定	ダイヤル1	✓	✓	—	162		
	Ps設定	ダイヤル1						
	Fnレバー機能	mode2	—	✓	—	162, 179		
	Fnレバー /電源レバー	Fn	—	✓	—	162		
	電動ズーム速度	標準	✓	✓	—	162		

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
⚙️	レリーズ/連写/手ぶれ補正						
	📷	レリーズ優先S	Off	✓	✓	✓	163
		レリーズ優先C	On	✓	✓	✓	163
	📷 L設定						163, 180
	📷 / 📷	連写速度	6fps	✓	✓	✓	
		枚数リミッター	Off				
	♥️ 📷	連写速度	10fps				
		枚数リミッター	Off				
	Pro Cap	プリ連写枚数	8枚				
		枚数リミッター	25枚				
	📷 H設定						163, 180
	📷	連写速度	10fps	✓	✓	✓	
		枚数リミッター	Off				
	♥️ 📷	連写速度	30fps				
		枚数リミッター	Off				
	Pro Cap	連写速度	30fps				
		プリ連写枚数	8枚				
		枚数リミッター	25枚				
	フリッカー低減	フリッカーレス LV	オート	✓	✓	—	163, 182
フリッカーレス撮影		Off	✓	✓	—		
📷	📷 手ぶれ補正	S-IS AUTO	✓	✓	✓	84, 163	
	連写中手ぶれ補正	連写速度優先	✓	✓	—	163	
	半押し中手ぶれ補正	On	—	✓	—	163	
	レンズ手ぶれ補正優先	Off	✓	✓	✓	163	

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
⚙️	表示/音/接続							
	D1	📷Control表示	📷	ライブガイド	—	✓	—	164, 184
			P/A/S/M/B	LVスーパーコンパネ	✓	✓	—	
			ART	ARTメニュー	—	✓	—	
			SCN	SCNメニュー	—	✓	—	
		📊Info表示 設定	▶️Info	表示Off、総合表示	✓	✓	✓	164, 186
			🔍Info	すべてOn	—	✓	—	
			LV-Info	表示Off、カスタム表示1 (ヒストグラム表示)、 カスタム表示2 (水準器)	✓	✓	—	
			📊表示	25、カレンダー表示	✓	✓	—	
		ピクチャーモード表示	すべてOn	✓	✓	—	164	
		📷/📊表示設定	📷、📷H、📷H、📷H、📷L、 📷L、📷L、📷L、📷L	✓	✓	—	164	
		マルチFn表示設定	WB、ISO以外すべてOn	✓	✓	—	164	
	D2	LVブースト	M	Off	✓	✓	✓	165
			BULB/TIME	On2				
			COMP	Off				
その他			Off					
		アートLVモード	mode1	✓	✓	—	165	
LV拡大設定		LV拡大モード	mode2	✓	✓	—	165	
		LVブースト	Off	✓	✓	—		
		再生拡大倍率設定	前回倍率	—	✓	—	165	
プレビュー設定		🔒ロック	Off	✓	✓	—	165	
		LVブースト	Off	✓	✓	—		
D3	ガイド線表示 設定	表示色	プリセット1	✓	✓	—	166	
		表示罫線選択	Off	✓	✓	—		
		EVF反映	On	✓	✓	—		
	ピーキング表示	ピーキング色	赤	✓	✓	—	166	
		ピーキング レベル	標準					
		ピーキング背景 の輝度調整	Off					
	ヒストグラム 警告設定	ハイライト表示	255	✓	✓	—	166	
		シャドウ表示	0					
		モードガイド表示	Off	✓	✓	—	166	
		自分撮りアシスト	On	—	✓	—	166, 188	
D4	電子音		On	✓	✓	✓	166	
	HDMI	出力サイズ	1080p優先	—	✓	—	166, 189	
		HDMI コントロール	Off	—	✓	—		
		出力フレーム レート	60p優先	—	—	—		
	USB接続モード		オート	—	✓	✓	166	

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍		
⚙️	露出/ISO/BULB/測光							
	E1	露出基準調整		±0	✓	✓	—	167
		露出ステップ	1/3EV	✓	✓	✓	167	
		ISO感度ステップ	1/3EV	✓	✓	✓	167	
		ISOオート設定	上限/基準値設定	上限値：6400 基準値：200	✓	✓	✓	167
			低速限界設定	オート				
		ISOオート有効	All	✓	✓	—	167	
		高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓	167	
		長秒時ノイズ低減	オート	✓	✓	✓	167	
	E2	BULB/TIMEリミッター	8分	✓	✓	✓	168	
		BULB/TIME輝度設定	-7	✓	✓	—	168	
		ライブBULB設定	Off	✓	✓	—	168, 190	
		ライブTIME設定	0.5秒	✓	✓	—	168, 190	
		コンボジット撮影設定	1秒	✓	✓	—	45, 168, 191	
		フリッカースキャン	Off	✓	✓	✓	168, 192	
	E3	測光		✓	✓	✓	80, 168	
		AEL測光モード	オート	✓	✓	✓	168	
		[::]連動 スポット測光	スポット	On	✓	✓	✓	168
			スポット ハイライト	On	✓	✓	✓	
スポット シャドウ	On		✓	✓	✓			
フラッシュ								
F	同調速度	1/250	✓	✓	✓	168, 193		
	低速制限	1/60	✓	✓	✓	168, 193		
	+ 連動	Off	✓	✓	✓	168		
	+ WB連動	WB AUTO	✓	✓	—	168		

タブ	機能		初期設定		*1	*2	*3		
	画質/WB/色								
	G	画質設定		◀-1 : SF	✓	✓	✓	169, 194	
				◀-2 : F					
				◀-3 : N					
				◀-4 : N					
		ピクセルサイズ	<input checked="" type="checkbox"/> Middle	3200 × 2400	✓	✓	✓		169, 194
			<input type="checkbox"/> Small	1280 × 960					
		シェーディング補正		Off	✓	✓	✓		169
		WBモード		オート A±0、G±0	✓	✓	✓		81, 169
	全WBモード補正	All Set	A±0、G±0	✓	✓	—			
		All Clear	—	—	—	—			
	WBオート 電球色残し		On	✓	✓	✓	169		
	カラー設定		sRGB	✓	✓	✓	103, 169		
	記録/消去								
H1	ファイルネーム		リセット	✓	✓	—	170		
	ファイルネーム編集		—	✓	✓	—	170		
	dpi設定		350dpi	✓	✓	—	170		
	著作権情報	著作権情報記録	Off	✓	✓	—	170		
		撮影者入力	—	—	—	—			
		著作権者入力	—	—	—	—			
レンズ情報登録*		Off	—	✓	—	170, 194			
H2	ワンタッチ消去		Off	✓	✓	✓	171		
	RAW+JPEG消去		RAW+JPEG	✓	✓	✓	171		
	実行優先設定		中止優先	✓	✓	✓	171		
EVF									
I	EVF自動切換設定		On	—	✓	—	171		
	EVF調整	EVF自動調光	Off	✓	✓	—	171		
		EVF調整	±0、±0	✓	✓	—			
	EVF表示スタイル		スタイル3	—	✓	—	171, 195		
	<input checked="" type="checkbox"/> Info表示設定		基本情報表示、 カスタム表示1（ヒストグラム表示）、 カスタム表示2（水準器）	✓	✓	—	171		
	EVFガイド線表示設定	表示色	プリセット1	✓	✓	—	171		
		表示野線選択	Off	✓	✓	—			
	<input checked="" type="checkbox"/> 半押し中水準器表示		On	✓	✓	—	171		
	OVFシミュレーション		Off	✓	✓	✓	171		

* 個別のレンズ情報は【リセット】（フル/標準）でも、初期設定には戻りません。

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3		
	その他						
	J1 ピクセルマッピング	—	—	—	—	172, 221	
	ボタン長押し 時間調整	LV拡大枠/ 拡大表示	0.7秒	✓	✓	—	172
		LV拡大枠位置	0.7秒	✓	✓	—	
		拡大枠	0.7秒	✓	✓	—	
		露出補正值	0.7秒	✓	✓	—	
		設定値	0.7秒	✓	✓	—	
		設定値	0.7秒	✓	✓	—	
		設定値	0.7秒	✓	✓	—	
		AFターゲット 位置	0.7秒	✓	✓	—	
		EVF自動切換 設定	0.7秒	✓	✓	—	
		再生拡大枠/ 拡大表示	0.7秒	✓	✓	—	
		/	0.7秒	✓	✓	—	
		スレートトーン	0.7秒	✓	✓	—	
		デジタルシフト	0.7秒	✓	✓	—	
		デジタルシフト 設定値	0.7秒	✓	✓	—	
		ロック	0.7秒	✓	✓	—	
	BKT撮影	0.7秒	✓	✓	—		
	フリッカー スキャン	0.7秒	✓	✓	—		
	水準器調整	—	—	✓	—	172	
	タッチパネル設定	On	—	✓	—	172	
	メニューカーソル保持	記憶する	✓	✓	—	172	
	フィッシュアイ補正撮影	Off	✓	✓	—	172, 196	
	J2 バックライト時間	Hold	✓	✓	✓	172	
	スリープ時間	1分	✓	✓	✓	172	
	自動電源Off	4時間	✓	✓	✓	172	
	低消費電力撮影	Off	✓	✓	—	172	
		バックライト時間	8秒				
		スリープ時間	10秒				
	認証マーク表示	—	—	—	—	172	

画質設定と記録枚数／記録時間

静止画撮影枚数

SDカード16GB、アスペクト比設定4:3の場合

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル 形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能 枚数
50w F+RAW	10400×7792	ロスレス圧縮	ORF	125	87
	8160×6120	1/4	JPEG	21.7	
	5200×3904	ロスレス圧縮	ORI	21.5	
25w F+RAW	10400×7792	ロスレス圧縮	ORF	125	89
	5760×4320	1/4	JPEG	10.9	
	5200×3904	ロスレス圧縮	ORI	21.5	
50w F	8160×6120	1/4	JPEG	21.7	634
25w F	5760×4320	1/4	JPEG	10.9	1261
RAW	5240×3192	ロスレス圧縮	ORF	21.5	696
L SF	5184×3888	1/2.7	JPEG	13.1	1054
L F		1/4		8.9	1550
L N		1/8		4.6	3013
M SF	3200×2400	1/2.7		5.1	2697
M F		1/4		3.6	3906
M N		1/8		1.9	7397
M SF	1920×1440	1/2.7		2	6975
M F		1/4		1.4	9765
M N		1/8		0.9	16836
S SF	1280×960	1/2.7		1	13562
S F		1/4		0.8	18083
S N		1/8		0.5	28721
S SF	1024×768	1/2.7		0.8	18779
S F		1/4		0.6	24413
S N		1/8		0.3	61032

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は9999までです。

ムービー総記録時間

SDHCカード32GBの場合

ムービーサイズ	圧縮方式	フレームレート	最大録画可能時間
C4K	—	24p	約17分
4K	—	30p/25p/24p	約40分
FHD	A-I	30p/25p/24p	約20分
	SF	60p/50p/30p/25p/24p	約1時間16分
	F		約2時間7分
	N		約3時間22分
HD	A-I	60p/50p/30p/25p/24p	約40分
	SF		約2時間25分
	F		約4時間11分
	N		約5時間32分

- 設定可能な最大フレームレート時。フレームレートの組み合わせや撮影シーンによって、実際に記録されるビットレートは異なります。
- 動画1ファイルは**4GB**に制限されます。**4GB**を超えた場合、新しいファイルが作成され記録を続行します。
- 1回の撮影は最長**29分**に制限されます。

仕様

■ カメラ

型式	
型式	マイクロフォーサーズ規格準拠レンズ交換式カメラ
使用レンズ	M.ZUIKO DIGITAL・マイクロフォーサーズシステムレンズ
レンズマウント	マイクロフォーサーズマウント
35 mmフィルムカメラ 換算焦点距離	レンズ焦点距離の約2倍
撮像素子	
型式	4/3型Live MOSセンサー
総画素数	約2177万画素
カメラ部有効画素数	約2037万画素
画面サイズ	17.4 mm (H) × 13.0 mm (V)
アスペクト比	1.33 (4:3)
ファインダー	
形式	電子ビューファインダー、アイセンサー有り
画素数	約236万ドット
視野率	100%
アイポイント	約27 mm (-1m ⁻¹ 時)
ライブビュー	
センサー	Live MOSセンサー使用
視野率	100%
モニター	
型式	3.0 型TFTカラー液晶、可動式、タッチパネル
総画素数	約104万ドット(アスペクト比 3 : 2)
シャッター	
型式	電子制御式フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/8000 ~ 60秒、バルブ撮影、タイム撮影
オートフォーカス	
型式	ハイスピードイメージャ AF
測距点	121点
測距点選択	自動選択・任意選択
露出制御	
測光方式	TTL測光方式(イメージャ測光) デジタルESP測光/中央重点平均測光/スポット測光
測光範囲	EV -2 ~ 20 (F2.8レンズ、ISO100相当)
撮影モード	☑ : オート / P : プログラムAE (プログラムシフト可能) / A : 絞り優先AE / S : シャッター優先AE / M : マニュアル / B : バルブ(バルブ、タイム、コンボジット) / C : カスタムモード / ☒ : ムービー / ART : アートフィルター / SCN : シーンモード
ISO感度	LOW、200 ~ 25600 (1/3、1ステップ)
露出補正	±5.0EV (1/3、1/2、1EVステップ)

ホワイトバランス	
型式	撮像素子
設定方式	オート/プリセット(7種) / カスタムWB / ワンタッチWB (4件登録可)
記録	
記録媒体	SD / SDHC / SDXC UHS-II対応
記録方式	デジタル記録、JPEG (DCF2.0)、RAWデータ
対応規格	Exif 2.3、DPOF
静止画音声	Waveフォーマットに準拠
ムービー	MPEG-4 AVC/H.264に準拠
音声	ステレオリニアPCM/16bit、サンプリング周波数48kHz ステレオリニアPCM/24bit、サンプリング周波数96kHz
再生	
表示形式	1コマ表示/拡大表示/インデックス表示/カレンダー表示
ドライブ関係	
ドライブモード	1コマ撮影/連写/セルフタイマー
連写性能	最高10コマ/秒(連写 $\frac{1}{2}$ 時) 最高30コマ/秒(静音 $\frac{1}{2}$ / ブロキャプチャー $\frac{1}{2}$ 時)
セルフタイマー	12秒後撮影 / 2秒後撮影 / カスタム
省電力機能	スリープモード移行: 1分、電源OFF: 4時間 (カスタマイズ可)
外部フラッシュ	
調光方式	TTL-AUTO (TTLプリ発光式) / MANUAL
同調速度	1/250秒以下
無線LAN	
対応規格	IEEE 802.11b / g / n
Bluetooth®	
対応規格	Bluetooth Version 4.2 BLE
外部コネクタ	
マイクロUSBコネクタ / HDMIマイクロコネクタ(タイプD)	
電源	
電池	リチウムイオン電池 1個
大きさ・質量	
大きさ	125.3 mm (幅) × 85.2 mm (高さ) × 49.7 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約414 g (電池/カードを含む)
動作環境	
温度	-10℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)
湿度	30% ~ 90% (動作時) / 10% ~ 90% (保存時)
防滴性能	保護等級1級(IPX1): 当社の防滴レンズと組み合わせたときに防滴性能を発揮します。

■ フラッシュ

MODEL NO.	FL-LM3
ガイドナンバー	9.1 (ISO100・m) 12.7 (ISO200・m)
照射角	12mmレンズ(35mmフィルム換算24mm相当)の画角をカバー
大きさ	約43.6 mm (幅) × 49.4 mm (高さ) × 39 mm (奥行き)
質量	約51 g
防滴機能	種類 保護等級1級(IPX1) : JISC0920/IEC60529

■ リチウムイオン電池

MODEL NO.	BLS-50
形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.2 V
公称容量	1210 mAh
充放電回数	約500回(使用する条件により異なります。)
使用周囲温度	0°C ~ 40°C (充電時)
大きさ	約35.5 mm (幅) × 12.8 mm (高さ) × 55 mm (奥行き)
質量	約46 g

■ リチウムイオン充電器

MODEL NO.	BCS-5
定格入力	AC100 V ~ 240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC8.35V、400mA
充電時間	約3時間30分(常温)
使用周囲温度	0°C ~ 40°C (動作時) / -20°C ~ 60°C (保存時)
大きさ	約62 mm (幅) × 38 mm (高さ) × 83 mm (奥行き)
質量(電源コード含まず)	約70 g

- 付属の電源コードは本機専用のケーブルですので他の機器に使用しないでください。また、他の機器のケーブルをこのカメラに使用しないでください。

- 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

9 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのおえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⚠ 危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- 火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高圧容器で加熱しない
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
- 端子を金属類で接続しない
- 電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 高温になる場所で使用・放置しない
直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
- 電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

充電器は誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

充電器が、熱い、異臭や異常音が出る、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- 充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- 充電器を布などで覆った状態で使用しない
- 充電器を分解・改造しない
- 充電器は指定の電源電圧で使用する

⚠ 警告

製品の取扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- ファインダーでの撮影時は、定期的に休憩をとる
目の疲労や気分が悪くなったり、乗り物酔いに似た症状が出る場合があります。
必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。

疲労感、不快感などの異常を感じたときには、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

- フラッシュやLED（AFイルミネーター含む）を人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児や子供の手の届く場所に放置しない
以下のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部でけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをするおそれがあります。
- 内部に水や異物を入れない
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 本機の温度の高い部分に長時間触れない
低温やけどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- 専用の当社製リチウムイオン電池、充電器以外は使用しない
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

- 通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない

充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- 水や海水などの液体で濡らさない
- 濡れた手で触ったり持ったりしない
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- 外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズを付けない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 膨れた電池を無理に機器に取り付けない
発熱、破裂、発火の原因となります。
- 落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 充電器や機器に接続時、無理に接続しない
プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器などに入れない
急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電中や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしない
発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない
- 液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける
火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 発熱、発火、爆発の可能性があるため、低温環境下でリチウムイオン電池を使用しないでください。

充電器の取扱いについて

- コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持つ
電源プラグを持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線LAN / Bluetooth®機能について

- 心臓ペースメーカーを装着している方から15cm以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。必ず無線LAN / Bluetooth®機能もオフにしてください(P.205)。
- 航空機内では電源を切る
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。必ず無線LAN / Bluetooth®機能もオフにしてください(P.205)。

⚠ 注意

製品の取扱いについて

- 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け屋外で行ってください。)
- 濡れた手でカメラを操作しない
故障・感電の原因となることがあります。

- カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する
けがや事故の原因となることがあります。
- 高温になるところに放置しない
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- 乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない
やけどの原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- 長期間保管する場合は、涼しいところに保管してください。
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 当社製リチウムイオン充電電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

充電器の取扱いについて

- 付属の電池は専用の充電器以外は使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。

電源コードの取扱いについて

- 付属の電源コードは、本製品専用のコードですので、他の機器に使用しないでください。また、他の機器のコードを本製品に使用しないでください。

交換レンズの取り扱いについて

- レンズまたは光学ビューファインダー(外付け)で直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障害を起こすことがあります。
- 使用しないときはレンズキャップを付けて保管する
太陽光が入射して、火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。
以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所
 - 激しい振動のある場所
 - カメラを落としたりぶついたりして、強い振動やショックを与えないでください。
 - レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起すことがあります。
 - ファインダーを直射日光や強い光源に向けて放置しないでください。焼きつきを起すことがあります。
 - カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。
 - 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。
ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
 - カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。
使用前には動作点検をされることをおすすめします。
 - テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
 - カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
 - SD/SDHC/SDXCカード以外は、絶対にカメラに入れない
- その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 大切なデータは万一の場合に備え、パソコン等の他の記録媒体に定期的にバックアップしてください。
 - 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
 - カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外(三脚など)は取り外してください。
 - 本体の電気接点部には手を触れないでください。
 - 水につけたり水をかけたりしないでください。
 - 落下したり強い力を加えないでください。
 - 各カバーの開け閉めや電池の交換時は、本機の水分を十分拭き取ってから行ってください。
 - レンズの可動部で保持しないでください。
 - レンズ面に直接触れないでください。
 - 電気回路接点部に直接触れないでください。
 - 急激な温度変化をかけないでください。
 - カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作を繰り返す。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
 - 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起す原因となります。
充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
 - 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

- 一般に電池は低温になるに従って一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するとき、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
- 詳しくは一般社団法人JBRC ホームページ(<https://www.jbrc.com>)をご覧ください。



Li-ion

- モニターは強く押さないでください。
画面上ににじみが残ったり、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。

- モニターの画面上下に光が帯状に見えることがあります。故障ではありません。
- 被写体が斜めるとき、モニターにギザギザが見えることがあります。故障ではありません。

記録される画像には影響ありません。

- 一般に低温になるに従ってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するとき、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。
- 本製品のモニターは、精密度の高い技術でつくられています。一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

本製品を分解、または改造すること
本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定省電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

無線LAN機能

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS/OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m以下です。

2.4DS/OF4

Bluetooth®機能

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するその他変調方式を採用しており、与干渉距離は、10 m以下です。

2.4 XX 1

無線LAN/Bluetooth®機能の使用について

本製品を購入した地域以外での無線LAN/Bluetooth®機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する場合がありますので、当社では一切の責任を負えません。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。本装置は、VCCI協会の運用規程に基づく技術基準に適合した文言、又はマークを画面に電子的に表示しています。表示の操作方法は、取扱説明書の【認証マーク表示】(P.172)に記載しております。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-ACアダプター（USB-ACアダプター対応機種のみ）は、必ず、当製品指定のものをお使いください。

指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Mac、OS X、macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

ApicalロゴはApical Limitedの登録商標です。



Micro Four Thirds / Four ThirdsおよびMicro Four Thirds / Four Thirdsロゴマークはオリンパス(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、オリンパス株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会 (JEITA) で制定された規格「Design rule for Camera File system/ DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/ OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、以下のURLのウェブサイトに必要に応じて準備された **software notice PDF** ファイル内に見出すことができます。

<http://www.olympus.co.jp/en/support/ormsg/digicamera/download/notice/notice.cfm>

10 ファームウェアによる追加・変更

カメラのファームウェアのアップデートにより、以下の機能が追加・変更されます。

ファームウェア Ver1.1の追加・変更機能



EVF自動切換設定

251

ファームウェア Ver1.1の追加・変更機能

EVF自動切換設定

カスタムメニュー（**MENU** → ***** → **EVF** → **[EVF自動切換設定]**）で**[On1]**、**[On2]**が選択可能になりました。

メニュー項目	説明
EVF自動切換設定	<p>[Off]：ファインダーに目を近づけても表示は切り換わりません。表示を切り換えるには[O]ボタンを押します。</p> <p>[On1]：ファインダーに目を近づけると自動的に表示を切り換えます。[O]ボタンを長押しすると[EVF自動切換設定]の設定画面を表示します。</p> <p>[On2]：ファインダーに目を近づけると自動的に表示を切り換えます。モニターを開いているときは、表示は切り換わりません。[O]ボタンを長押しすると[EVF自動切換設定]の設定画面を表示します。</p>

初期設定

新機能の初期設定および初期設定が変更された機能は以下の通りです。

*1：[カスタム登録]が登録可能な機能

*2：[リセット]（フル）で初期設定に戻る機能

*3：[リセット]（標準）で初期設定に戻る機能

* カスタムメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	
*	EVF 自動切換設定	On1	—	✓	—	171

10

ファームウェアによる追加・変更

索引




アイコン

ボタン機能.....	162
RCモード.....	214
低速制限.....	193
同調速度.....	193
+WB連動.....	168
(インデックス再生/ カレンダー再生).....	115
/Info表示設定.....	186
/心表示設定.....	164
H設定.....	163, 180
L設定.....	163, 180
/ (水中ワイド/水中マクロ).....	107
(1コマ消去).....	117
[::]Home登録.....	160, 177
[::]カスタム設定.....	160
[::]連動スポット測光.....	168
[::]Mode表示設定.....	160
(言語切り換え).....	27, 157
(画像選択).....	118
(顔優先AF).....	65
(クローズアップ再生).....	115
Info表示設定.....	171
半押し中水準器表示.....	171
+WB連動.....	168

英数

A (絞り優先撮影).....	37
AdobeRGB.....	103
AEL/AFLモード.....	173
AEL測光モード.....	168
AEロック.....	68, 173
AFイルミネーター (AF補助光).....	161
AFスキャン.....	159
AFターゲット位置.....	64
AFターゲット選択.....	64
AFターゲットパッド.....	160
AFターゲット表示.....	160
AF微調節.....	161

AF方式.....	78
ムービー.....	142
AFリミッター.....	161
ART (アートフィルター).....	53
AUTO (Auto).....	47
BKT (ブラケット撮影).....	130
Bluetooth [®] 接続.....	198
BULB.....	43
BULB/TIME輝度設定.....	168
BULB/TIME中MF.....	161, 178
BULB/TIMEリミッター.....	168
C-AF.....	78
C-AF TR	79
C-AF中央スタート.....	159, 175
C-AF中央優先.....	159, 176
C-AF追従感度.....	159, 174
Control表示	
静止画.....	164, 184
ムービー.....	144
dpi設定.....	170
DPOF.....	118
EVFガイド線表示設定.....	171
EVF自動切換設定.....	171
EVF調整.....	171
EVF表示スタイル.....	195
Exif情報.....	170
Fnレバー機能	
静止画.....	162, 179
ムービー.....	143
Fnレバー /電源レバー.....	162
GPSログ.....	203
HDMI.....	166, 189
HDMI出力.....	144
HDR逆光補正.....	51
HDR撮影.....	135
Home登録 ([::]Home登録).....	160, 177
ICレコーダー.....	149
INFO.....	31, 113, 184

Info表示設定	
 Info表示設定	186
 Info表示設定	171
ISOオート設定	167
ISOオート有効	167
ISO感度	68, 78
ISO感度ステップ	167
LIVE BULB	43, 190
LIVE TIME	43, 190
LV-Info	187
LV拡大設定	165
LVコントロール	185, 227
LVスーパーコンパネ	75, 77, 227
LVブースト	165
M (マニュアル撮影)	41
MFアシスト	178
MF切換	107
MFクラッチ	211
MF (マニュアルフォーカス)	78
OI.Share	198
Olympus Workspace	207
OVFシミュレーション	171
P (プログラム撮影)	35
PreMF	79
Ps (プログラムシフト)	36
RAW	86
RAW+JPEG消去	171
RAW編集	151
RCモード( RCモード撮影)	214
S (シャッター優先撮影)	39
S-AF	78
S-AF MF	78
SCN モード	49
SDカード	209
フォーマット(初期化)	158
sRGB	103
TIME	43
USB接続	206
USB接続モード	166
WBオート電球色残し	82, 169
WBモード	169
Wi-Fi/Bluetooth設定	158

あ

アートLVモード	165
アートフィルター	53
アートフェード	58
アクセサリ	217
アスペクト比設定	85
圧縮率	86, 194, 239
位置情報	203
インストール	207
インターバル撮影	129
インデックス再生	115, 187
オートモード	47
オールドフィルム	58
音声録音	
静止画	120
ムービー	148, 149

か

カード	19, 209
カードセットアップ	158
階調	100
回転	115
回転再生	151
ガイド線表示設定	166
顔優先AF	65
拡大枠AF	66
画質設定	
静止画	169, 194
ムービー	147
画質モード	
静止画	86, 127
ムービー	87, 147
カスタム設定	160
カスタムセルフタイマー	71
カスタム登録	126
カスタムメニュー	159, 232
画像合成	153
画像サイズ	239
静止画	86, 194
ムービー	147
画像転送	201
画像編集	151

カメラグリッブ	212
画面表示	28
再生時	112
カラークリエーター	98
カラー設定	103, 169
カレンダー再生	115, 187
クイック撮影	90
クローズアップ再生	115
言語切り換え	27, 157
言語設定 (●●)	27, 157
効果	102
高感度ノイズ低減	167
交換レンズ	210
合焦音(電子音)	166
コンティニュアスAF	78
コントラスト	99
コンボジット撮影設定	45, 191

さ

再生	
静止画	114, 115
ムービー	114, 116
再生拡大倍率設定	187
再生メニュー	151, 231
彩度	99
撮影	
静止画	32
ムービー	57
撮影確認	157
撮影可能枚数	239
撮影メニュー	125, 229
撮影モード	32
シーンモード	49
シェア予約	117
シェーディング補正	169
実行優先設定	171
自動電源Off	172
自分撮りアシスト	188
絞り優先撮影(A絞り優先撮影)	37
シャープネス	99
シャッター優先撮影 (Sシャッター優先撮影)	39
充電	16

消去	
1コマ消去	117
全コマ消去	158
選択コマ消去	118
初期化	158
シングルAF	78
水準器	31
水準器調整	172
水中ワイド/水中マクロ(📷/📷)	107
スーパーコンパネ	75, 77, 227
スーパースポットAF(拡大枠AF)	66
ストレージ	206
スリープ時間	24
スロー撮影	90
静音撮影	72, 140
静止画切り出し	154
接続	
スマートフォン	198
パソコン	206
セットアップメニュー	157, 232
セルフタイマー	69, 71, 85
全WBモード補正	169
全シェア予約解除	156
全プロテクト解除	156
専用フラッシュ	213
測光	80
ソフトウェア	207

た

タイムコード設定	144
タイム撮影	43
タイムラプス動画	129
ダイヤル機能	
静止画	162
ムービー	143
ダイヤル方向	162
多重露出撮影	137
タッチAF	34
タッチパネル	34, 121
タッチパネル設定	172
縦横比設定(アスペクト比設定)	85
試し撮り撮影	107

長時間露出(BULB/TIME).....	43	ピクセルサイズ.....	169, 194, 239
調色.....	102	ピクセルマッピング.....	221
長秒時ノイズ低減.....	167	ピクチャーモード.....	96, 127
著作権情報.....	170	ピクチャーモード表示.....	164
追尾AF.....	79	ヒストグラム警告設定.....	166
低消費電力撮影.....	172	ヒストグラム表示.....	31
低振動撮影.....	71, 140	ビットレート.....	147
低速制限.....	193	瞳優先AF.....	65
デジタルシフト撮影.....	139	ファイル形式.....	239
デジタルテレコン.....	128	ファイルサイズ.....	239
手ぶれ補正.....	84	ファイルネーム.....	170
ムービー.....	142	ファイルネーム編集.....	170
テレビ.....	189	フィッシュアイ補正撮影.....	196
電子音.....	166	フィルター効果.....	101
電池残量.....	24	フォーカスモード(AF方式).....	78
電動ズーム.....	110	フォーカスリング.....	161
電動ズーム速度.....		フォーマット.....	158
静止画.....	162	ブラケット撮影.....	130
ムービー.....	143	フラッシュ.....	91
動画エフェクト.....	57	フラッシュ低速制限.....	193
動画メニュー.....	142, 230	フラッシュ同調速度.....	193
同調速度.....	193	フラッシュ補正.....	95
トリミング.....		プリセットMF.....	79, 161
静止画.....	152	フリッカーキャン	
ムービー.....	155	静止画.....	192
		ムービー.....	146
な		フリッカー低減.....	163, 182
日時設定.....	25	フリッカーレスLV.....	163, 182
認証マーク表示.....	172	フリッカーレス撮影.....	163, 183
		フレームレート.....	147
は		プレビュー.....	106
バージョン.....	157	プレビュー設定.....	165
ハイダイナミックレンジ(HDR)撮影.....	135	プロキャプチャー撮影.....	72
ハイライト&シャドウコントロール.....	104	プログラム撮影(Pプログラム撮影).....	35
ハイレゾショット.....	74, 141	プログラムシフト.....	36
パソコン.....	206	保護(プロテクト).....	117
バックライト時間.....	172	補助光(AFイルミネーター).....	161
バルブ撮影.....	43	ボタン機能.....	105
半押し中水準器表示.....	171	ムービー.....	143
半押し中手ぶれ補正.....	163		
ピーキング.....	108, 178		
ピーキング表示.....	166		

ボタン長押し時間調整	172
ホワイトバランス	81
ホワイトバランス補正	83
本体内充電	17

ま

マニュアル撮影(Mマニュアル撮影)	41
マニュアルフォーカス(MF)	78
マニュアルフォーカスクラッチ (MFクラッチ)	211
マルチFn	111
マルチFn表示設定	164
マルチエコー	58
マルチファンクション	111
ムービー効果(動画エフェクト)	57
ムービー再生	116
ムービー撮影	56, 57
ムービーテレコン	58
ムービー録音	148, 149
ムービー露出モード	145
無線LAN接続	198
メニュー	123, 227
メニューカーソル保持	172
モードガイド表示	166
モニター調整	157

や

ユーザー登録	7
--------	---

ら

ライトボックス表示	186
ライブBULB設定	190
ライブTIME設定	190
ライブガイド	47
ライブコントロール (LVコントロール)	185, 227
ライブコンポジット撮影	45
リセット	125
リモート撮影	202
レバー機能	179
レリーズ優先C	163
レリーズ優先S	163
連写	69, 85

連写中手ぶれ補正	163
レンズ情報登録	194
レンズ手ぶれ補正優先	163
レンズリセット	161
連動スポット測光	168
録音	

静止画	120
ムービー	148, 149
録画可能時間	240
露出基準調整	167
露出ステップ	167
露出補正	62

わ

ワイヤレスRCフラッシュ	214
ワンショットエコー	58
ワンタッチWB	82, 106
ワンブッシュ消去	171

発行日 2019.10.

OLYMPUS

オリンパス株式会社

● インターネットでの情報入手

<https://olympus-imaging.jp/>

製品仕様、パソコン接続、OS 対応、Q&A などの各種最新情報は、
オリンパスホームページで簡単にご確認いただけます。
上記 URL より [サポート / ダウンロード] のページへお進みください。

● 電話でのお問合せ（オリンパスカスタマーサポートセンター）



0570-073-000

ナビダイヤル

* 携帯電話・PHS からのご利用になれます。

FAX 042-642-7486

* 調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間：平日および土曜・日曜・祝日 9:30 ~ 18:00

* 年末年始、システムメンテナンス日はお休みさせていただきます。

※記載内容は変更されることがあります。